

【ジェネリック医薬品 定点調査】  
患者におけるジェネリック医薬品への意識  
2012年10月 調査

2012年12月13日

沢井製薬株式会社

ジェネリック医薬品の基本情報認知から、ジェネリック医薬品に関する意識などを時系列で分析する。  
 また、2012年4月の制度改正からジェネリック医薬品についての説明有無、  
 処方・調剤状況がどのように変化したかを検証する。

## 患者調査

調査対象： 過去3ヶ月以内に医療機関で自分のために薬を処方・調剤してもらった、  
 30～60代男女(歯科・眼科・小児科での処方・調剤者は除く) 400名

サンプル構成： 各年代を実際に「薬を服用している人」の構成比に近くなるよう  
 400サンプルを割付

	30代	40代	50代	60代	合計
男性	40	44	48	67	199
女性	49	47	52	53	201
合計	89	91	100	120	400

調査項目： ・「ジェネリック医薬品」の認知  
 ・「ジェネリック医薬品」の処方・調剤依頼傾向  
 ・「ジェネリック医薬品」との接触機会傾向 など

対象地区： 首都圏1都3県、関西2府4県

調査手法： インターネット調査(実査機関:楽天リサーチ)

調査期間： 2012年10月26日(金)～30日(火)

## 調査対象者プロフィール

### 【対象者条件】

「過去3ヶ月以内に」、「自分の病気や怪我の治療(診療)」のために「病院(歯科・眼科・小児科を除く)」に行き、薬を処方・調剤された人

### 【内訳】

	N	%
全体	400	
男性	199	49.8%
女性	201	50.3%

	N	%
男性30代	40	10.0%
男性40代	44	11.0%
男性50代	48	12.0%
男性60代	67	16.8%
女性30代	49	12.3%
女性40代	47	11.8%
女性50代	52	13.0%
女性60代	53	13.3%

	N	%		N	%
東京都	46	11.5%	大阪府	40	10.0%
神奈川県	50	12.5%	兵庫県	43	10.8%
埼玉県	40	10.0%	京都府	44	11.0%
千葉県	42	10.5%	奈良県	39	9.8%
首都圏計	178	44.5%	滋賀県	30	7.5%
			和歌山県	26	6.5%
			関西圏計	222	55.5%

### 【調査内のジェネリック医薬品理解レベルに関して】

#### 高レベル:

Q5で下記6項目すべてを認知している層

- ・医師から処方される薬である(医療用医薬品)
- ・新薬の特許が切れた後に発売される薬である
- ・新薬と同じ主成分、同等の効き目・品質である
- ・薬の価格は新薬の2~7割である
- ・ジェネリック医薬品の使用は、国全体の医療費節減につながる
- ・日本ではまだ約25%程度しか使用されていない

#### 中レベル:

Q5で下記4項目すべてを認知している層

- ・医師から処方される薬である(医療用医薬品)
- ・新薬の特許期間満了後に発売される薬である
- ・新薬と同じ主成分・同等の効き目・品質である
- ・薬の価格は新薬の2~7割である

#### 低レベル:

高・中レベル以外の層

- Q1. 「ジェネリック医薬品(後発医薬品)」をご存知ですか。(SA)
- Q2. (Q1で「知っている」「名前は知っている」とお答えの方へ)  
あなたは「ジェネリック医薬品」のことを、どこで見聞きされたことがありますか？あてはまるものをすべてお選びください。(MA)
- Q3. (「ジェネリック医薬品について」はQ1で「知っている」「名前は知っている」とお答えの方に)  
「病気のこと」「薬のこと」「ジェネリック医薬品のこと」について知りたいとき、あなたは普段どこで聞いたり、調べたりしていますか。(MA)
- Q4. (Q3で「ジェネリック医薬品について調べたことがある」とお答えの方へ)  
「ジェネリック医薬品」についてどのようなことを調べましたか。あてはまるものを全てお選びください。(MA)
- Q5. 「ジェネリック医薬品」には次のような特徴があります。あなたをご存知の事柄をすべてお選びください。(MA)
- Q6. 「ジェネリック医薬品」について、もっと具体的に知りたいことはなんでしょうか。あてはまるものを全てお選びください。(MA)
- Q7. これまでに、医師や薬剤師に対して「ジェネリック医薬品を処方・調剤して欲しい」と希望したことはありますか。(SA)
- Q8. (Q7で「希望したことがない」とお答えの方へ)  
「ジェネリック医薬品」の処方・調剤を希望しない理由について、あてはまるものをすべてお選びください。(MA)
- Q9. 今後、ジェネリック医薬品の処方・調剤を医師や薬剤師に希望しようと思いませんか。(SA)  
(以下、Q10からQ14はQ1で「知っている」「名前は知っている」とお答えの方へ)
- Q10. 2012年4月に医療制度が変わりました。以下の説明文をお読みになってお答えください。  
病院・薬局で薬を処方してもらう際、受け取った処方せんに医師のサインがあっても「変更不可」欄にチェックがなければ、その薬を患者は薬剤師と相談して、ジェネリック医薬品に変更することができます。  
あなたはこのことをご存知でしたか。(SA)
- Q11. 最近、医療機関でお薬をもらう際、薬剤師からジェネリック医薬品の説明を受ける機会は増えましたか。(SA)
- Q12. 最近、医療機関でお薬をもらう際、医師や薬剤師にジェネリック医薬品について尋ねる機会は増えましたか。(SA)
- Q13. 最近、実際にジェネリック医薬品を使用・服用したことはありますか。(SA)
- Q14. 今後、医療機関でお薬をもらう際、ジェネリック医薬品へ変更したいと思いませんか。(SA)
- Q15. ジェネリック医薬品が、国民医療費の節減や患者負担の軽減(お薬代が安くなる)に寄与することを踏まえ、あなたご自身のお考えとしてお答えください。今後ジェネリック医薬品はよりいっそう世の中に広まっていくべきだと思いますか。(SA)
- Q16. Q15でジェネリック医薬品の普及について【Q15の答え】とお答えになった理由を自由にお答えください。(FA)

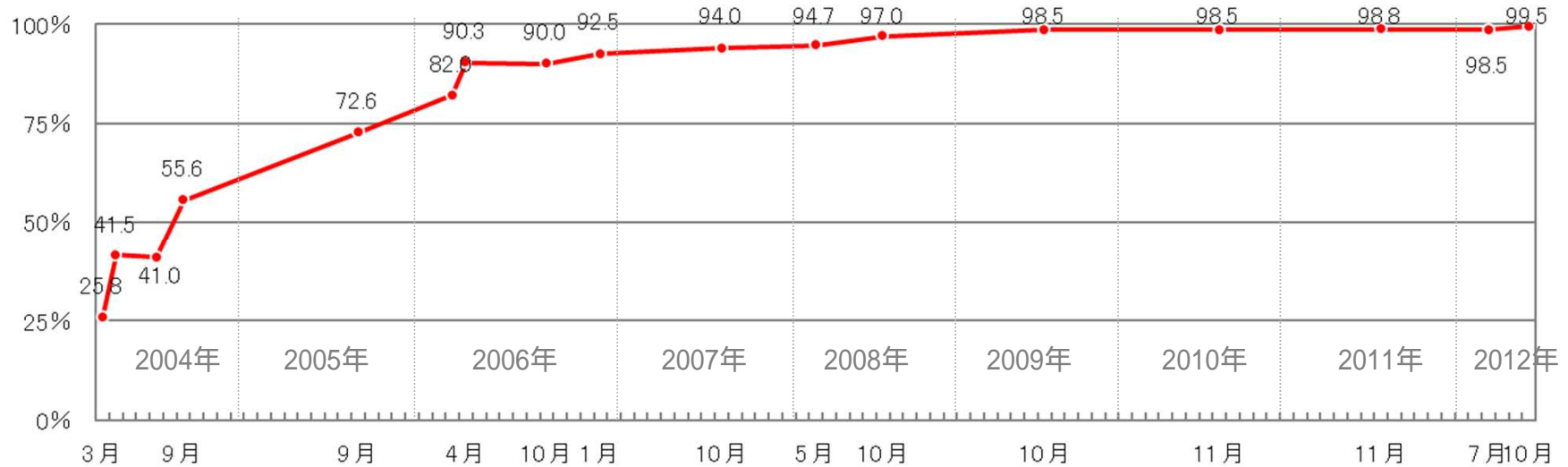
SA : 単一回答  
MA : 複数回答  
FA : 自由回答

# ジェネリック医薬品の認知状況

08年10月以降、対象者の割付が変更されているため、08年05月以前の時系列比較は参考

## Q1.「ジェネリック医薬品(後発医薬品)」をご存知ですか。(SA)

ジェネリック医薬品の名称認知はほぼ100%に近づいた。  
内容認知は前年より2.2pt、12年7月より0.7pt上がって、86.0%だった。



(%)	N	知っている												名前を知っている												認知計																	
		06年			07年			08年			09年			10年			11年			12年			06年			07年			08年			09年			10年			11年			12年		
		3月	4月	10月	1月	10月	5月	10月	10月	11月	7月	10月	3月	4月	10月	1月	10月	5月	10月	10月	11月	7月	10月	3月	4月	10月	1月	10月	5月	10月	10月	11月	11月	7月	10月								
全体	400	51.0	59.0	59.5	59.8	64.3	67.1	76.8	72.0	86.3	83.8	85.3	86.0	31.0	31.3	30.5	32.8	29.8	27.6	20.3	26.5	12.3	15.0	13.3	13.5	82.0	90.3	90.0	92.5	94.0	94.7	97.0	98.5	98.5	98.8	98.5	99.5						
男性30代	40	52.0	56.0	56.0	68.0	68.0	71.2	81.6	79.5	80.0	77.5	85.0	90.0	26.0	32.0	30.0	32.8	22.0	19.2	18.4	20.5	20.0	22.5	15.0	10.0	78.0	88.0	86.0	92.0	94.0	94.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0						
男性40代	44	50.0	60.0	62.0	70.0	62.0	65.4	80.6	75.0	92.9	90.9	97.7	93.2	40.0	30.0	32.0	18.0	22.0	28.8	19.4	22.5	4.8	9.1	2.3	6.8	90.0	90.0	94.0	88.0	84.0	94.2	100.0	97.5	97.6	100.0	100.0	100.0						
男性50代	48	46.0	62.0	68.0	74.0	60.0	78.8	76.0	83.3	89.4	87.5	87.5	89.6	34.0	34.0	22.0	22.0	40.0	15.4	20.0	14.6	6.4	10.4	10.4	10.4	80.0	96.0	90.0	96.0	100.0	94.2	96.0	97.9	95.7	97.9	97.9	100.0						
男性60代	67	64.0	62.0	54.0	56.0	64.0	69.2	86.0	78.7	90.3	88.1	80.6	82.1	24.0	28.0	40.0	36.0	32.0	25.0	12.3	21.3	8.1	11.9	14.9	16.4	88.0	90.0	94.0	92.0	96.0	94.2	98.2	100.0	98.4	100.0	95.5	98.5						
女性30代	49	52.0	52.0	62.0	50.0	72.0	61.5	71.9	62.3	83.3	85.7	87.8	79.6	32.0	38.0	28.0	46.0	26.0	38.5	26.3	34.0	16.7	14.3	12.2	18.4	84.0	90.0	90.0	96.0	98.0	100.0	98.2	96.2	100.0	100.0	100.0	98.0						
女性40代	47	44.0	52.0	56.0	62.0	64.0	61.5	68.2	67.4	78.0	83.0	85.1	78.7	34.0	38.0	32.0	34.0	28.0	34.6	25.0	32.6	22.0	14.9	14.9	21.3	78.0	90.0	88.0	96.0	92.0	96.2	93.2	100.0	100.0	97.9	100.0	100.0						
女性50代	52	60.0	56.0	56.0	50.0	52.0	57.7	75.4	63.3	91.7	76.9	73.1	84.6	20.0	32.0	34.0	44.0	44.0	36.5	21.1	36.7	6.3	21.2	23.1	15.4	80.0	88.0	90.0	94.0	96.0	94.2	96.5	100.0	97.9	98.1	96.2	100.0						
女性60代	53	40.0	72.0	62.0	48.0	72.0	71.2	75.4	67.7	83.6	79.2	88.7	92.5	38.0	18.0	26.0	38.0	24.0	23.1	19.7	29.0	14.8	17.0	11.3	7.5	78.0	90.0	88.0	86.0	96.0	94.2	95.1	96.8	98.4	96.2	100.0	100.0						
定期的通院				60.9	67.6	68.9		78.6	75.7		85.6	83.8				29.8	24.8	25.7		17.8	22.4	13.1	14.9					90.7	92.4	94.6		96.4	98.1	98.7	98.7								
高レベル	33									100.0	96.3	96.0	97.0									0.0	3.7	4.0	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0						
中レベル	153									94.7	90.7	90.4	91.5									5.3	9.3	9.0	8.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	99.4	100.0						
低レベル	214									80.7	78.7	79.9	80.4									16.9	19.3	17.7	18.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	97.6	98.0	97.6	99.1						

\*N数は2012年10月調査

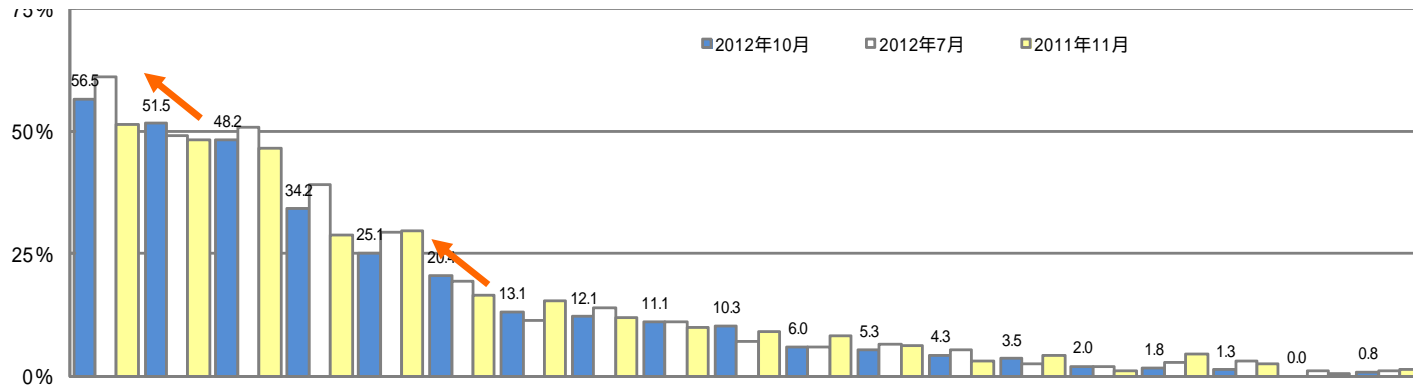
は前回調査より5pt以上アップ

# ジェネリック医薬品のタッチポイント

Q1で「知っている」「名前は知っている」とお答えの方へ

Q2. あなたは「ジェネリック医薬品」のことを、どこで見聞きされたことがありますか？あてはまるものをすべてお選びください。(MA)

ジェネリック医薬品を見聞きするポイントは「テレビ番組」が最も高く56.5%、次いで「病院、薬局のポスター」の51.5%、「テレビCM」48.2%と続いており、この3項目が40%以上のスコアである。「病院、薬局のポスター」、「医師から」が2回連続で上がっている。



N	タッチポイント (%)																			
	テレビ番組	病院、薬局のポスター	【広告】テレビCM	薬剤師から	新聞記事	医師から	【広告】新聞広告	WEBサイトの	雑誌記事	会社などの健康保険	友人、知人から	【広告】インターネット	市区町村などの自治体からの通知	【広告】雑誌広告	【広告】ラジオCM	【広告】電車のポスター・中吊り広告	ラジオ番組	その他	特に見聞きすることは	
全体	395	51.4	48.1	46.6	28.6	29.6	16.5	15.2	11.9	9.9	9.1	8.1	6.1	3.0	4.3	1.0	4.6	2.5	0.5	1.3
2012年7月	394	60.9	49.0	50.8	39.1	29.4	19.3	11.4	14.0	11.2	7.1	5.8	6.6	5.3	2.5	2.0	2.8	3.0	1.0	1.0
2012年10月	398	56.5	51.5	48.2	34.2	25.1	20.4	13.1	12.1	11.1	10.3	6.0	5.3	4.3	3.5	2.0	1.8	1.3	0.0	0.8
性年代	40	57.5	55.0	40.0	35.0	20.0	25.0	15.0	25.0	10.0	10.0	10.0	7.5	7.5	2.5	2.5	0.0	0.0	0.0	0.0
男性30代	40	57.5	55.0	40.0	35.0	20.0	25.0	15.0	25.0	10.0	10.0	10.0	7.5	7.5	2.5	2.5	0.0	0.0	0.0	0.0
男性40代	44	43.2	47.7	52.3	36.4	22.7	18.2	13.6	15.9	22.7	13.6	4.5	6.8	2.3	9.1	4.5	6.8	0.0	0.0	0.0
男性50代	48	70.8	50.0	43.8	37.5	27.1	25.0	12.5	12.5	22.9	12.5	2.1	4.2	4.2	2.1	6.3	0.0	0.0	0.0	2.1
男性60代	66	53.0	47.0	48.5	36.4	30.3	18.2	18.2	18.2	10.6	16.7	3.0	12.1	6.1	6.1	0.0	1.5	1.5	0.0	0.0
女性30代	48	43.8	56.3	56.3	29.2	6.3	18.8	2.1	8.3	0.0	8.3	8.3	2.1	0.0	2.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
女性40代	47	57.4	61.7	51.1	27.7	19.1	17.0	12.8	10.6	10.6	12.8	2.1	4.3	2.1	2.1	0.0	2.1	0.0	0.0	0.0
女性50代	52	57.7	53.8	55.8	36.5	34.6	19.2	21.2	0.0	9.6	5.8	7.7	1.9	1.9	3.8	1.9	1.9	1.9	0.0	1.9
女性60代	53	67.9	43.4	37.7	34.0	35.8	22.6	7.5	7.5	3.8	1.9	11.3	1.9	9.4	0.0	1.9	1.9	5.7	0.0	1.9
GE理解レベル	33	63.6	66.7	45.5	42.4	51.5	33.3	15.2	27.3	12.1	24.2	15.2	6.1	12.1	6.1	0.0	3.0	0.0	0.0	0.0
高レベル	153	56.9	54.2	56.9	35.3	28.1	22.9	13.7	13.1	16.3	13.1	7.2	7.8	2.6	4.6	2.0	2.6	0.7	0.0	0.0
中レベル	212	55.2	47.2	42.5	32.1	18.9	16.5	12.3	9.0	7.1	6.1	3.8	3.3	4.2	2.4	2.4	0.9	1.9	0.0	1.4
低レベル																				

# ジェネリック医薬品について調べた経験の有無

「ジェネリック医薬品について」は Q1で「知っている」「名前は知っている」とお答えの方へ

## Q3. 「病気のこと」「お薬のこと」「ジェネリック医薬品のこと」について知りたいとき、あなたは普段どこで聞いたり、調べたりしていますか？ (MA)

病気のこと、薬のことについて調べたことがある人は、全体でそれぞれ9割前後で、横ばいか微増推移。ジェネリック医薬品については、74.4%の人が調べたことがあると回答。前回から10.6pt増加した。男性60代、女性30代と60代では、80%以上の人がジェネリック医薬品について調べている。

	病気のこと		お薬のこと		ジェネリック医薬品		GE	
	(%) 調べた	調べたことない	調べた	調べたことない	調べた	調べたことない	前々回	前回
全体(2011年11月)(N=400)	93.5	6.5	86.8	13.3	63.8	36.3		
全体(2012年7月)(N=400)	94.5	5.5	88.8	11.3	70.1	29.9		
全体(2012年10月)(N=400)	93.0	7.0	89.3	10.8	74.4	25.6		
男性30代(N=40)	85.0	15.0	87.5	12.5	75.0	25.0	60.0	75.0
男性40代(N=44)	88.6	11.4	75.0	25.0	56.8	43.2	54.5	63.6
男性50代(N=48)	89.6	10.4	85.4	14.6	79.2	20.8	58.3	78.7
男性60代(N=67)	98.5	1.5	94.0	6.0	83.3	16.7	76.1	78.1
女性30代(N=49)	93.9	6.1	89.8	10.2	81.3	18.8	69.4	67.3
女性40代(N=47)	97.9	2.1	95.7	4.3	63.8	36.2	61.7	53.2
女性50代(N=52)	96.2	3.8	90.4	9.6	67.3	32.7	61.5	64.0
女性60代(N=53)	90.6	9.4	92.5	7.5	83.0	17.0	64.2	77.4
高レベル(N=33)	97.0	3.0	97.0	3.0	90.9	9.1	66.7	84.0
中レベル(N=153)	95.4	4.6	88.9	11.1	75.2	24.8	68.2	72.7
低レベル(N=214)	90.7	9.3	88.3	11.7	71.2	28.8	61.1	66.2

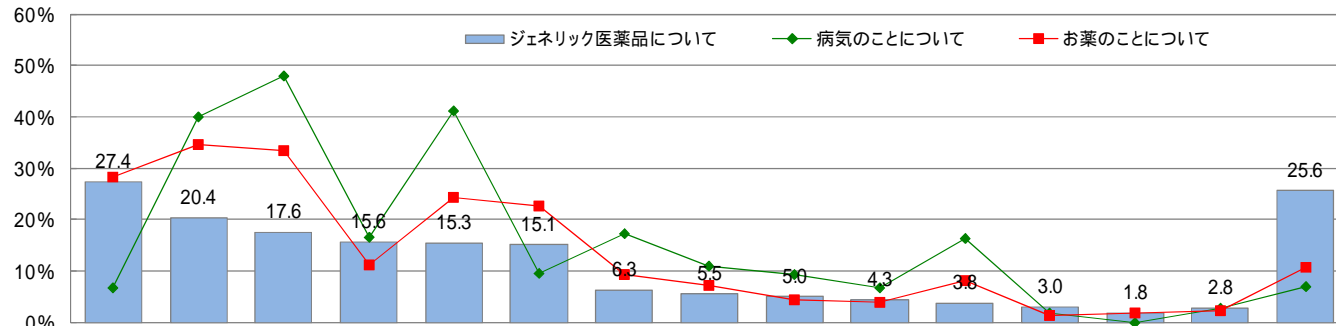
レベル理解

# ジェネリック医薬品や病気・薬について調べた方法

「ジェネリック医薬品について」はQ1で「知っている」「名前は知っている」とお答えの方へ

## Q3. 「病気のこと」「お薬のこと」「ジェネリック医薬品のこと」について知りたいとき、あなたは普段どこで聞いたり、調べたりしていますか？ (MA)

ジェネリック医薬品について聞いた・調べた先は、「薬剤師」が27.4%でトップ、次いで「その他のWEBサイト」20.4%、「医師」17.6%と続く。パンフレットやWEBサイトが増加傾向。



(%)	N	薬剤師	W 其 E B の サ イ ト	医師	パ 設 置 院 や 薬 局 に お い て	疾 患 者 治 療 の W E B サ イ ト	製 薬 メ ー カ ー の W E B サ イ ト	家 族 、 友 人 、 知 人	の 協 会 ・ 患 者 会 な ど の W E B サ イ ト	新 聞	雑 誌	本	健 康 保 険 組 合	製 薬 メ ー カ ー	其 他	こ い た り 調 べ た	
全体	病気のことに お薬のことに ジェネリック医薬品について ジェネリック医薬品について(12年7月) ジェネリック医薬品について(11年11月)	400 400 398 394 400	6.8 28.3 27.4 31.7 31.0	40.0 34.5 20.4 21.8 16.8	48.0 33.5 17.6 15.0 19.8	16.5 11.3 15.6 15.0 12.8	41.3 24.3 15.3 11.7 8.3	9.5 22.8 15.1 15.7 12.5	17.3 9.3 6.3 7.1 3.5	11.0 7.3 5.5 3.6 3.0	9.3 4.5 5.0 5.3 6.3	6.8 4.0 4.3 2.8 2.3	16.3 8.3 3.8 3.0 2.0	1.8 1.3 1.8 2.5 2.0	2.0 1.8 1.8 2.0 0.8	1.8 2.3 2.8 1.8 1.0	7.0 10.8 25.6 29.9 36.3
性年代	男性30代 男性40代 男性50代 男性60代 女性30代 女性40代 女性50代 女性60代	40 44 48 66 48 47 52 53	17.5 18.2 31.3 33.3 25.0 23.4 26.9 37.7	30.0 25.0 14.6 13.6 31.3 21.3 17.3 15.1	20.0 18.2 18.8 27.3 14.6 2.1 17.3 18.9	7.5 6.8 12.5 21.2 14.6 21.3 15.4 20.8	22.5 9.1 20.8 19.7 18.8 6.4 9.6 15.1	22.5 20.5 16.7 10.6 16.7 10.6 17.3 9.4	7.5 4.5 4.2 3.0 6.3 2.1 5.8 17.0	15.0 6.8 10.4 1.5 4.2 4.3 1.9 3.8	2.5 2.3 10.4 7.6 0.0 4.3 7.7 3.8	5.0 2.3 8.3 1.5 2.1 6.4 7.7 1.9	5.0 2.3 4.2 9.1 0.0 0.0 5.8 3.8	2.5 2.3 6.3 3.0 0.0 0.0 0.0 1.9	7.5 2.3 2.1 3.0 0.0 0.0 0.0 0.0	5.0 0.0 4.2 1.5 0.0 2.1 0.0 9.4	25.0 43.2 20.8 16.7 18.8 36.2 32.7 17.0
GE理解 レベル	高レベル 中レベル 低レベル	33 153 212	36.4 30.1 24.1	18.2 24.2 17.9	24.2 22.2 13.2	27.3 12.4 16.0	21.2 15.0 14.6	24.2 16.3 12.7	21.2 5.9 4.2	6.1 7.2 4.7	9.1 4.6 5.7	3.0 2.6 3.3	9.1 3.9 1.4	9.1 2.0 0.5	12.1 0.0 3.3	9.1 24.8 28.8	

黄色は全体より5pt以上。 青は全体より5pt以下。

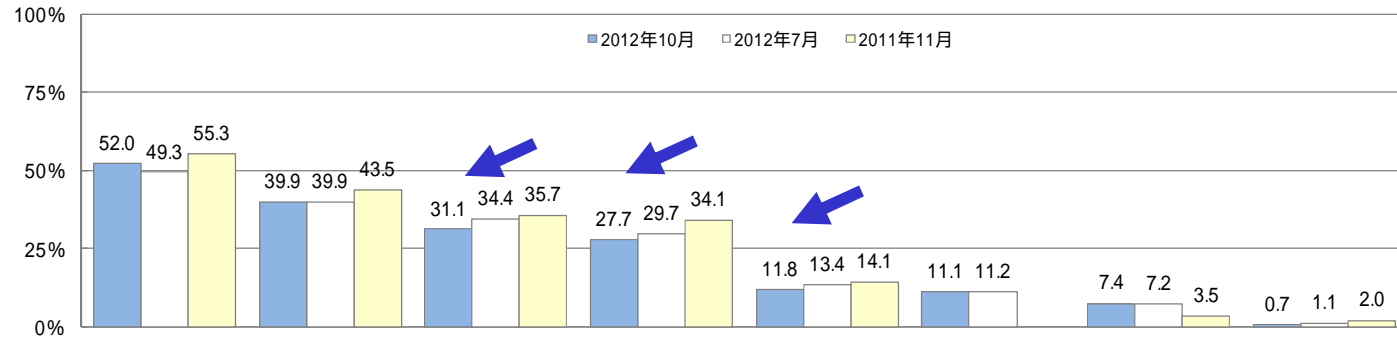


# ジェネリック医薬品について調べたこと

Q3で「ジェネリック医薬品について調べたことがある」とお答えの方へ

## Q4. 「ジェネリック医薬品」について、どのようなことを調べましたか。あてはまるものをすべてお選びください。(MA)

「自分が飲んでいる薬にあるのか」が52.0%でトップだった。「有効性・安全性・品質について」「どんな病気の薬で発売されているのか」「どうすれば、処方・調剤してくれるのか」のスコアは低下傾向にある。



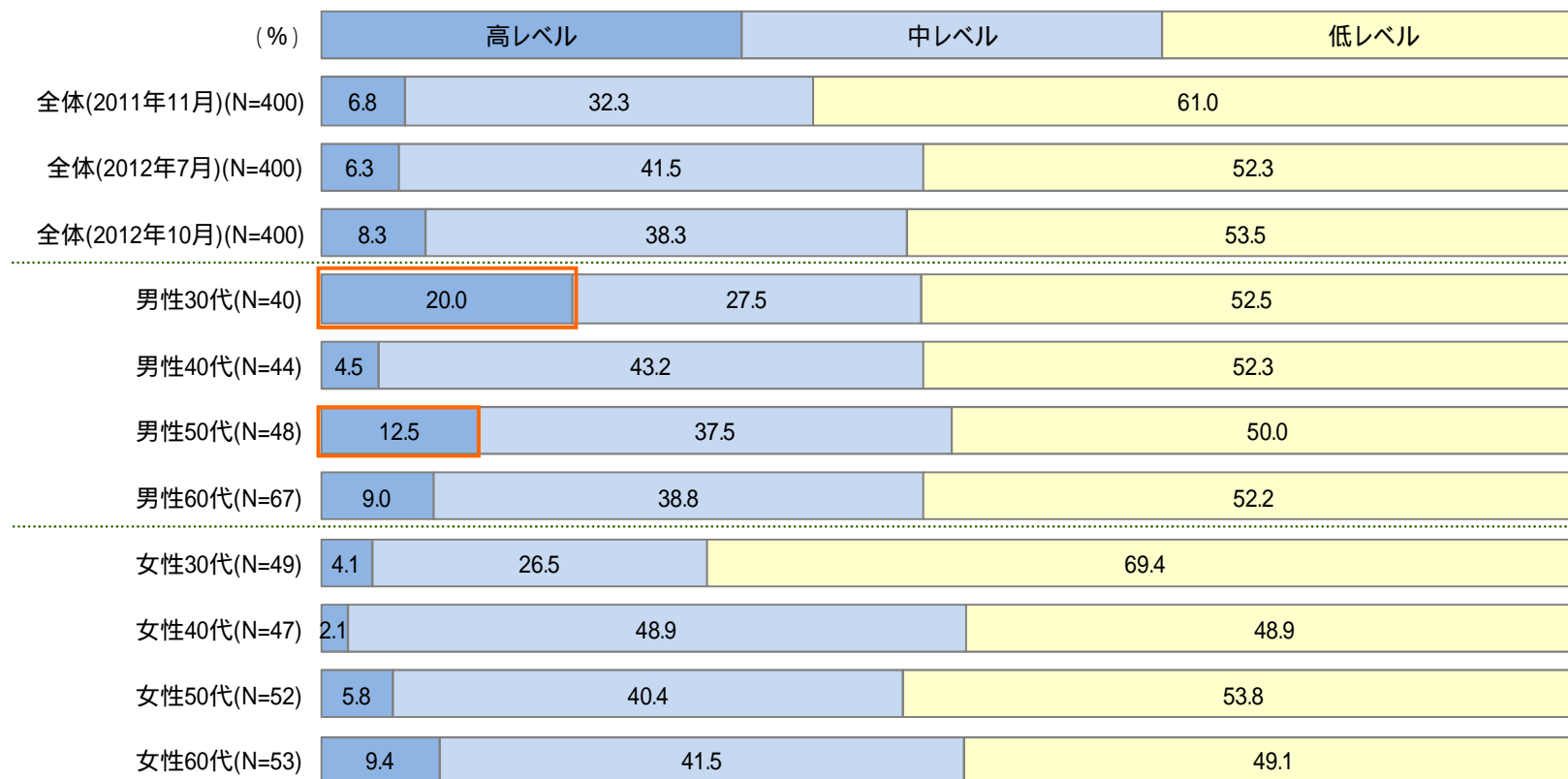
	(%)	N	自分が飲んでいる薬にあるのか( )	それぞれの薬がいくらか安くなるのか	有効性・安全性・品質について( )	どんな病気の薬で発売されているのか	どうすれば、処方・調剤してくれるのか	製造している医薬品メーカーについて	処方・調剤している医療機関について( )	その他
全体	2011年11月	255	55.3	43.5	35.7	34.1	14.1		3.5	2.0
	2012年7月	276	49.3	39.9	34.4	29.7	13.4	11.2	7.2	1.1
	2012年10月	296	52.0	39.9	31.1	27.7	11.8	11.1	7.4	0.7
性年代	男性30代	30	53.3	60.0	40.0	43.3	10.0	20.0	13.3	0.0
	男性40代	25	48.0	60.0	40.0	44.0	12.0	8.0	8.0	0.0
	男性50代	38	63.2	52.6	18.4	34.2	0.0	13.2	5.3	0.0
	男性60代	55	52.7	38.2	38.2	16.4	14.5	14.5	5.5	0.0
	女性30代	39	48.7	38.5	30.8	17.9	15.4	7.7	2.6	0.0
	女性40代	30	40.0	13.3	16.7	40.0	3.3	3.3	3.3	3.3
	女性50代	35	48.6	31.4	28.6	25.7	14.3	5.7	5.7	0.0
女性60代	44	56.8	31.8	34.1	18.2	20.5	13.6	15.9	2.3	
GE理解レベル	高レベル	30	70.0	56.7	46.7	30.0	16.7	26.7	23.3	3.3
	中レベル	115	56.5	43.5	27.0	31.3	11.3	7.0	6.1	0.0
	低レベル	151	45.0	33.8	31.1	24.5	11.3	11.3	5.3	0.7

( ) 2011年調査と一部文章内容を変更



Q5.「ジェネリック医薬品」には次のような特徴があります。あなたをご存知の事柄をすべてお選びください。(MA)

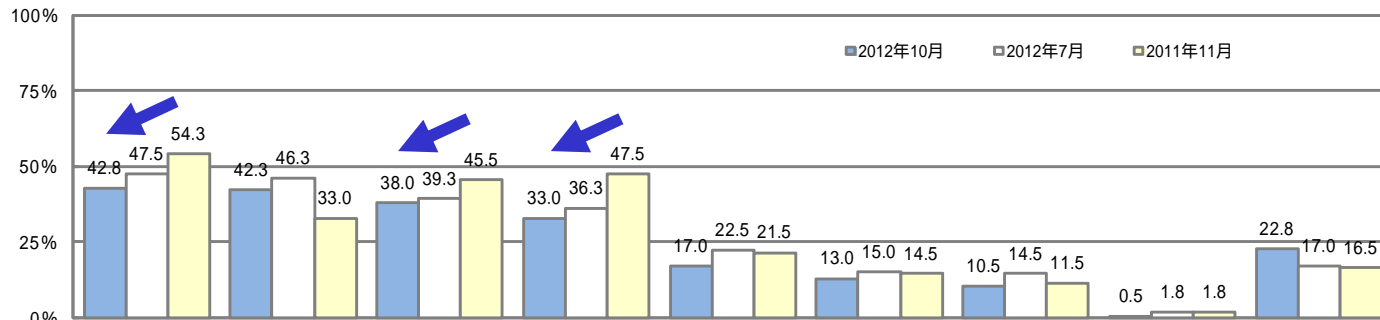
Q5の主要6項目をすべて認知している「理解高レベル層」は全体の8.3%で前年より1.5ptアップし、4項目を認知している「中レベル層」も38.3%で、前年より6.0ptアップしている。「高レベル」が多いのが男性30代と50代で、特に男性30代は20.0%と高い。



# ジェネリック医薬品について知りたいこと

Q6. 「ジェネリック医薬品」について、もっと具体的に知りたいことはなんですか？あてはまるものをすべてお選びください。(MA)

「いくらか安くくなるのか」が42.8%で最も高いが、前年より11.5pt下がり、次いで高い「有効性・安全性・品質について」(42.3%)との差はほとんどない。「特にない」が22.8%と高くなった。



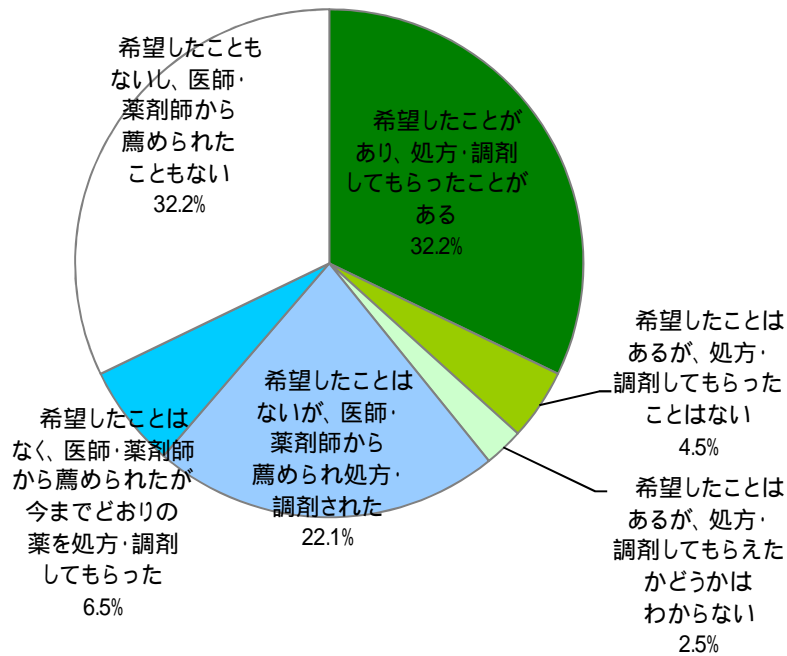
	(%)	N	いくらか安くくなるのか	有効性・安全性・品質について (前回)	自分と同じ成分であるのか	発病の気配があるのか	処方・調剤している医療機関	製造している医薬品メーカー	その他	特にない
全体	2011年11月	400	54.3	33.0	45.5	47.5	21.5	14.5	11.5	1.8
	2012年7月	400	47.5	46.3	39.3	36.3	22.5	15.0	14.5	1.8
	2012年10月	400	42.8	42.3	38.0	33.0	17.0	13.0	10.5	0.5
性年代	男性30代	40	60.0	42.5	40.0	32.5	20.0	22.5	12.5	0.0
	男性40代	44	43.2	27.3	27.3	34.1	22.7	9.1	6.8	0.0
	男性50代	48	31.3	31.3	37.5	20.8	12.5	4.2	6.3	0.0
	男性60代	67	32.8	40.3	38.8	37.3	16.4	13.4	14.9	0.0
	女性30代	49	46.9	38.8	30.6	28.6	22.4	16.3	10.2	0.0
	女性40代	47	46.8	46.8	42.6	36.2	12.8	14.9	14.9	0.0
	女性50代	52	42.3	51.9	36.5	28.8	19.2	13.5	9.6	1.9
女性60代	53	45.3	56.6	49.1	43.4	11.3	11.3	7.5	1.9	
GE理解レベル	高レベル	33	45.5	57.6	45.5	39.4	12.1	21.2	12.1	0.0
	中レベル	153	44.4	39.9	43.8	39.2	19.6	11.1	9.8	0.0
	低レベル	214	41.1	41.6	32.7	27.6	15.9	13.1	10.7	0.9

# ジェネリック医薬品 処方・調剤希望経験

## Q7. これまでに、医師や薬剤師に対して「ジェネリック医薬品を処方・調剤して欲しい」と希望したことはありますか？ (SA)

処方・調剤希望計は39.2%で、前年より10pt以上上がった。実際に処方されたことがある人は54.3%で、これも8.5pt上昇。「処方・調剤希望」「処方・調剤された」「薦められた」計( ~ 計)は67.8%と、全体の7割近くが、何らかの関わりを持っている。

処方・調剤希望計は、男性(30、50~60代)で高くなっている。



(%)	N	処方・調剤希望計	処方・調剤された計	処方・調剤された・薦められた計	処方・調剤を薦められた計
全体(2011年11月)	400	28.8	45.8	50.8	29.3
全体(2012年7月)	394	39.6	47.0	52.8	20.6
全体(2012年10月)	398	39.2	54.3	60.8	28.6
12年10月 - 11年11月	差	+10.4	+8.5	+10.1	-0.6

[2012年10月 属性別]

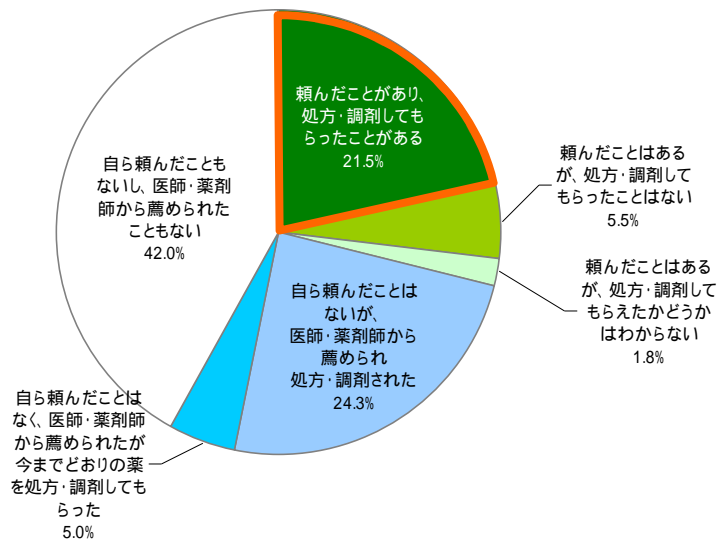
属性	N	処方・調剤希望計	処方・調剤された計	処方・調剤された・薦められた計	処方・調剤を薦められた計
男性30代	40	45.0	60.0	62.5	25.0
男性40代	44	40.9	45.5	50.0	15.9
男性50代	48	50.0	70.8	75.0	29.2
男性60代	66	42.4	57.6	62.1	27.3
女性30代	48	31.3	54.2	60.4	35.4
女性40代	47	29.8	48.9	55.3	29.8
女性50代	52	32.7	51.9	65.4	40.4
女性60代	53	41.5	45.3	54.7	24.5
高レベル	33	60.6	69.7	75.8	21.2
中レベル	153	41.8	58.2	64.7	30.1
低レベル	212	34.0	49.1	55.7	28.8

# ジェネリック医薬品 処方・調剤希望経験 スコア遷移

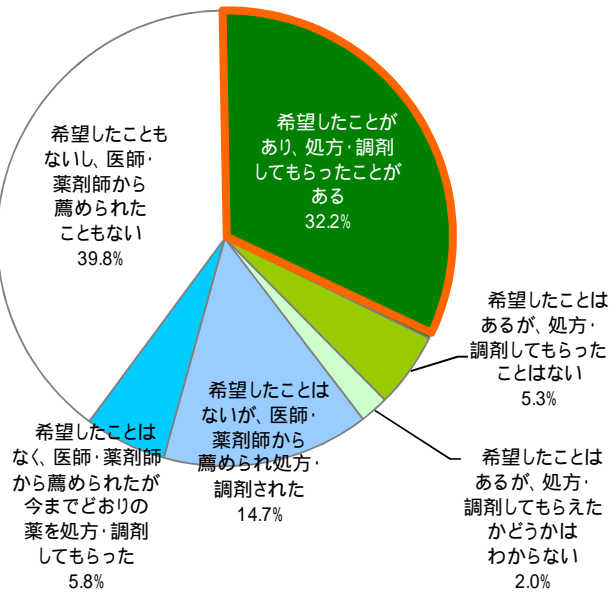
Q7. これまでに、医師や薬剤師に対して「ジェネリック医薬品を処方・調剤して欲しい」と希望したことはありますか？ (SA)

- 「希望したことがあり、処方・調剤してもらったことがある」は21.5% 32.2% 32.2%と増加傾向。
- 「希望したこともないし、医師・薬剤師から薦められたこともない」は42.0% 39.8% 32.2%と減少傾向。

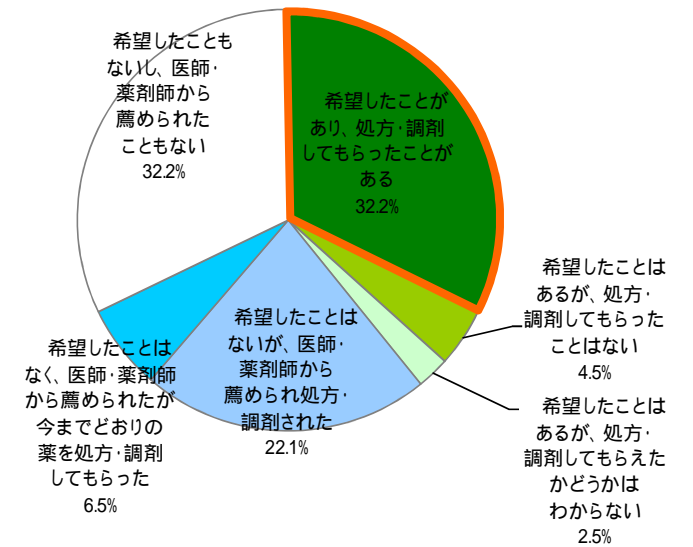
< 2011年11月 >



< 2012年7月 >



< 2012年10月 >

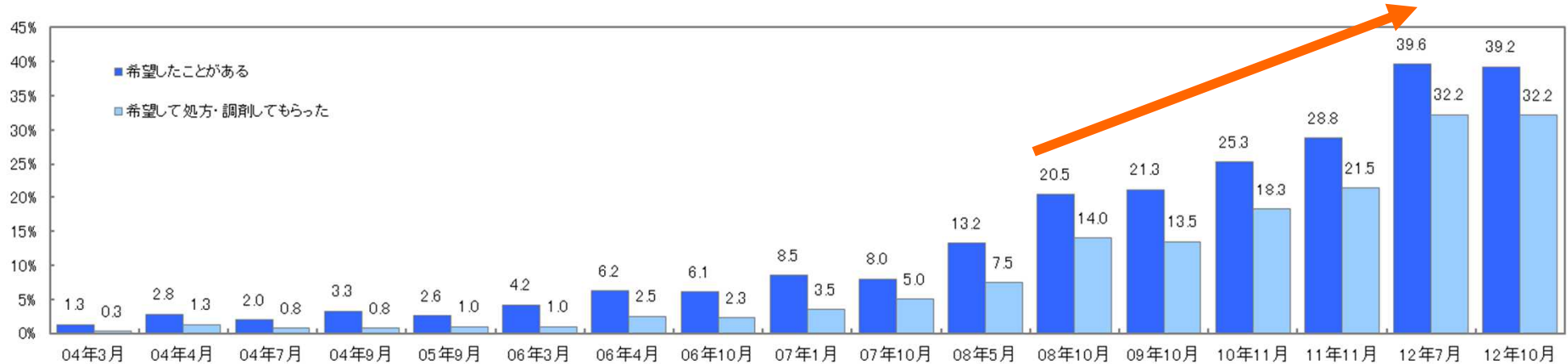


# ジェネリック医薬品 処方・調剤希望経験

08年10月以降、対象者の割付が変更されているため、08年05月以前の時系列比較は参考

## Q7. これまでに、医師や薬剤師に対して「ジェネリック医薬品を処方・調剤して欲しい」と希望したことはありますか？(SA)

ジェネリック医薬品の「処方・調剤希望」は39.2%、「希望して処方・調剤経験」は32.2%で、それぞれ前年から10pt以上増加している。処方・調剤時の、患者の自発的な行動レベルは順調に伸びていると言える。



(%)	N	希望して処方・調剤してもらった												希望したが処方・調剤なしor不明												処方・調剤希望計																															
		06年				07年				08年				09年				10年				11年				12年				06年				07年				08年				09年				10年				11年				12年			
		3月	4月	10月	1月	10月	5月	10月	10月	11月	11月	7月	10月	3月	4月	10月	1月	10月	5月	10月	10月	11月	11月	7月	10月	3月	4月	10月	1月	10月	5月	10月	10月	11月	11月	7月	10月																				
全体	398	1.0	2.5	2.3	3.5	5.0	7.5	14.0	13.5	18.3	21.5	32.2	32.2	3.3	3.8	3.8	5.0	3.0	5.8	6.5	7.8	7.0	7.3	7.4	7.0	4.2	6.2	6.1	8.5	8.0	13.2	20.5	21.3	25.3	28.8	39.6	39.2																				
男性30代	40	0.0	6.0	0.0	2.0	2.0	9.6	21.1	15.9	20.0	25.0	37.5	37.5	0.0	0.0	6.0	0.0	2.0	7.7	10.5	13.6	4.4	5.0	5.0	7.5	0.0	6.0	6.0	2.0	4.0	17.3	31.6	29.5	24.4	30.0	42.5	45.0																				
男性40代	44	2.0	0.0	2.0	0.0	0.0	5.8	16.7	22.5	19.0	15.9	31.8	34.1	4.0	2.0	4.0	4.0	4.0	3.8	8.3	10.0	4.8	2.3	4.5	6.8	6.0	2.0	6.0	4.0	4.0	9.6	25.0	32.5	23.8	18.2	36.4	40.9																				
男性50代	48	2.0	0.0	6.0	4.0	4.0	13.5	20.0	10.4	27.7	29.2	42.6	45.8	4.0	4.0	0.0	8.0	6.0	13.5	8.0	6.3	4.3	6.3	6.4	4.2	6.0	4.0	6.0	12.0	10.0	26.9	28.0	16.7	31.9	35.4	48.9	50.0																				
男性60代	66	0.0	0.0	0.0	8.0	8.0	7.7	15.8	19.7	21.0	28.4	34.4	34.8	6.0	10.0	10.0	8.0	4.0	7.7	7.0	4.9	8.1	11.9	9.4	7.6	6.0	10.0	10.0	16.0	12.0	15.4	22.8	24.6	29.0	40.3	43.8	42.4																				
女性30代	48	0.0	0.0	0.0	2.0	10.0	3.8	3.5	7.5	11.1	16.3	26.5	25.0	4.0	2.0	0.0	2.0	4.0	5.8	8.8	3.8	5.6	4.1	8.2	6.3	4.0	2.0	0.0	4.0	14.0	9.6	12.3	11.3	16.7	20.4	34.7	31.3																				
女性40代	47	4.0	4.0	2.0	8.0	4.0	1.9	4.5	9.3	12.2	25.5	23.4	25.5	2.0	2.0	4.0	6.0	0.0	6.8	4.7	7.3	4.3	4.3	4.3	4.3	6.0	6.0	6.0	14.0	4.0	1.9	11.4	14.0	19.5	29.8	27.7	29.8																				
女性50代	52	0.0	4.0	2.0	0.0	6.0	3.8	15.8	6.1	18.8	19.2	20.0	25.0	4.0	4.0	4.0	8.0	2.0	1.9	1.8	8.2	8.3	3.8	6.0	7.7	4.0	8.0	6.0	8.0	8.0	5.8	17.5	14.3	27.1	23.1	26.0	32.7																				
女性60代	53	0.0	6.0	6.0	4.0	6.0	13.5	16.4	16.1	16.4	11.3	41.5	30.2	2.0	6.0	2.0	4.0	2.0	5.8	3.3	11.3	11.5	17.0	13.2	11.3	2.0	12.0	8.0	8.0	8.0	19.2	19.7	27.4	27.9	28.3	54.7	41.5																				
定期的通院	-	4.3	6.2	10.1	18.1	17.9	20.8	22.1					5.6	10.3	14.2		8.0	9.5	7.0	8.6					9.9	16.6	15.5		26.1	27.4	27.9	30.7																									

\* N数は2012年10月 前回調査より2pt以上アップ

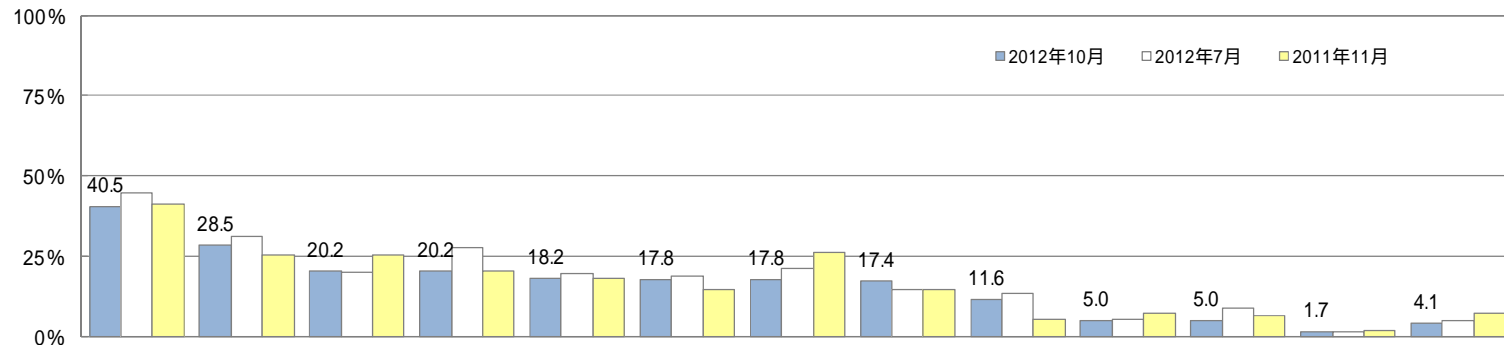
「処方依頼計」=「頼んで処方してもらった」+「頼んだが処方してもらっていない」+「頼んだが処方してもらったかは不明」

# ジェネリック医薬品の処方希望をしない理由

Q7で「ジェネリック医薬品を希望したことはない」とお答えの方へ

Q8. 「ジェネリック医薬品」の処方・調剤を希望しない理由について、あてはまるものをすべてお選びください。(MA)

「特に何も言われなから」が40.5%でトップ。次いで「自分の薬に対応するかわからないから」が28.5%、「今はそれほど薬代がかかっていない」「何と言って頼めばいいのかわからない」が20.2%で続いている。



(%)	N	特に何も言われなから	自分の薬に対応するかわからないから	何と言っても頼めばいいのかわからない	今はそれほど薬代がかかっていない	有効性・安全性に不安を感じる	医師に頼めばいいのかわからない	タイミンが合わないから	医師や薬剤師に頼む	医師が薬を調剤して欲しい	処方・調剤に時間がかかる	変更しても薬代が安い	待ち時間が長い	その他
全体	285	41.4	25.6	25.6	20.4	18.2	14.7	26.3	14.7	5.3	7.4	6.7	2.1	7.4
	238	44.5	31.1	20.2	27.7	19.7	18.9	21.0	14.7	13.4	5.5	8.8	1.7	5.0
	242	40.5	28.5	20.2	20.2	18.2	17.8	17.8	17.4	11.6	5.0	5.0	1.7	4.1
性年代	22	54.5	36.4	40.9	18.2	9.1	27.3	36.4	18.2	18.2	4.5	9.1	0.0	4.5
	26	38.5	26.9	23.1	19.2	26.9	19.2	23.1	23.1	15.4	0.0	0.0	0.0	0.0
	24	25.0	16.7	37.5	16.7	25.0	16.7	8.3	8.3	12.5	0.0	0.0	0.0	16.7
	38	36.8	34.2	21.1	21.1	10.5	13.2	13.2	26.3	7.9	0.0	2.6	2.6	0.0
	33	42.4	27.3	12.1	15.2	24.2	27.3	27.3	15.2	15.2	9.1	9.1	0.0	6.1
	33	51.5	27.3	15.2	24.2	21.2	12.1	12.1	12.1	9.1	3.0	3.0	3.0	6.1
	35	40.0	40.0	22.9	14.3	17.1	17.1	20.0	17.1	8.6	14.3	8.6	2.9	0.0
	31	35.5	16.1	0.0	32.3	12.9	12.9	3.2	16.1	9.7	6.5	6.5	3.2	3.2
GE理解レベル	13	30.8	69.2	30.8	30.8	38.5	30.8	23.1	23.1	15.4	0.0	0.0	0.0	0.0
	89	42.7	29.2	20.2	19.1	15.7	13.5	22.5	20.2	10.1	3.4	5.6	1.1	3.4
	140	40.0	24.3	19.3	20.0	17.9	19.3	14.3	15.0	12.1	6.4	5.0	2.1	5.0

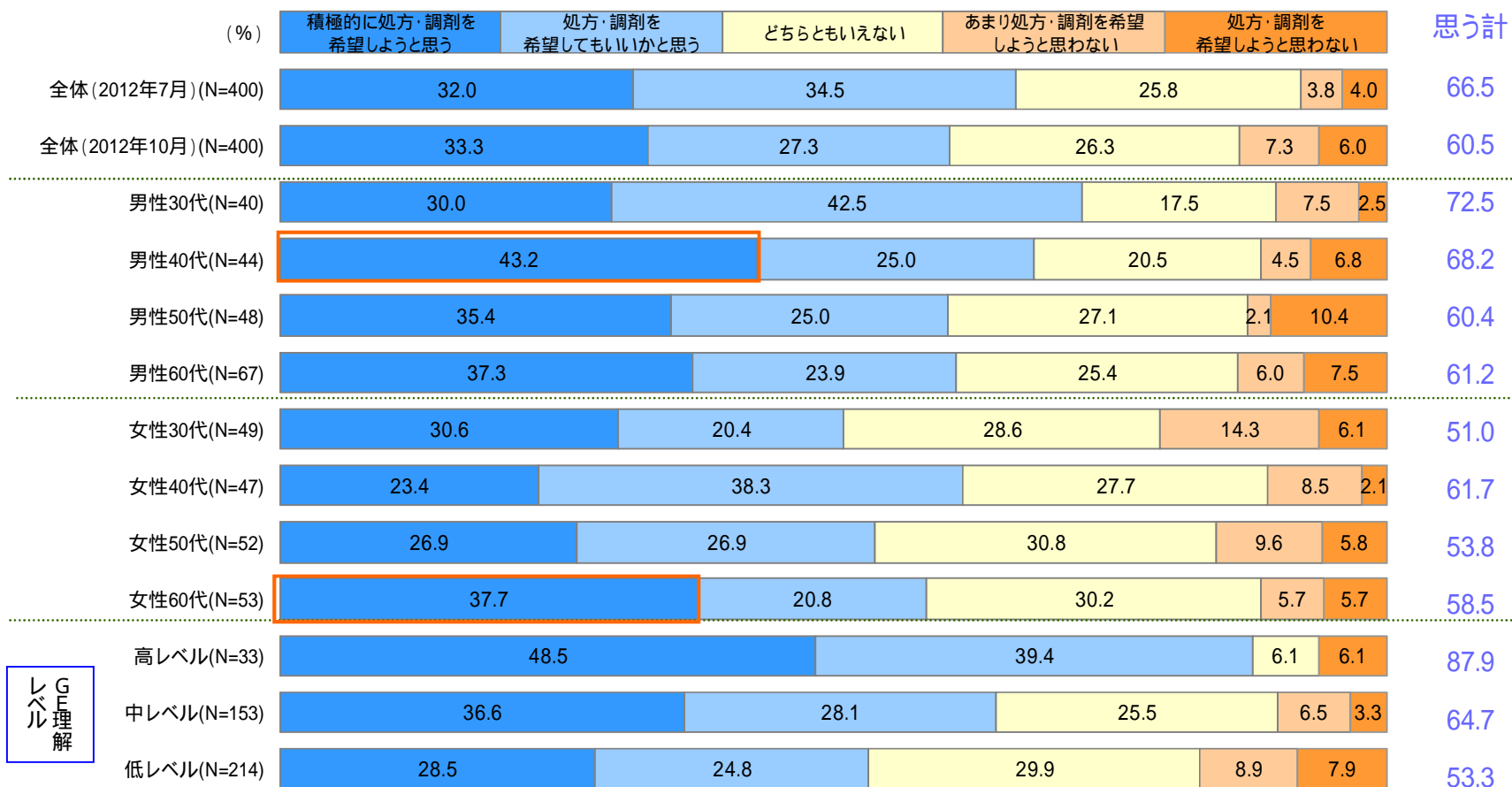
( ) 2011年調査と一部文章内容を変更



## Q9. 今後、ジェネリック医薬品の処方・調剤を医師や薬剤師に希望しようと思いませんか？(SA)

「積極的に処方・調剤を希望」は全体の33.3%で、「希望してもいい」が27.3%、合わせて60.5%だった。

「積極的に処方・調剤を希望」は男性40代と女性60代で比較的高く、40%前後あった。



レベル  
G E  
理解  
解

# 2012年4月医療制度改革の変更認知

Q1で「知っている」「名前知っている」とお答えの方へ

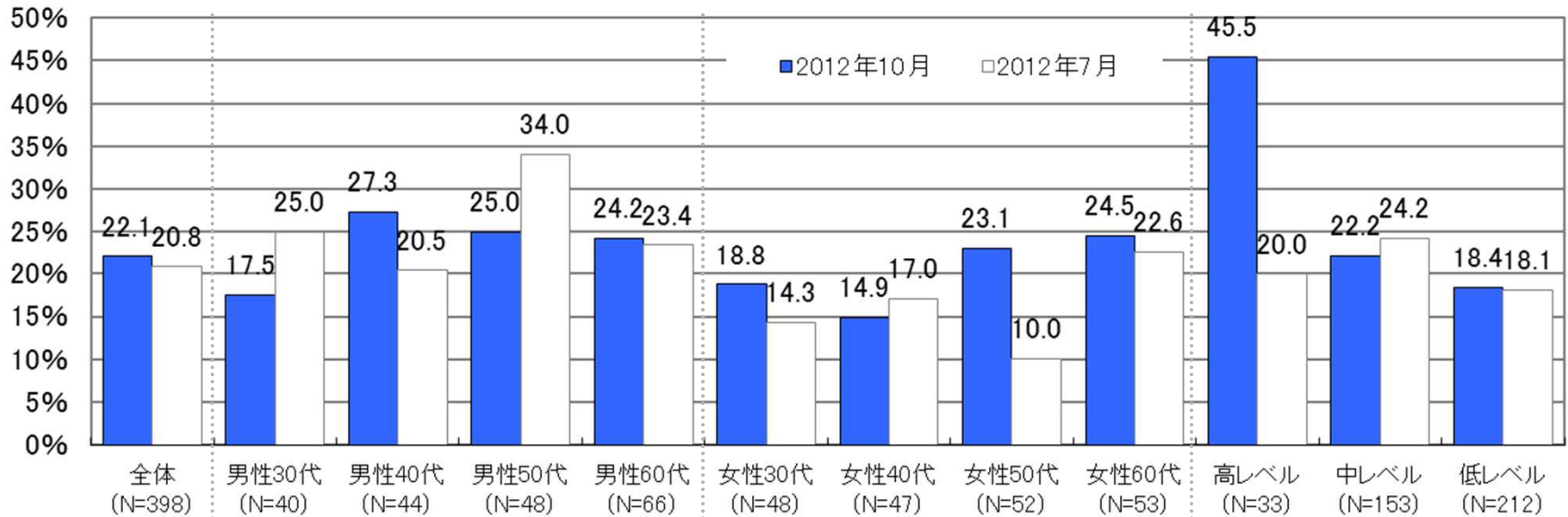
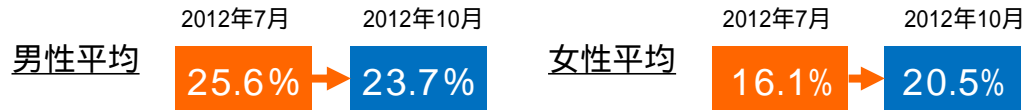
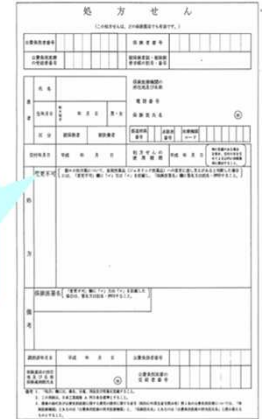
Q10. 2012年4月に医療制度が変わりました。以下の説明文をお読みになってお答えください[提示文]  
あなたはこのことをご存知でしたか。(SA)

【提示文】

病院・薬局で薬を処方してもらう際、受け取った処方せんに医師のサインがあっても「変更不可」欄にチェックがなければ、その薬を患者は薬剤師と相談して、ジェネリック医薬品に変更することができます。

変更の認知は、全体の22.1%で、7月より1.3ptアップ。男性40代で27.3%と、高いスコアになっている。女性50代は23.1%で、7月より13.1ptアップ。

「変更不可」欄に、「✓」または「×」がついていない薬は、医師のサインがあっても、ジェネリック医薬品に変更することができません。



\* N数は2012年10月調査 \* (参考)2011年11月調査は、2010年処方せん変更様式認知スコア

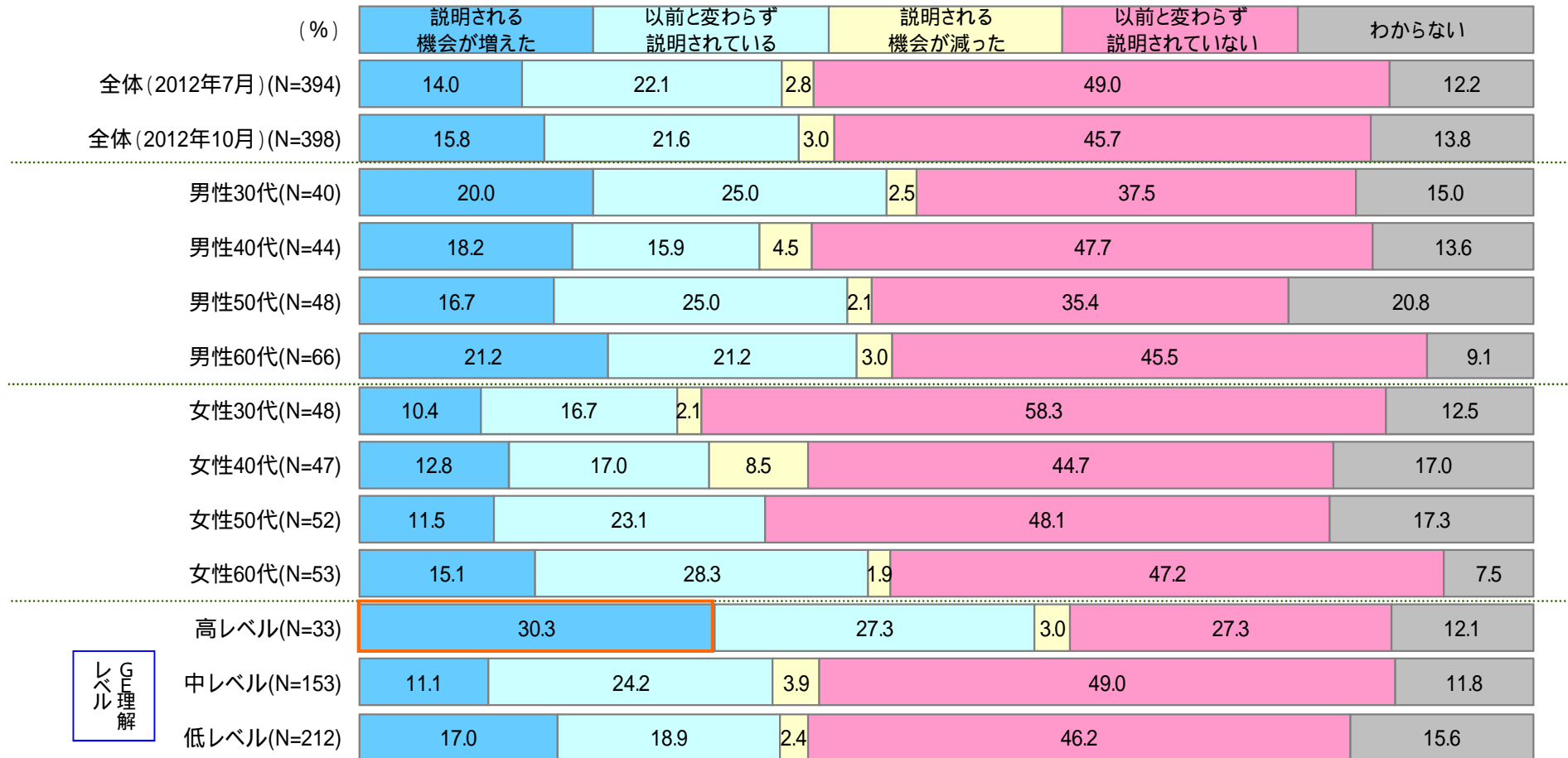
GE理解レベル

# 患者さんへの説明機会の増減

Q1で「知っている」「名前は知っている」とお答えの方へ

Q11. 最近、医療機関でお薬をもらう際、薬剤師からジェネリック医薬品の説明を受ける機会は増えましたか。(SA)

最近「説明を受ける機会」が増えたのは全体の15.8%、「以前と変わらず説明されている」が21.6%。  
 「以前と変わらず説明されていない」は45.7%。理解高レベルの人は、「機会が増えた」が30.3%と高かった。



理解レベル

## 患者さんからのジェネリック医薬品依頼・質問の増減

Q1で「知っている」「名前は知っている」と  
お答えの方へ

Q12. 最近、医療機関でお薬をもらう際、医師や薬剤師にジェネリック医薬品について尋ねる機会は増えましたか。(SA)

「尋ねる機会」が「増えた」のは、全体では計19.6%と2割近かった。  
「増加計」が高いのは、男性30代で25.0%、男性60代も24.2%、女性60代24.5%。

(%)	とても増えた	少し増えた	変わらない	少し減った	とても減った	増加計	減少計
全体(2012年7月) (N=394)	3.0	13.5	81.2	0.8	1.5	16.5	2.3
全体(2012年10月) (N=398)	5.3	14.3	76.9	0.5	3.0	19.6	3.5
男性30代(N=40)	5.0	20.0	70.0	5.0		25.0	5.0
男性40代(N=44)	11.4	11.4	70.5	6.8		22.7	6.8
男性50代(N=48)	2.1	8.3	87.5	2.1		10.4	2.1
男性60代(N=66)	9.1	15.2	71.2	4.5		24.2	4.5
女性30代(N=48)	2.1	12.5	83.3	2.1		14.6	2.1
女性40代(N=47)	2.1	14.9	78.7	2.1	2.1	17.0	4.2
女性50代(N=52)	3.8	13.5	82.7			17.3	0.0
女性60代(N=53)	5.7	18.9	71.7	1.9	1.9	24.5	3.8
高レベル(N=33)	6.1	24.2	69.7			30.3	0.0
中レベル(N=153)	5.2	15.0	75.2	0.7	3.9	20.3	4.6
低レベル(N=212)	5.2	12.3	79.2	0.5	2.8	17.5	3.3

レベル  
理解

# ジェネリック医薬品使用・服用

Q1で「知っている」「名前は知っている」とお答えの方へ

## Q13. 最近、実際にジェネリック医薬品を使用・服用したことはありますか？(SA)

「4月以降に初めて使用・服用した」のが全体の14.1%で、「前から使用・服用していた」が36.4%、合わせて服用経験は50.5%と半数に達した。

12年7月と比べ、男性30代、男性60代、女性50代で服用経験率が大幅に上昇している。

(%)	4月以降に初めてジェネリック医薬品を使用・服用した	4月より前からジェネリック医薬品を使用・服用していた	ジェネリック医薬品を使用・服用したことはない	わからない	服用経験計 今回	服用経験計 前回
全体(2012年7月) (N=394)	8.1	34.8	43.1	14.0		42.9
全体(2012年10月) (N=398)	14.1	36.4	32.7	16.8	50.5	
男性30代(N=40)	20.0	30.0	27.5	22.5	50.0	40.0
男性40代(N=44)	18.2	29.5	38.6	13.6	47.7	54.5
男性50代(N=48)	6.3	54.2	14.6	25.0	60.4	53.2
男性60代(N=66)	18.2	42.4	19.7	19.7	60.6	43.8
女性30代(N=48)	20.8	25.0	37.5	16.7	45.8	42.9
女性40代(N=47)	10.6	34.0	44.7	10.6	44.7	38.3
女性50代(N=52)	9.6	38.5	38.5	13.5	48.1	26.0
女性60代(N=53)	9.4	34.0	43.4	13.2	43.4	45.3
高レベル(N=33)	9.1	66.7	18.2	6.1	75.8	56.0
中レベル(N=153)	13.7	41.2	28.8	16.3	54.9	46.7
低レベル(N=212)	15.1	28.3	37.7	18.9	43.4	38.2

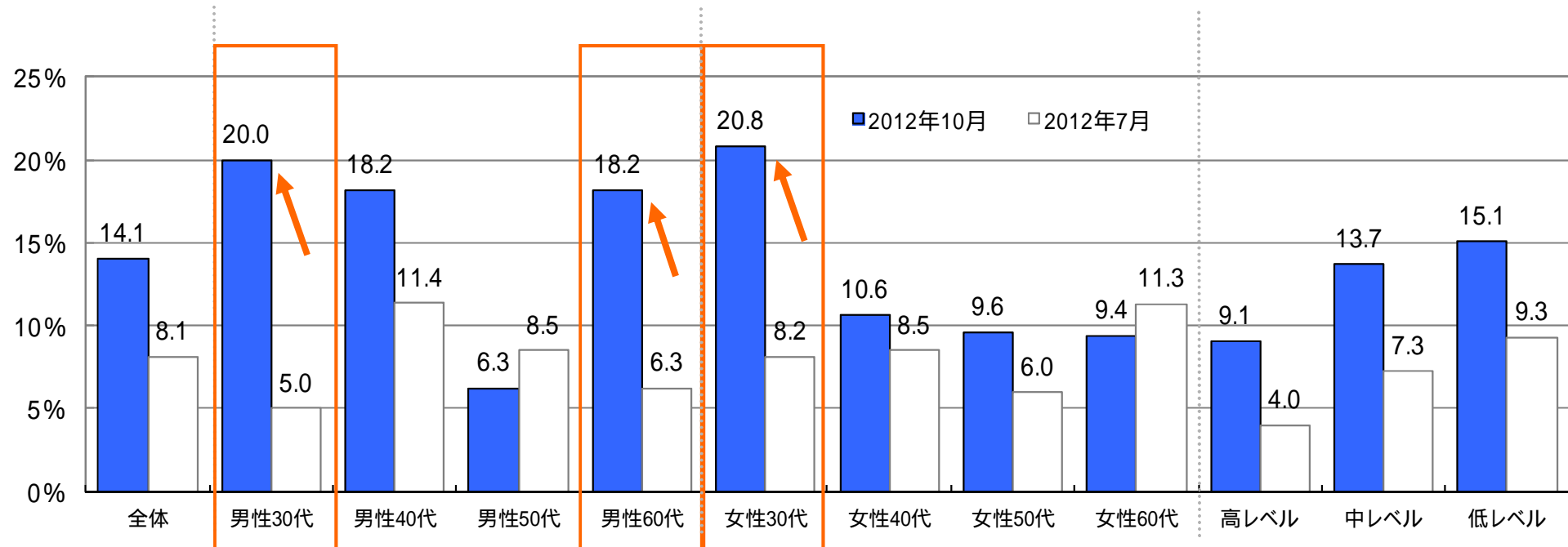
レベル理解

## ジェネリック医薬品使用・服用 「4月以降に初めて使用・服用した」スコア遷移

Q1で「知っている」「名前は知っている」とお答えの方へ

Q13. 最近、実際にジェネリック医薬品を使用・服用したことはありますか？(SA)

「4月以降に初めて使用・服用した」スコアは、12年7月と比べ、男性30代、男性60代、女性30代で大幅な増加を見せている。一方で、性年代別でみると最もスコアの低い男性50代では、前年の8.5%に対して6.3%とスコアが伸び悩んでいる。



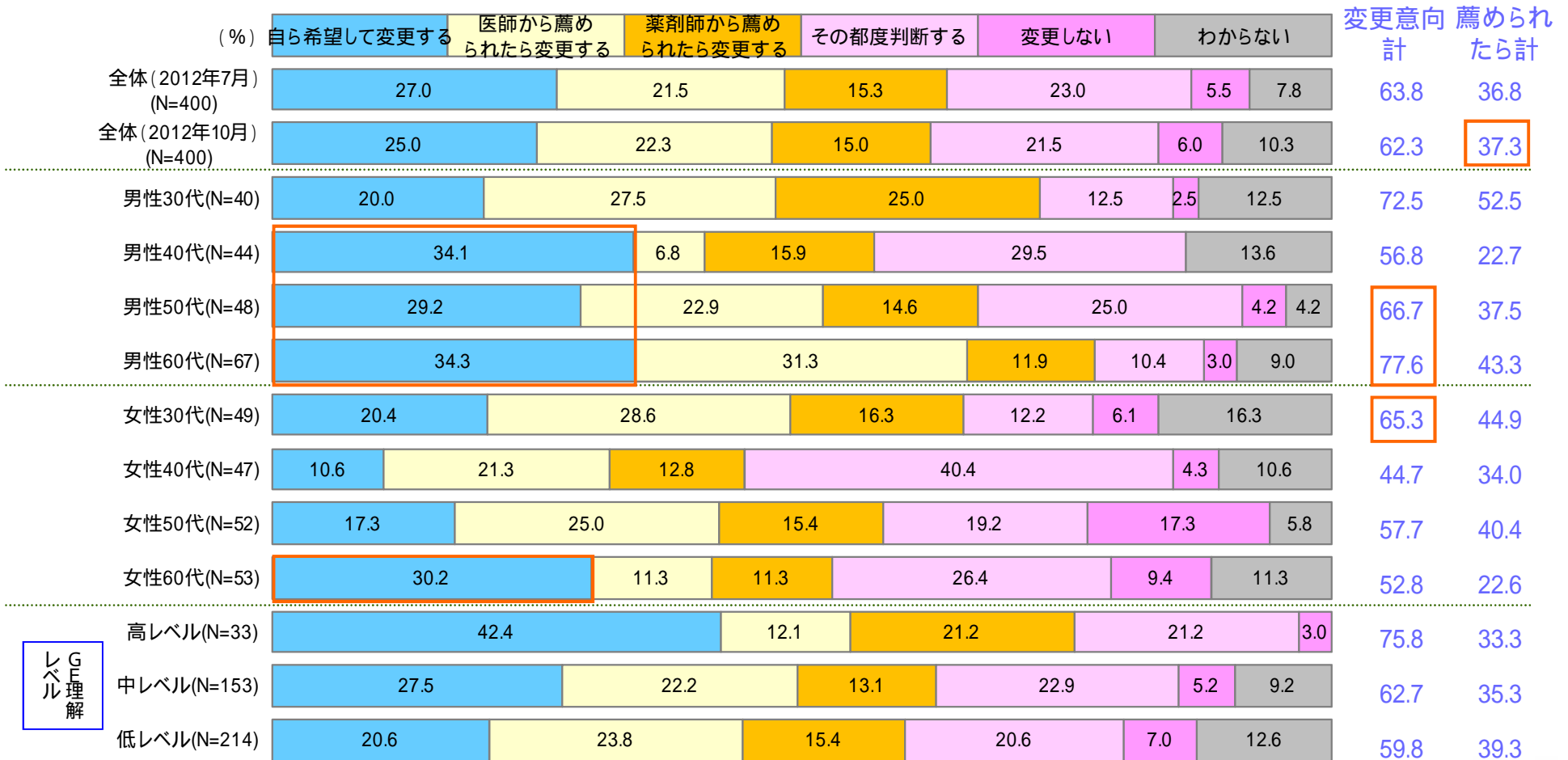
# ジェネリック医薬品への変更意向

Q1で「知っている」「名前は知っている」とお答えの方へ

Q14. 今後、医療機関でお薬をもらう際、ジェネリック医薬品へ変更したいと思いますか。(SA)

「自ら希望して変更する」とした人が全体の25.0%、医師と薬剤師に「薦められたら」(計)が37.3%で、これらを合わせた変更意向計は62.3%となった。

変更意向が高いのは男性50～60代と女性30代で、65%を超えている。

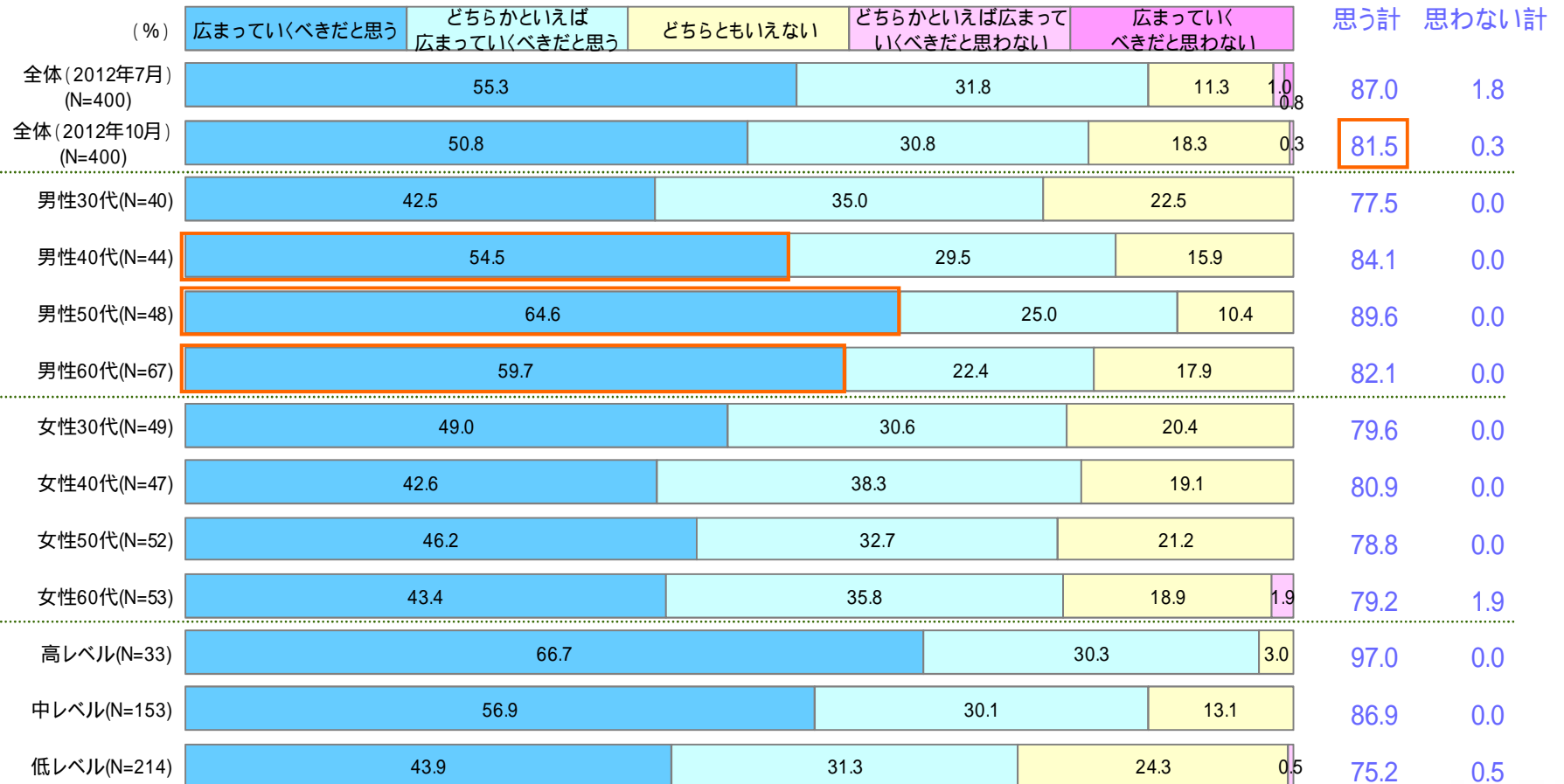


レベル理解

# 今後ジェネリック医薬品は世の中に広まっていくべきか

Q15. ジェネリック医薬品が、国民医療費の節減や患者負担の軽減(お薬代が安くなる)に寄与することを踏まえ、あなたご自身のお考えとしてお答えください。今後ジェネリック医薬品はよりいっそう世の中に広まっていくべきだと思いますか？(SA)

「広まっていくべきだと思う」人は全体の50.8%で、「どちらかといえば広まっていくべき」を含める81.5%。  
 反対に「広まっていくべきだと思わない」のは全体の0.3%に留まった。  
 男性40代以上では「広まっていくべき」が50%以上あった。



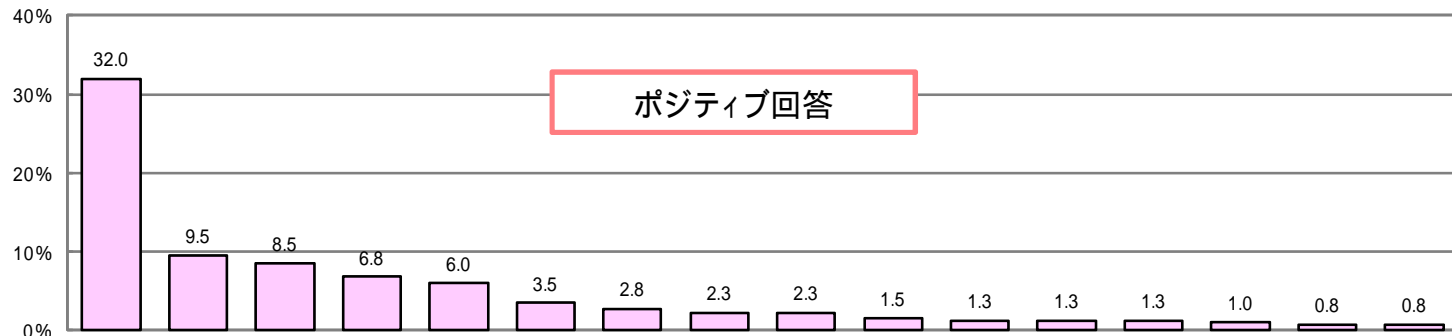
レベル理解



# 今後ジェネリック医薬品は世の中に広まっていくべきかの理由 (FAアフターコーディング集計)

Q16.Q15でジェネリック医薬品の普及について [Q15の答え] とお答えになった理由を自由にお答えください。(FA)

ポジティブな回答は「価格が安くなる / 経済的 / 医療費が安くなる / 医療費の軽減・削減」が最も高く、32.0%。次いで「患者の負担が減る」が9.5%、「国の医療費削減 / 国の財政のため」8.5%と続いている。



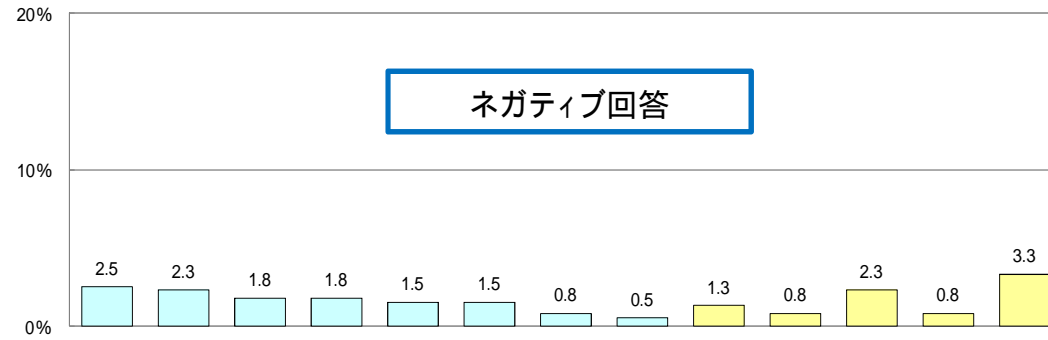
(%)	N	価格が安くなる / 経済的 / 医療費が安くなる / 削減	患者の負担が減る	国の医療費削減 / 国の財政のため	健康保険料が安くなる / 財政健全化	効果が同じならば安い方がよい	薬代が安くなる	現在の薬代は高すぎる	高齢者が増えるから医療費が増える	安全性に問題がないならば	医師・病院での説明が必要	自分に合うのであれば効果があるならば	安くて良いものは広まるべき	慢性的な病気の薬代軽減	メリットが多い	患者に選択権・選択肢が増える	安くなれば病院に来院しなくなる
全体	400	32.0	9.5	8.5	6.8	6.0	3.5	2.8	2.3	2.3	1.5	1.3	1.3	1.3	1.0	0.8	0.8
男性30代	40	37.5	2.5	2.5	7.5	2.5	7.5	0.0	0.0	0.0	0.0	2.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
男性40代	44	31.8	4.5	6.8	13.6	6.8	2.3	2.3	0.0	2.3	0.0	0.0	2.3	0.0	2.3	2.3	0.0
男性50代	48	31.3	16.7	12.5	10.4	6.3	4.2	6.3	4.2	0.0	0.0	2.1	0.0	2.1	0.0	0.0	0.0
男性60代	67	32.8	9.0	11.9	6.0	6.0	3.0	4.5	3.0	1.5	0.0	0.0	1.5	0.0	1.5	1.5	0.0
女性30代	49	30.6	14.3	8.2	2.0	4.1	0.0	6.1	0.0	4.1	2.0	0.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
女性40代	47	38.3	6.4	4.3	4.3	4.3	4.3	0.0	2.1	2.1	4.3	0.0	2.1	0.0	0.0	0.0	2.1
女性50代	52	26.9	11.5	13.5	7.7	11.5	1.9	1.9	5.8	3.8	3.8	3.8	0.0	1.9	1.9	0.0	1.9
女性60代	53	28.3	9.4	5.7	3.8	5.7	5.7	0.0	1.9	3.8	1.9	1.9	1.9	3.8	0.0	0.0	0.0
高レベル	33	48.5	9.1	15.2	24.2	0.0	3.0	0.0	3.0	0.0	0.0	3.0	0.0	0.0	3.0	0.0	0.0
中レベル	153	34.0	11.1	10.5	5.9	6.5	3.3	3.3	2.6	0.7	1.3	0.7	0.7	2.0	1.3	0.7	0.7
低レベル	214	28.0	8.4	6.1	4.7	6.5	3.7	2.8	1.9	3.7	1.9	1.4	1.9	0.9	0.5	0.9	0.9

レベル理解

# 今後ジェネリック医薬品は世の中に広まっていくべきかの理由 (FAアフターコーディング集計)

Q16.Q15でジェネリック医薬品の普及について [Q15の答え] とお答えになった理由を自由にお答えください。(FA)

ネガティブな回答は「新薬開発・研究のため / 先発薬メーカーの衰退に繋がってしまう」が最も高く、2.5%。次いで「ジェネリックについて詳しい情報を知らない / 情報不足」が2.3%だった。



(%)	N	新薬開発・研究のため / 先発薬メーカーの衰退に繋がってしまう	ジェネリックについて詳しい情報を知らない / 情報不足	効果が分からない / 不安がある	ジェネリックは先発品と同等ではないから	安全性に不安がある	自分に合わない場合がある	本当に医療費が安くなるのか疑問	副作用がある / 副作用が不安	患者の希望に従う	どちらでもいい	分からない	なんとなく	特になし
全体	400	2.5	2.3	1.8	1.8	1.5	1.5	0.8	0.5	1.3	0.8	2.3	0.8	3.3
男性30代	40	2.5	2.5	5.0	2.5	2.5	0.0	2.5	2.5	2.5	0.0	0.0	2.5	10.0
男性40代	44	2.3	2.3	2.3	2.3	0.0	2.3	0.0	0.0	0.0	2.3	2.3	0.0	4.5
男性50代	48	6.3	2.1	0.0	2.1	4.2	2.1	0.0	0.0	0.0	0.0	2.1	0.0	2.1
男性60代	67	1.5	1.5	1.5	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.5	1.5	3.0
女性30代	49	2.0	4.1	0.0	4.1	0.0	4.1	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0	2.0	2.0
女性40代	47	4.3	2.1	4.3	0.0	4.3	2.1	0.0	0.0	4.3	0.0	2.1	0.0	4.3
女性50代	52	0.0	1.9	0.0	0.0	1.9	0.0	0.0	0.0	0.0	3.8	1.9	0.0	0.0
女性60代	53	1.9	1.9	1.9	0.0	0.0	1.9	3.8	1.9	3.8	0.0	1.9	0.0	1.9
高レベル	33	9.1	0.0	0.0	0.0	6.1	0.0	0.0	0.0	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0
中レベル	153	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	2.0	0.7	0.0	2.6	1.3	1.3	0.7	2.6
低レベル	214	2.3	3.3	2.3	2.3	0.9	1.4	0.9	0.9	0.0	0.5	3.3	0.9	4.2

レベル理解



【ジェネリック医薬品 定点調査】  
医師におけるジェネリック医薬品への意識  
2012年10月 調査

2012年12月11日

**沢井製薬株式会社**

ジェネリック医薬品に関する意識、処方・調剤状況などを時系列で比較する。  
また、2012年4月の制度改正の前後でジェネリック医薬品についての説明有無、  
処方・調剤状況がどのように変化したかを検証する。

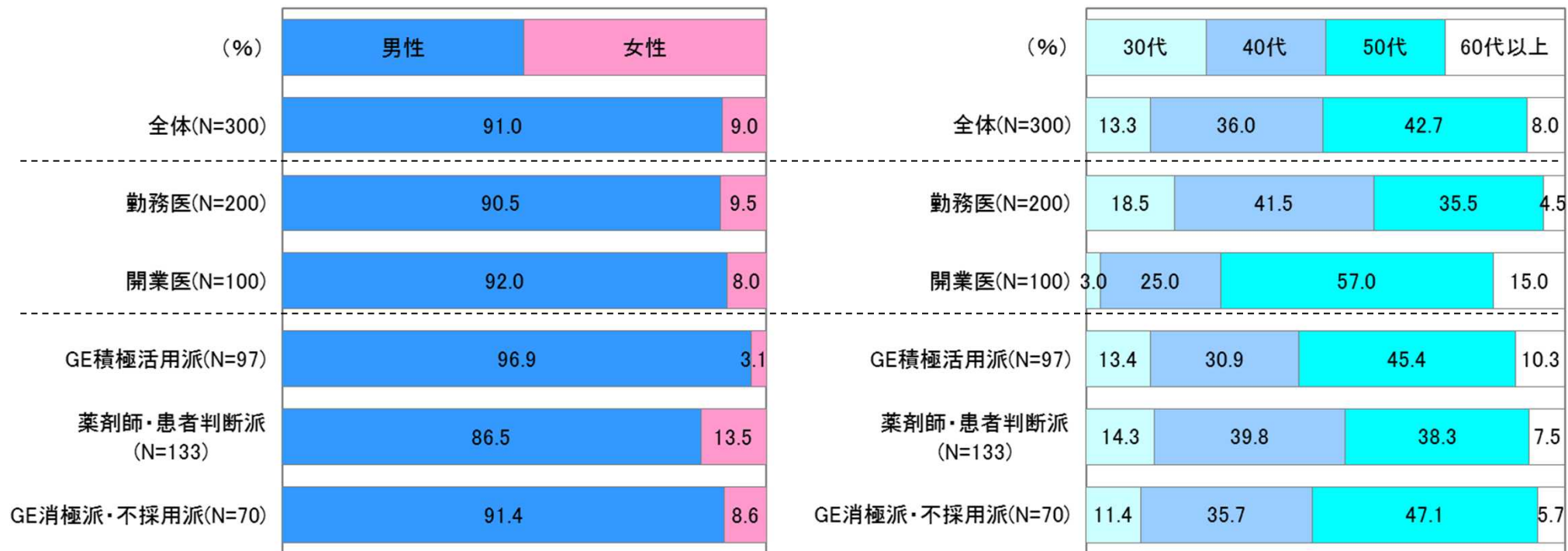
### 医師調査

調査対象： 全国の30～60代男女の医師 300名

調査項目： ・「ジェネリック医薬品」の認知  
・制度改正前後の「変更不可」処方せん / 医薬品割合  
・制度改正前後での患者さんからの処方依頼、患者さんへの説明機会の増減 など

調査手法： インターネット調査(実査機関:楽天リサーチ)

調査期間： 2012年10月26日(金)～30日(火)



Q2 「ジェネリック医薬品の使用方針」より分類

積極活用派・・・「積極的に活用している」と回答した方

薬剤師・患者判断派・・・「薬剤師/患者さんの判断に委ねている」と回答した方

消極派・不採用派・・・「積極的には活用していない」/「活用していない」と回答した方

- Q1. 「ジェネリック医薬品」についてご存知の事柄をすべてお選びください。(MA)
- Q2. ジェネリック医薬品の処方について、あなたのお考えを教えてください。(SA)
- Q3. (Q2で「積極的には活用していない」「活用していない」とお答えの方へ)  
ジェネリック医薬品を「積極的には活用していない」、あるいは「活用していない」理由をすべてお選びください。(MA)
- Q4. 最近1カ月以内に発行した処方せんにおいて、ジェネリック医薬品への「変更不可」欄にチェックした処方薬はありますか。(SA)
- Q5. 最近1カ月以内に発行した処方せんにおいて、ジェネリック医薬品への「変更不可」欄にチェックした医薬品の割合はどの程度ですか。(SA)
- Q6. 最近1カ月以内に発行した処方せんのうち、「一般名処方」を行った処方せんの割合は、枚数ベースでどの程度ですか。(SA)
- Q7. (Q4で「ある」とお答えの方へ)  
ジェネリック医薬品への「変更不可」欄にチェックした理由はなんでしょうか。あてはまるものをすべてお選びください。(MA)
- Q8. 患者さんにジェネリック医薬品について説明する際の状況として、2012年3月以前と最近の状況について最もあてはまるものをそれぞれお答えください。(SA)
- Q9. (Q8で「患者さんから質問されて説明することが多かった」「説明することも質問されることもなかった」とお答えの方へ)  
ジェネリック医薬品について、自ら説明しなかった理由は何ですか？(FA)
- Q10. ジェネリック医薬品の使用を進める上で、保険薬局や薬剤師に何を望みますか。(MA)
- Q11. ジェネリック医薬品が、国民医療費の節減や患者負担の軽減に寄与することを踏まえ、あなたご自身のお考えとしてお答えください。  
今後ジェネリック医薬品はよりいっそう世の中に広まっていくべきだと思いますか。(SA)
- Q12. Q11でジェネリック医薬品の普及についてお答えになった理由を、自由にお答えください。(FA)
- Q13. 今後、ジェネリック医薬品が普及していくためには、どのようなことが必要だとお考えですか。(FA)

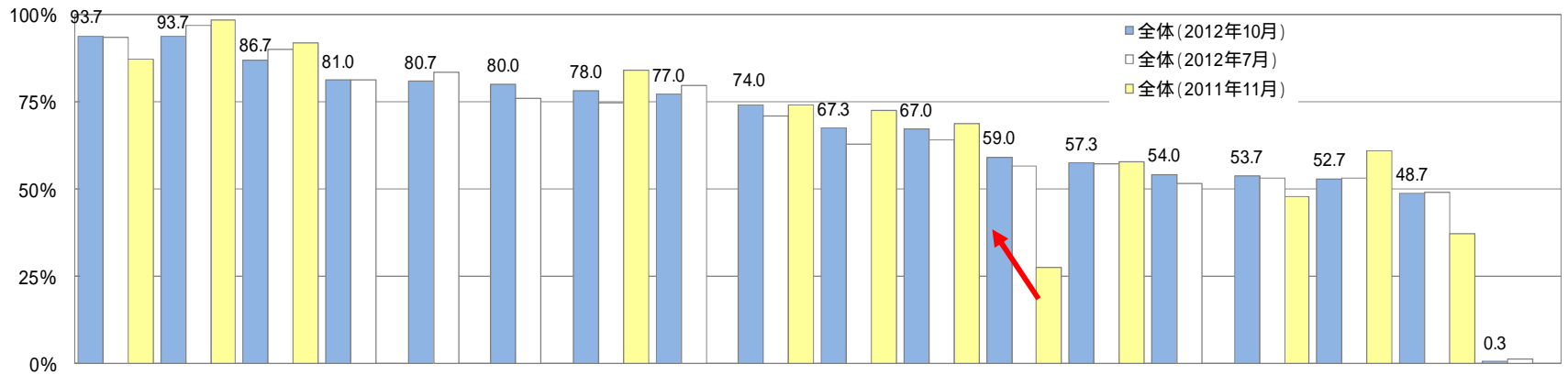
SA：単一回答  
MA：複数回答  
FA：自由回答

# ジェネリック医薬品 特徴認知

Q1.「ジェネリック医薬品」についてご存知の事柄をすべてお選び下さい。(MA)

「一般名で処方することが可能である」は77.0%。

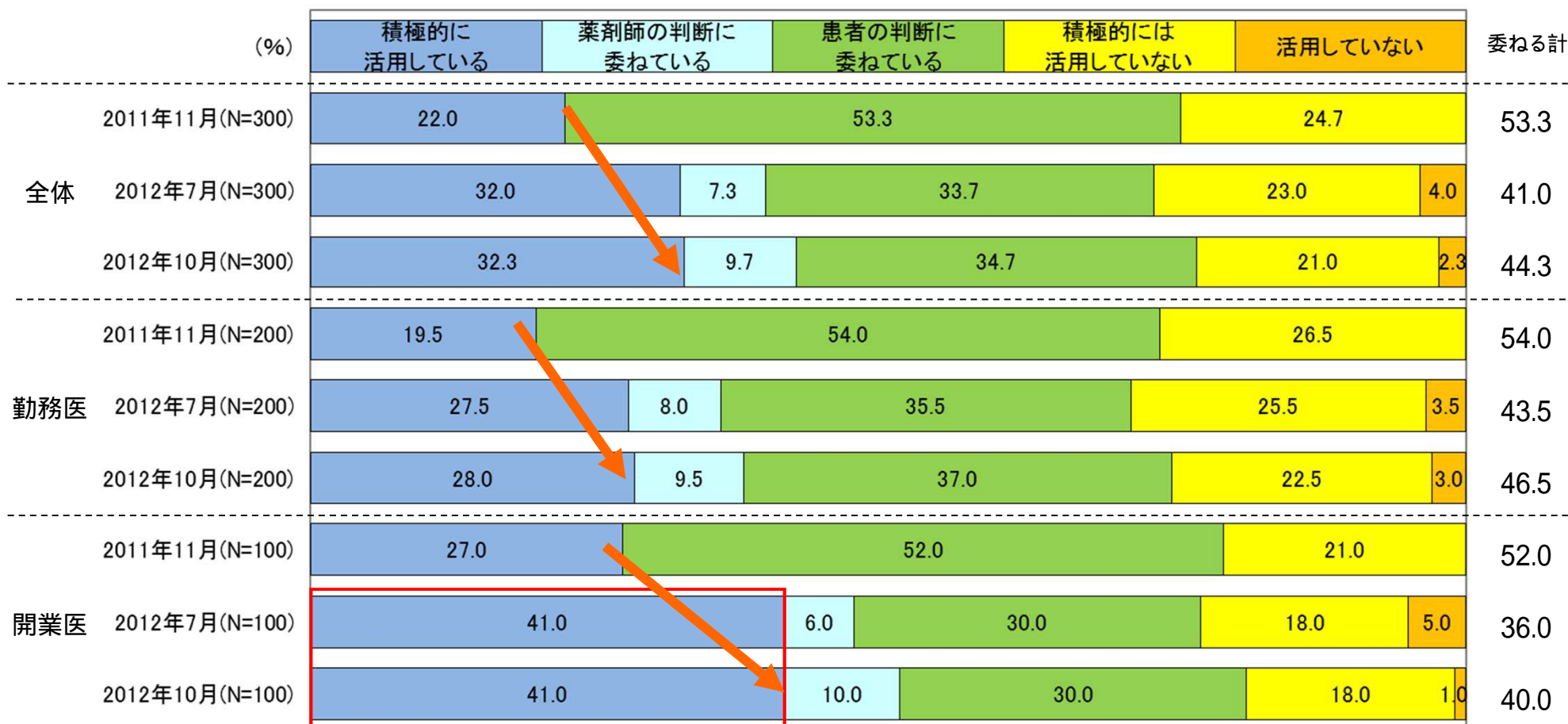
「薬を飲みやすいように、製剤工夫がされているものもある」は、59.0%で、増加傾向にある。



(%)	N	医療用医薬品である	新薬の特許期間満了後に発売される薬	薬価は新薬の2〜7割	薬価が安いのは、研究費がためである	「変更不可」薬と相談し、患者は医師や薬剤師に相談し、GEに変更	錠剤、注射剤、点眼剤、貼付剤など様々な剤形での展開	患者個人の自己負担額の軽減につながる	一般名で処方することが可能である	国全体の医療費削減につながる	新薬と同じ主成分・品質・同等の効き目・品質	生活習慣病治療剤・抗がん剤など様々な薬剤で展開されている	製剤工夫がされているものもある	薬を飲みやすいように、製剤工夫がされているものもある	有効性・安全性を確認	生物学的同等性試験及び溶出試験により確認	健康保険組合につながる	財政健全化につながる	シエラ	欧米諸国の多くでは50%の医療用医薬品の約50%	使用されている割合	日本ではまだ少ない	30%を数量ベースとして2012年までの方針としてシエラ	ひとつも知らない
全体 (2011年11月)	300	87.0	98.3	91.7				84.0		74.0	72.3	68.7	27.3	57.7		47.7		60.7	37.0	0.0				
全体 (2012年7月)	300	93.3	96.7	90.0	81.0	83.3	75.7	74.7	79.7	70.7	62.7	64.0	56.3	57.0	51.3	53.0	53.0	53.0	49.0	1.0				
全体 (2012年10月)	300	93.7	93.7	86.7	81.0	80.7	80.0	78.0	77.0	74.0	67.3	67.0	59.0	57.3	54.0	53.7	52.7	48.7	0.3					
勤務医	200	96.0	93.0	84.5	78.5	82.0	81.0	78.5	73.5	72.5	67.5	69.0	55.5	55.5	51.5	52.0	51.5	46.5	0.0					
開業医	100	89.0	95.0	91.0	86.0	78.0	78.0	77.0	84.0	77.0	67.0	63.0	66.0	61.0	59.0	57.0	55.0	53.0	1.0					
GE積極活用派	97	96.9	96.9	85.6	86.6	80.4	86.6	87.6	77.3	83.5	82.5	70.1	71.1	62.9	69.1	57.7	54.6	47.4	0.0					
薬剤師・患者判断派	133	94.0	92.5	88.7	78.2	81.2	78.2	78.2	78.9	75.2	64.7	67.7	55.6	60.9	51.1	53.4	51.1	50.4	0.8					
GE消極派・不採用派	70	88.6	91.4	84.3	78.6	80.0	74.3	64.3	72.9	58.6	51.4	61.4	48.6	42.9	38.6	48.6	52.9	47.1	0.0					

## Q2. ジェネリック医薬品の処方について、あなたのお考えを教えてください。(SA)

「積極的に活用している」は全体の32.3%で、2011年11月より10.3pt増加。「患者の判断に委ねる」は34.7%。勤務医・開業医ともに「積極的に活用している」スコアが前年より増加し、特に開業医では41.0%だった。



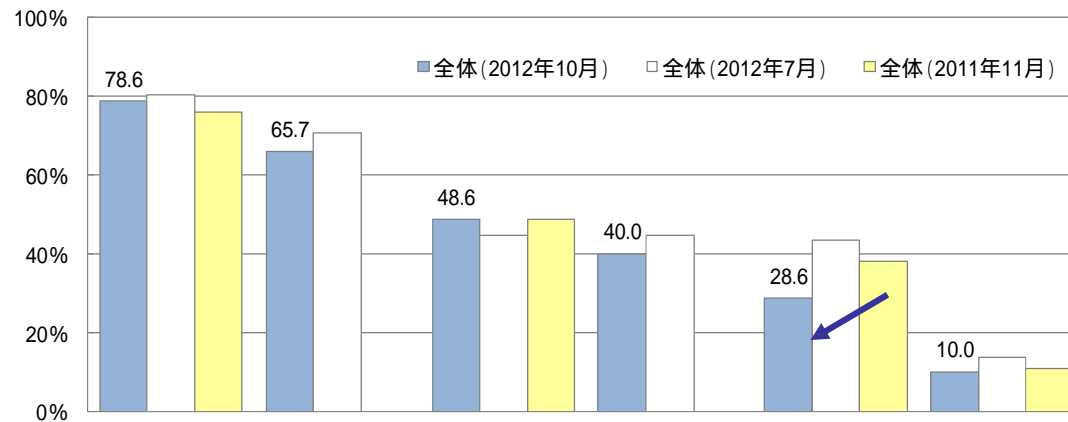


# ジェネリック医薬品を積極的に活用しない理由

Q2で「積極的に活用していない」「活用していない」とお答えの方へ

Q3. ジェネリック医薬品を「積極的に活用していない」、あるいは「活用していない」理由をすべてお選びください。(MA)

積極的でない理由は、「品質に対して疑問」が78.6%、「有効性・安全性に対して疑問・不安」が65.7%と高くなっている。また、「安定供給体制に不安を感じる」は、28.6%に低下した。



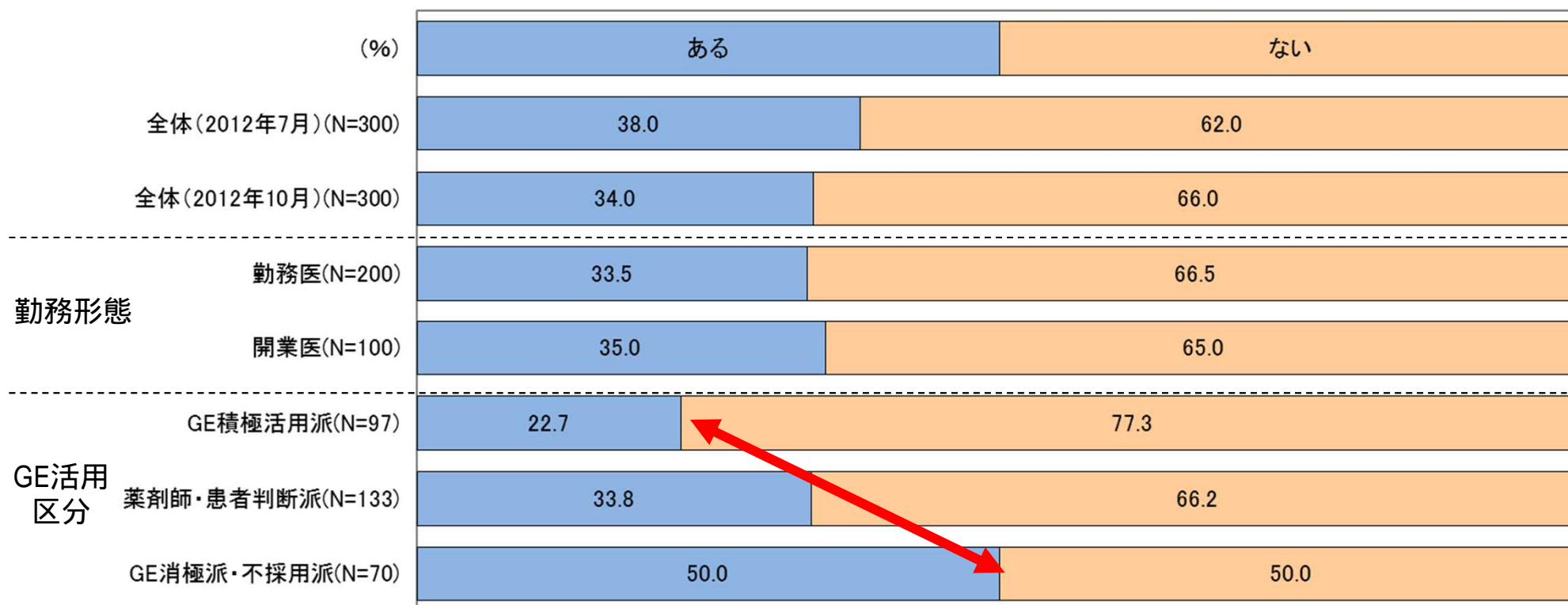
(%)	N	品質に対して疑問・ジェネリック医薬品の不安を感じる	有効性・安全性に対して疑問・不安を感じる	情報提供体制から不安を感じる	ジェネリック医薬品に不安を感じる	安定供給体制に不安を感じる	その他
全体 (2011年11月)	74	75.7		48.6		37.8	10.8
全体 (2012年7月)	81	80.2	70.4	44.4	44.4	43.2	13.6
全体 (2012年10月)	70	78.6	65.7	48.6	40.0	28.6	10.0
勤務医	51	76.5	60.8	45.1	43.1	25.5	9.8
開業医	19	84.2	78.9	57.9	31.6	36.8	10.5

2011年11月:「ジェネリック医薬品の効果に対して疑問を感じるから」= 67.6%

## ジェネリック医薬品「変更不可」医薬品の有無(最近1カ月以内)

Q4. 最近1カ月以内に発行した処方せんにおいて、ジェネリック医薬品への「変更不可」欄にチェックした処方薬はありますか？(SA)

最近1カ月以内に「変更不可」欄にチェックした処方薬があるのは全体の34.0%で、66.0%は「なかった」。「ない」は勤務医が66.5%に対し、開業医は65.0%と大きな差はない。ジェネリック医薬品活用区分では、積極派、薬剤師・患者判断派の「ない」が77.3%だったが、消極派は50.0%と半数であった。



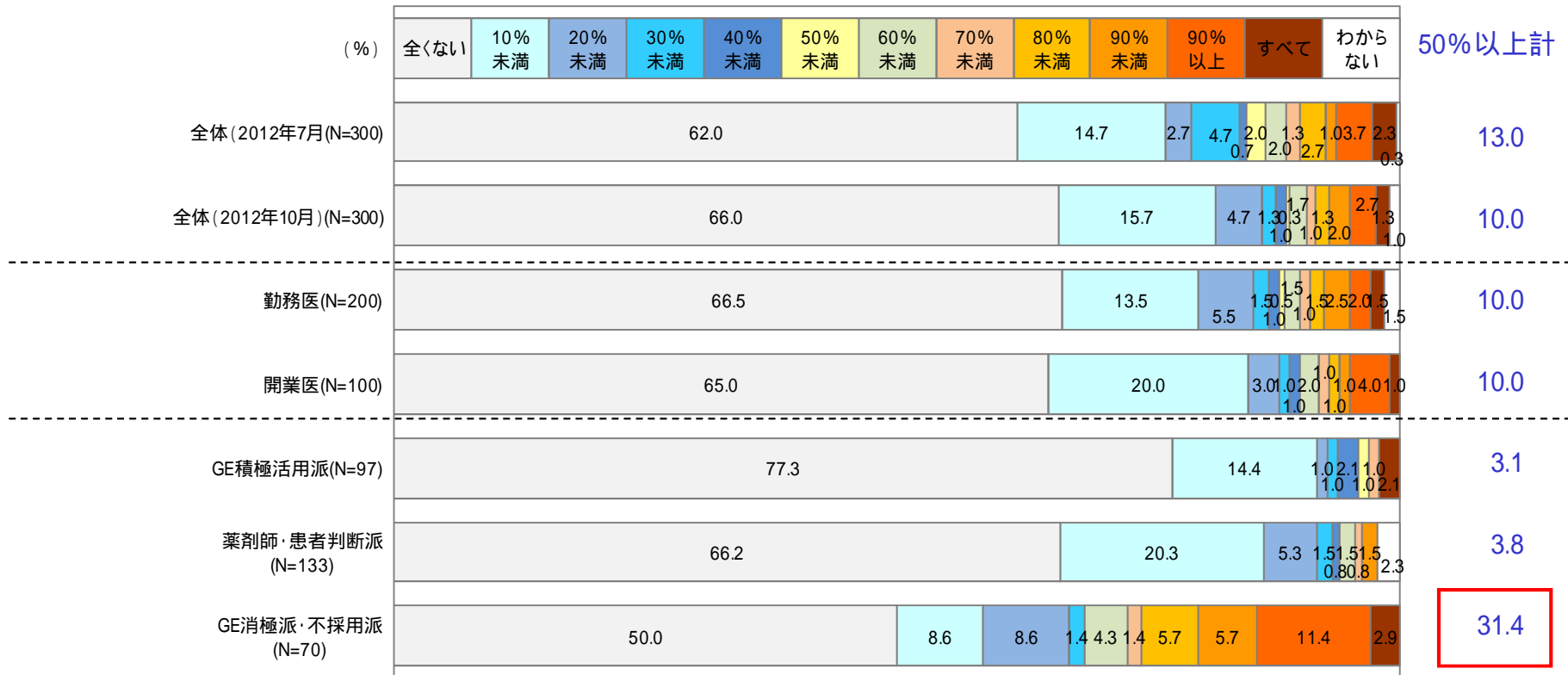
2012年7月：「Q. 2012年4月以降に発行した処方せんにおいて」

# ジェネリック医薬品「変更不可」医薬品割合(最近1カ月以内)

Q5. 最近1カ月以内に発行した処方せんにおいて、ジェネリック医薬品への「変更不可」欄にチェックした医薬品の割合はどの程度ですか？(SA)

全体ベースで見ると、最近1カ月以内に“チェックした割合”は「50%以上計」が10.0%で、勤務医と開業医に差はなかった。  
積極派、薬剤師・患者判断派は、3%台、消極派では、31.4%となっている。

## <全体ベース>

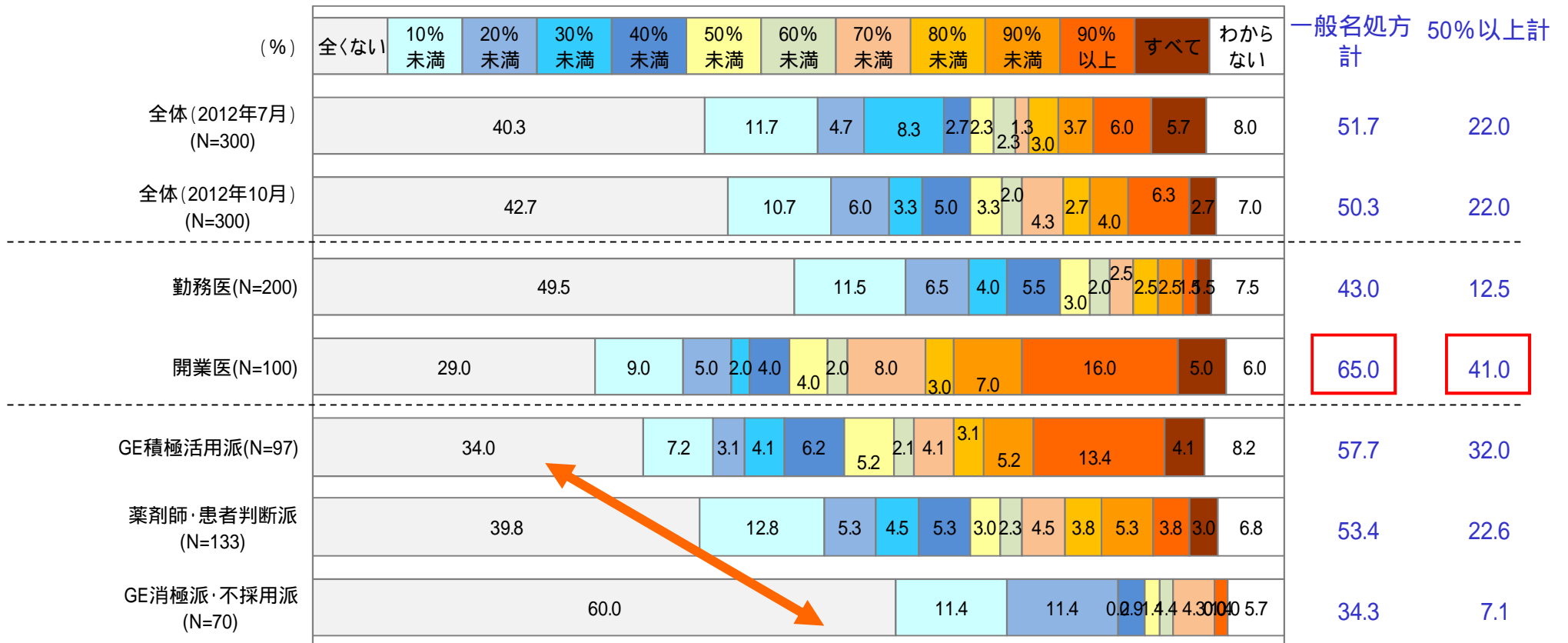


2012年7月：「Q. 2012年4月以降に発行した処方せんにおいて」

# 「一般名処方」での処方せんの割合 (最近1カ月以内)

Q6. 最近1カ月以内に発行した処方せんのうち、「一般名処方」を行った処方せんの割合は、枚数ベースでどの程度ですか。(SA)

「一般名処方」を「行った計」は、全体の50.3%。勤務医が43.0%に対し、開業医は65.0%と高かった。  
 「50%以上」行ったのは、全体の22.0%で、開業医では41.0%と高い。



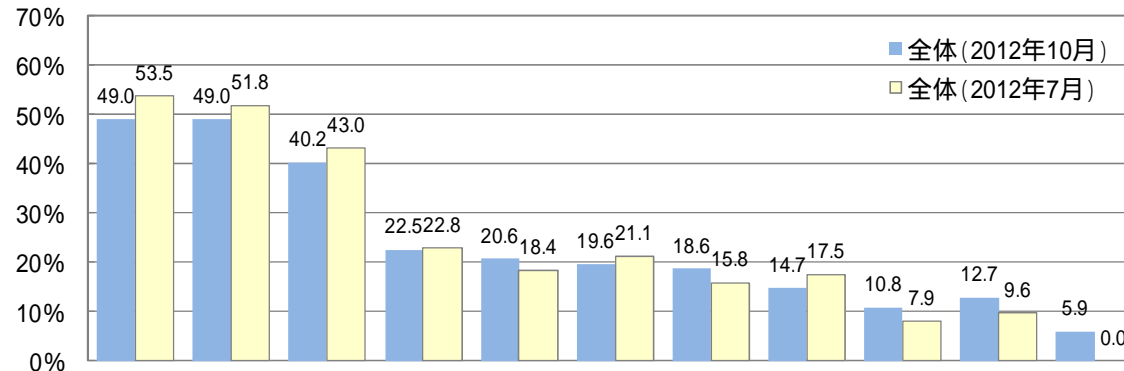
2012年7月: 「Q. 2012年4月以降に発行した処方せんのうち

# ジェネリック医薬品へ「変更不可」とした理由

Q5で「ある」とお答えの方へ

Q7. ジェネリック医薬品への「変更不可」欄にチェックした理由はなんでしょうか。あてはまるものをすべてお選びください。(MA)

不可の理由は、「有効性・安全性に対して疑問・不安を感じる」と「品質に対して疑問・不安を感じる」が49.0%で最も高く、「患者自身が望んでいない」が40.2%で続いている。



(%)	N	ジェネリック医薬品の品質から	安全性に対して疑問・不安を感じるから	患者自身が望んでいないから	調剤されるか心配な薬剤	ジェネリック医薬品に適應がないから	情報提供体制に不安を感じるから	安定供給体制に不安を感じるから	新薬の方が使い慣れているから	銘柄を指定されている医薬品から	その他	特に理由はない
全体 (2012年7月)	114	53.5	51.8	43.0	22.8	18.4	21.1	15.8	17.5	7.9	9.6	0.0
全体 (2012年10月)	102	49.0	49.0	40.2	22.5	20.6	19.6	18.6	14.7	10.8	12.7	5.9
勤務医	67	49.3	46.3	40.3	20.9	16.4	17.9	16.4	13.4	14.9	11.9	7.5
開業医	35	48.6	54.3	40.0	25.7	28.6	22.9	22.9	17.1	2.9	14.3	2.9
GE積極活用派	22	18.2	18.2	50.0	4.5	27.3	4.5	0.0	9.1	4.5	13.6	9.1
薬剤師・患者判断派	45	37.8	42.2	51.1	26.7	13.3	11.1	11.1	13.3	8.9	15.6	6.7
GE消極派・不採用派	35	82.9	77.1	20.0	28.6	25.7	40.0	40.0	20.0	17.1	8.6	2.9

# ジェネリック医薬品の患者さんへの説明状況

Q8. 患者さんにジェネリック医薬品について説明する際の状況として、2012年3月以前と最近について、最もあてはまるものをそれぞれお答えください。(SA)

3月以前に「自ら積極的に説明することが多かった」は、13.0%で、最近では13.3%とほとんど差はなかった。積極活用派では、「自ら積極的に」が3月以前29.9%、最近は32.0%で微増。

< 2012年3月以前 >

< 最近 >

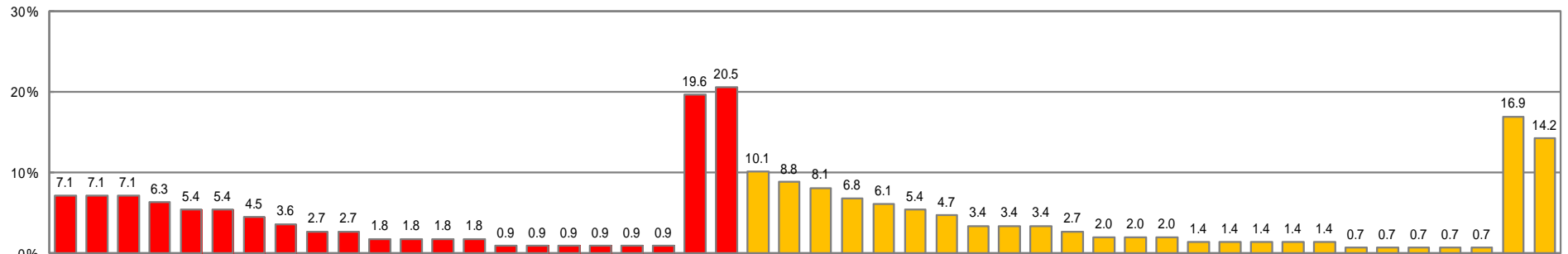
説明計	2012年3月以前 (%)			説明計	最近 (%)			説明計
	自ら積極的に説明することが多かった	患者さんから質問されて説明することが多かった	積極的に説明することも患者さんから質問されることもほとんどなかった		自ら積極的に説明することが多かった	患者さんから質問されて説明することが多かった	積極的に説明することも患者さんから質問されることもほとんどなかった	
全体(N=300)	13.0	38.3	48.7	51.3	13.3	37.3	49.3	50.7
勤務医(N=200)	13.0	35.5	51.5	48.5	13.5	34.5	52.0	48.0
開業医(N=100)	13.0	44.0	43.0	57.0	13.0	43.0	44.0	56.0
GE積極活用派(N=97)	29.9	29.9	40.2	59.8	32.0	28.9	39.2	60.8
薬剤師・患者判断派(N=133)	7.5	51.9	40.6	59.4	6.8	51.1	42.1	57.9
GE消極派・不採用派(N=70)	24.3	75.7		24.3	22.9	77.1		22.9

# ジェネリック医薬品について自ら積極的に説明していない理由

Q8で「患者さんから質問されて説明することが多かった」「説明することも質問されることもなかった」とお答えの方へ

## Q9. ジェネリック医薬品について、自ら説明しなかった理由は何ですか？(FA)

患者に質問されて説明する層では「ジェネリック医薬品を推奨していない/処方に積極的でない」、「自分からは説明しない/患者に質問されない限り説明しない」「患者の希望次第/患者が希望するならジェネリック医薬品を処方する」がいずれも7.1%でトップ。積極的に説明することも患者に質問なかった層では「時間に余裕がない/説明している時間がない」が10.7%でトップ。

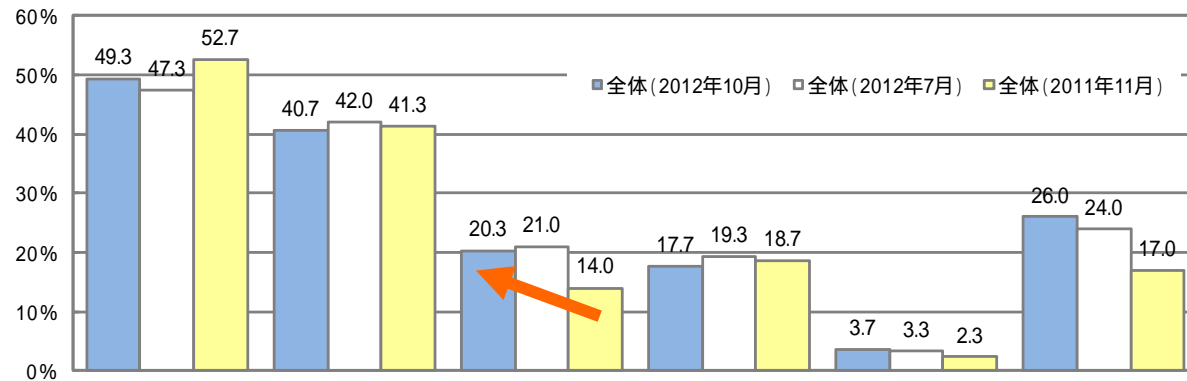


理由	患者さんから質問されて説明することが多かった(112名)											積極的に説明することも患者さんから質問されることもほとんどなかった(148名)																								
	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)								
ジェネリック医薬品を推奨していない/処方に積極的でない	260	7.1	87	0.0	173	11.6	66	0.0	124	7.4	70	18.8	260	10.1	87	9.1	173	10.6	66	13.2	124	5.4	70	14.8	260	20.5	87	20.9	173	20.3	66	28.6	124	19.1	70	12.5
自分からは説明しない/患者に質問されない限り説明しない	260	7.1	87	7.0	173	7.2	66	10.7	124	4.4	70	0.0	260	8.8	87	11.4	173	9.6	66	13.2	124	5.4	70	14.8	260	8.1	87	6.7	173	6.7	66	7.9	124	7.1	70	8.9
患者の希望次第/患者が希望するならジェネリック医薬品を処方する	260	7.1	87	11.6	173	4.3	66	10.7	124	5.9	70	0.0	260	8.1	87	14.4	173	14.4	66	0.0	124	1.8	70	0.0	260	6.8	87	9.6	173	5.3	66	2.6	124	1.8	70	3.6
時間に余裕がない/説明している時間がない	260	6.3	87	4.7	173	5.8	66	0.0	124	8.8	70	0.0	260	10.7	87	2.3	173	2.9	66	0.0	124	5.9	70	0.0	260	2.7	87	2.3	173	2.9	66	0.0	124	4.4	70	0.0
患者に質問された	260	5.4	87	4.7	173	2.9	66	0.0	124	8.8	70	0.0	260	5.4	87	9.3	173	4.3	66	0.0	124	5.9	70	0.0	260	2.7	87	2.3	173	2.9	66	0.0	124	4.4	70	0.0
患者から質問を受けることが増えた	260	5.4	87	9.3	173	4.3	66	7.1	124	5.9	70	0.0	260	4.5	87	4.7	173	4.3	66	0.0	124	5.9	70	0.0	260	3.6	87	2.3	173	2.9	66	0.0	124	5.9	70	0.0
薬局・薬剤師に任せている	260	4.5	87	4.7	173	2.9	66	0.0	124	8.8	70	0.0	260	3.6	87	2.3	173	2.9	66	0.0	124	5.9	70	0.0	260	2.7	87	2.3	173	2.9	66	0.0	124	4.4	70	0.0
効果が不十分	260	3.6	87	2.3	173	2.9	66	0.0	124	8.8	70	0.0	260	2.7	87	2.3	173	2.9	66	0.0	124	5.9	70	0.0	260	2.7	87	2.3	173	2.9	66	0.0	124	4.4	70	0.0
先発薬と後発薬は同等・同一成分ではない	260	2.7	87	2.3	173	2.9	66	0.0	124	8.8	70	0.0	260	1.8	87	2.3	173	2.9	66	0.0	124	5.9	70	0.0	260	1.8	87	2.3	173	2.9	66	0.0	124	5.9	70	0.0
医療費を安く抑えたい人には説明している	260	2.7	87	2.3	173	2.9	66	0.0	124	8.8	70	0.0	260	1.8	87	2.3	173	2.9	66	0.0	124	5.9	70	0.0	260	1.8	87	2.3	173	2.9	66	0.0	124	5.9	70	0.0
ジェネリック医薬品に不信感がある	260	1.8	87	2.3	173	2.9	66	0.0	124	8.8	70	0.0	260	1.8	87	2.3	173	2.9	66	0.0	124	5.9	70	0.0	260	1.8	87	2.3	173	2.9	66	0.0	124	5.9	70	0.0
ジェネリック医薬品に不信感がない	260	1.8	87	2.3	173	2.9	66	0.0	124	8.8	70	0.0	260	1.8	87	2.3	173	2.9	66	0.0	124	5.9	70	0.0	260	1.8	87	2.3	173	2.9	66	0.0	124	5.9	70	0.0
一般的に先発薬を処方する	260	1.8	87	2.3	173	2.9	66	0.0	124	8.8	70	0.0	260	1.8	87	2.3	173	2.9	66	0.0	124	5.9	70	0.0	260	1.8	87	2.3	173	2.9	66	0.0	124	5.9	70	0.0
基本的に先発薬を処方する	260	1.8	87	2.3	173	2.9	66	0.0	124	8.8	70	0.0	260	1.8	87	2.3	173	2.9	66	0.0	124	5.9	70	0.0	260	1.8	87	2.3	173	2.9	66	0.0	124	5.9	70	0.0
必要性を感じない	260	0.9	87	0.0	173	1.4	66	0.0	124	8.8	70	0.0	260	0.9	87	0.0	173	1.4	66	0.0	124	5.9	70	0.0	260	0.9	87	0.0	173	1.4	66	0.0	124	5.9	70	0.0
患者からの希望がない・少ない	260	0.9	87	0.0	173	1.4	66	0.0	124	8.8	70	0.0	260	0.9	87	0.0	173	1.4	66	0.0	124	5.9	70	0.0	260	0.9	87	0.0	173	1.4	66	0.0	124	5.9	70	0.0
高齢患者が多い/高齢者の方にはジェネリック医薬品の理解を求めるのは難しい	260	0.9	87	0.0	173	1.4	66	0.0	124	8.8	70	0.0	260	0.9	87	0.0	173	1.4	66	0.0	124	5.9	70	0.0	260	0.9	87	0.0	173	1.4	66	0.0	124	5.9	70	0.0
普段からジェネリック医薬品を採用している	260	0.9	87	0.0	173	1.4	66	0.0	124	8.8	70	0.0	260	0.9	87	0.0	173	1.4	66	0.0	124	5.9	70	0.0	260	0.9	87	0.0	173	1.4	66	0.0	124	5.9	70	0.0
ジェネリック医薬品に興味がない	260	0.9	87	0.0	173	1.4	66	0.0	124	8.8	70	0.0	260	0.9	87	0.0	173	1.4	66	0.0	124	5.9	70	0.0	260	0.9	87	0.0	173	1.4	66	0.0	124	5.9	70	0.0
分からない	260	0.9	87	0.0	173	1.4	66	0.0	124	8.8	70	0.0	260	0.9	87	0.0	173	1.4	66	0.0	124	5.9	70	0.0	260	0.9	87	0.0	173	1.4	66	0.0	124	5.9	70	0.0
特になし	260	19.6	87	20.9	173	18.8	66	21.4	124	22.1	70	19.1	260	19.6	87	20.9	173	18.8	66	21.4	124	22.1	70	19.1	260	19.6	87	20.9	173	18.8	66	21.4	124	22.1	70	19.1
その他	260	20.5	87	20.9	173	20.3	66	28.6	124	19.1	70	14.3	260	20.5	87	20.9	173	20.3	66	28.6	124	19.1	70	14.3	260	20.5	87	20.9	173	20.3	66	28.6	124	19.1	70	14.3
時間に余裕がない/説明している時間がない	260	10.1	87	9.1	173	10.6	66	10.5	124	14.3	70	5.4	260	10.1	87	9.1	173	10.6	66	10.5	124	14.3	70	5.4	260	10.1	87	9.1	173	10.6	66	10.5	124	14.3	70	5.4
ジェネリック医薬品を推奨していない	260	8.8	87	11.4	173	9.6	66	13.2	124	5.4	70	1.8	260	8.8	87	11.4	173	9.6	66	13.2	124	5.4	70	1.8	260	8.8	87	11.4	173	9.6	66	13.2	124	5.4	70	1.8
自分からは説明しない/患者に質問されない限り説明しない	260	8.1	87	6.7	173	6.7	66	7.9	124	7.1	70	8.9	260	8.1	87	6.7	173	6.7	66	7.9	124	7.1	70	8.9	260	8.1	87	6.7	173	6.7	66	7.9	124	7.1	70	8.9
病院でジェネリック医薬品を採用していない	260	6.8	87	4.5	173	3.8	66	5.3	124	5.4	70	5.4	260	6.8	87	4.5	173	3.8	66	5.3	124	5.4	70	5.4	260	6.8	87	4.5	173	3.8	66	5.3	124	5.4	70	5.4
必要性を感じない	260	6.1	87	9.1	173	5.8	66	3.9	124	7.1	70	8.9	260	6.1	87	9.1	173	5.8	66	3.9	124	7.1	70	8.9	260	6.1	87	9.1	173	5.8	66	3.9	124	7.1	70	8.9
患者の関心が薄い	260	5.4	87	2.3	173	3.8	66	5.3	124	5.4	70	8.9	260	5.4	87	2.3	173	3.8	66	5.3	124	5.4	70	8.9	260	5.4	87	2.3	173	3.8	66	5.3	124	5.4	70	8.9
薬局・薬剤師に任せている	260	4.7	87	2.3	173	3.8	66	5.3	124	5.4	70	8.9	260	4.7	87	2.3	173	3.8	66	5.3	124	5.4	70	8.9	260	4.7	87	2.3	173	3.8	66	5.3	124	5.4	70	8.9
ジェネリック医薬品に不信感がある	260	3.4	87	0.0	173	3.8	66	0.0	124	5.4	70	8.9	260	3.4	87	0.0	173	3.8	66	0.0	124	5.4	70	8.9	260	3.4	87	0.0	173	3.8	66	0.0	124	5.4	70	8.9
患者からの希望がない・少ない	260	3.4	87	0.0	173	4.8	66	2.9	124	3.8	70	2.6	260	3.4	87	0.0	173	4.8	66	2.9	124	3.8	70	2.6	260	3.4	87	0.0	173	4.8	66	2.9	124	3.8	70	2.6
院内処方のため/院外処方を行っていない	260	3.4	87	4.5	173	2.9	66	3.3	124	3.8	70	2.6	260	3.4	87	4.5	173	2.9	66	3.3	124	3.8	70	2.6	260	3.4	87	4.5	173	2.9	66	3.3	124	3.8	70	2.6
ジェネリック医薬品に不信感がない	260	2.7	87	0.0	173	3.8	66	5.3	124	5.4	70	8.9	260	2.7	87	0.0	173	3.8	66	5.3	124	5.4	70	8.9	260	2.7	87	0.0	173	3.8	66	5.3	124	5.4	70	8.9
説明の必要がない/どちらでも良いと考えている	260	2.0	87	0.0	173	2.9	66	0.0	124	5.4	70	8.9	260	2.0	87	0.0	173	2.9	66	0.0	124	5.4	70	8.9	260	2.0	87	0.0	173	2.9	66	0.0	124	5.4	70	8.9
患者の希望次第/患者が希望するならジェネリック医薬品を処方する	260	2.0	87	4.5	173																															

# ジェネリック医薬品使用促進のために薬剤師に望むこと

## Q10. ジェネリック医薬品の使用を進める上で、保険薬局や薬剤師に何を望みますか。(MA)

「患者に十分説明してほしい」が最も高く、49.3%だった。次いで「医療機関へフィードバック」で、40.7%で、この2項目が4割を超えている。「ジェネリック医薬品の選定・採用を行えるよう情報を収集してほしい」が前年より6.3pt増加した。



(%)	N	患者に十分説明してほしい	医療機関へフィードバック	ジェネリック医薬品の選定・採用を行えるよう情報を収集してほしい	ジェネリック医薬品について深く理解を深めたい	その他	保険薬局や薬剤師に望むこと
全体 (2011年11月)	300	52.7	41.3	14.0	18.7	2.3	17.0
全体 (2012年7月)	300	47.3	42.0	21.0	19.3	3.3	24.0
全体 (2012年10月)	300	49.3	40.7	20.3	17.7	3.7	26.0
勤務医	200	50.5	40.5	18.5	17.5	5.0	22.5
開業医	100	47.0	41.0	24.0	18.0	1.0	33.0
GE積極活用派	97	46.4	38.1	28.9	20.6	1.0	28.9
薬剤師・患者判断派	133	61.7	45.9	15.0	18.0	3.8	15.8
GE消極派・不採用派	70	30.0	34.3	18.6	12.9	7.1	41.4

( ) 2011年調査と一部文章内容を変更

は全体より10pt以上。

は全体より10pt以下。

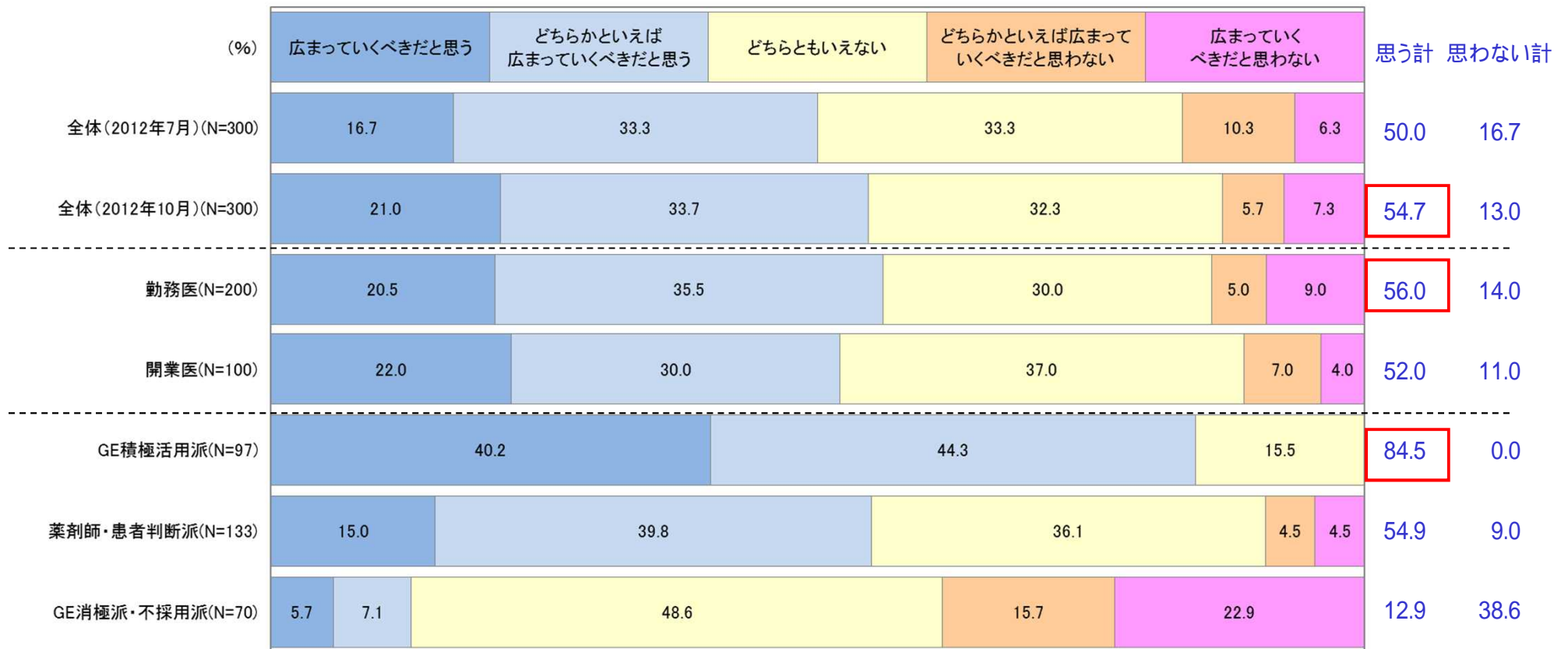


# 今後ジェネリック医薬品は世の中に広まっていくべきか

Q11. ジェネリック医薬品が、国民医療費の節減や患者負担の軽減に寄与することを踏まえ、あなたご自身のお考えとしてお答えください。  
今後ジェネリック医薬品はよりいっそう世の中に広まっていくべきだと思いますか。(SA)

「広まっていくべき」としたのは、全体の計54.7%で、2012年7月調査より4.7pt増加。勤務医の方が開業医よりやや高くなっている。

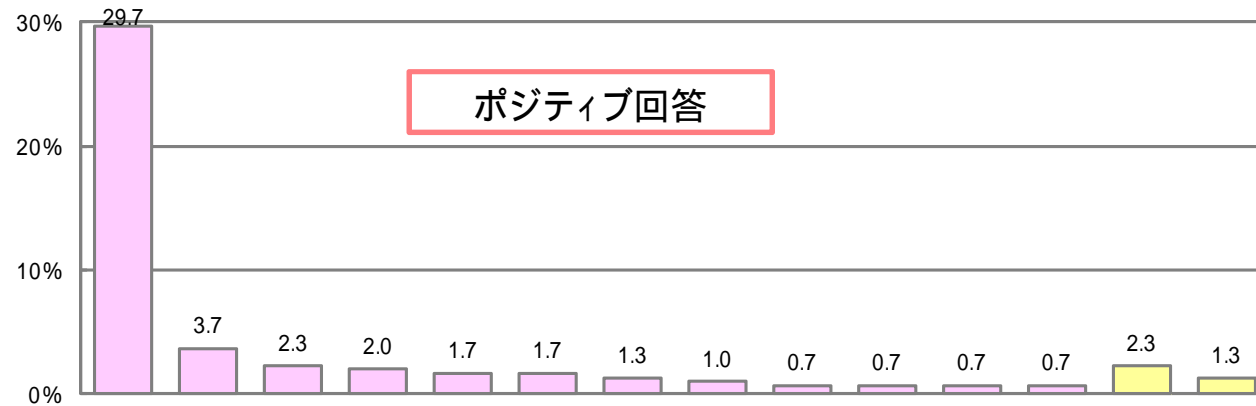
積極活用派では、84.5%と非常に高いが、消極派では12.9%だった。



# 今後ジェネリック医薬品は広まっていくべきかどうかその理由 (FAアフターコーディング集計)

Q12. Q11でジェネリック医薬品の普及についてお答えになった理由を、自由にお答えください。(FA)

ポジティブな意見は、「価格が安くなる / 経済的 / 医療費が安くなる / 医療費の軽減・削減」が全体の29.7%で最も高く、次いで、「患者の負担が減る」が3.7%。

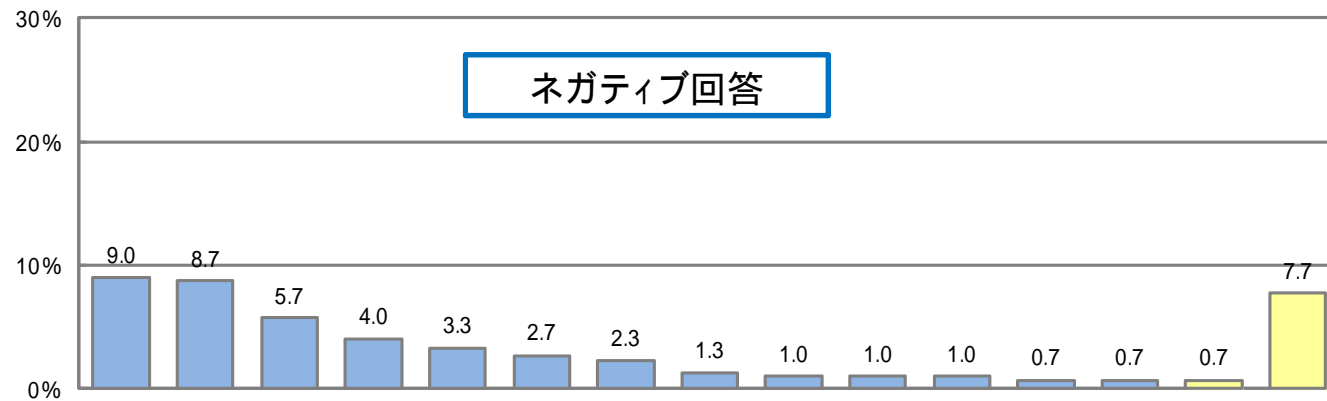


(%)	N	価格が安くなる / 経済的 / 医療費が安くなる / 削減	患者の負担が減る	患者の希望に合う	薬代が安くなる	国の医療費削減のため	現在の薬代は高すぎる	健康保険料が安くなる	自分に合うのであれば	効果が同じならば安い方がいい	生活保護者はジェネリックを	国策 / 国の方針であるから	品質が良いものもある / ジェネリックがすべて	利点欠点がある	どちらでもいい / 気にしていな
全体	300	29.7	3.7	2.3	2.0	1.7	1.7	1.3	1.0	0.7	0.7	0.7	0.7	2.3	1.3
勤務医	200	35.0	3.5	3.0	2.0	1.5	1.5	1.0	0.0	1.0	1.0	0.5	0.0	2.0	1.5
開業医	100	19.0	4.0	1.0	2.0	2.0	2.0	2.0	3.0	0.0	0.0	1.0	2.0	3.0	1.0
GE積極活用派	97	44.3	8.2	0.0	3.1	2.1	3.1	1.0	1.0	1.0	0.0	0.0	0.0	1.0	1.0
薬剤師・患者判断派	133	28.6	2.3	3.0	2.3	2.3	1.5	2.3	0.8	0.8	0.8	1.5	1.5	2.3	1.5
GE消極派・不採用派	70	11.4	0.0	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0	1.4	0.0	1.4	0.0	0.0	4.3	1.4

# 今後ジェネリック医薬品は広まっていくべきかどうかその理由 (FAアフターコーディング集計)

Q12. Q11でジェネリック医薬品の普及についてお答えになった理由を、自由にお答えください。(FA)

ネガティブな意見は、「品質が良くない/品質が信用できない」が全体の9.0%で最も高く、次いで、「新薬開発・研究のため/先発薬メーカーの衰退に繋がってしまう」8.7%、「効果が分からない/効果に不安がある」5.7%が続く。

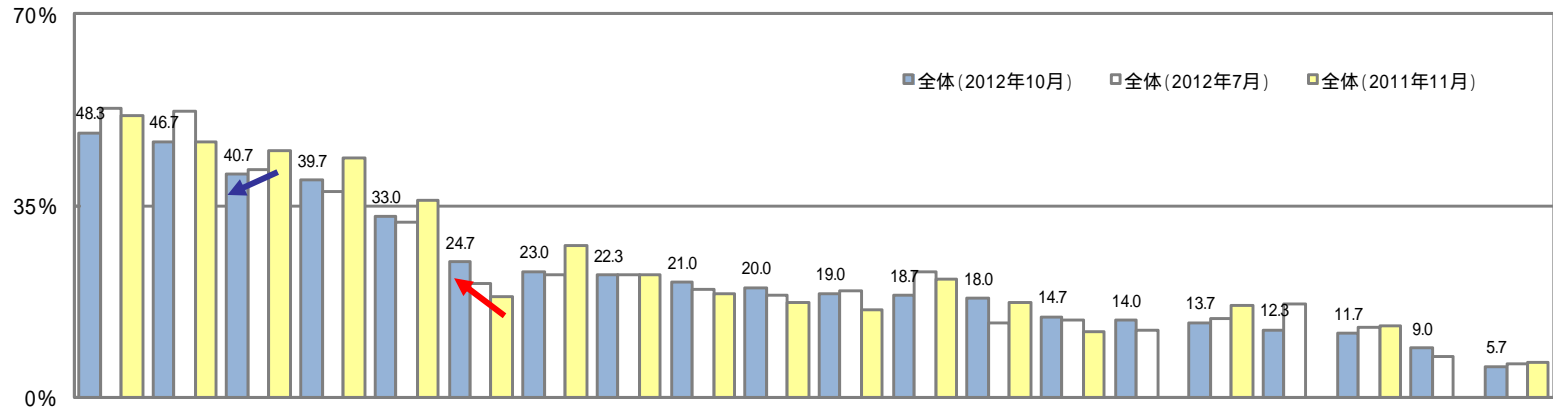


(%)	N	/品質が良くない/品質が信用できない	新薬開発・研究のため/先発薬メーカーの衰退に繋がってしまう	効果が分からない/効果に不安がある	ジェネリックは先発品と同等ではないから	安全性に不安がある	信用・信頼できない	先発薬の値段を下げるべき	副作用がある/副作用が不安	情報を知らない/情報不足	本当に医療費が安くなるのか疑問	責任が不明	安定供給が出来ていない	臨床試験が必要	なんとなく	特になし
全体	300	9.0	8.7	5.7	4.0	3.3	2.7	2.3	1.3	1.0	1.0	1.0	0.7	0.7	0.7	7.7
勤務医	200	9.5	8.0	5.5	3.5	3.5	2.5	2.0	2.0	1.0	1.5	1.5	0.5	0.5	1.0	7.0
開業医	100	8.0	10.0	6.0	5.0	3.0	3.0	3.0	0.0	1.0	0.0	0.0	1.0	1.0	0.0	9.0
GE積極活用派	97	4.1	8.2	3.1	1.0	1.0	0.0	3.1	1.0	0.0	1.0	0.0	0.0	1.0	0.0	10.3
薬剤師・患者判断派	133	8.3	9.0	5.3	5.3	2.3	3.8	0.8	0.0	0.8	0.8	1.5	0.8	0.8	0.8	7.5
GE消極派・不採用派	70	17.1	8.6	10.0	5.7	8.6	4.3	4.3	4.3	2.9	1.4	1.4	1.4	0.0	1.4	4.3

# ジェネリック医薬品が普及するために必要なこと

Q13. 今後、ジェネリック医薬品が普及していくためには、どのようなことが必要だとお考えですか。(MA)

上位は「より高品質な製品の開発・製造」が48.3%、「国が品質を保証」が46.7%、「ジェネリック医薬品メーカーに対する信頼感が上がる」が40.7%、「情報提供の充実」が39.7%。「ジェネリック医薬品メーカーに対する信頼感が上がる」は低下傾向、「国がジェネリック医薬品の品質を保証する」は増加傾向。



(%)	N	より高品質な製品の開発・製造	国がジェネリック医薬品の品質を保証する	ジェネリック医薬品メーカーに対する信頼感が上がる	情報提供の充実	安定供給のできる体制を整える	国が使用を促進する制度を取り組む	患者がジェネリック医薬品のことを知るようになる	ジェネリック医薬品に切り替えても利益を確保できる制度を導入する	医師がジェネリック医薬品に対する理解を深める	啓発活動に取り組む	大学病院など大病院が採用する	新薬メーカーがジェネリック医薬品に取り組む	大幅に改定する	薬剤師がジェネリック医薬品に対する理解を深める	自治体や国保が積極的に使用促進に取り組む	医師や薬剤師が患者に説明しやすい体制が充実する(パンフレットやツール等)	新薬(長期収載品)とジェネリック医薬品の薬価を同一にする	在庫問題などを解決するため薬局の地域連携体制を整える	企業の健保組合が積極的に使用促進に取り組む	その他
全体(2011年11月)	300	51.3	46.7	45.0	43.7	36.0	18.3	27.7	22.3	19.0	17.3	16.0	21.7	17.3	12.0	16.7	16.7	13.0	13.0	9.0	6.3
全体(2012年7月)	300	52.7	52.3	41.7	37.7	32.0	20.7	22.3	22.3	19.7	18.7	19.3	23.0	13.7	14.0	12.3	14.3	17.0	12.7	7.3	6.0
全体(2012年10月)	300	48.3	46.7	40.7	39.7	33.0	24.7	23.0	22.3	21.0	20.0	19.0	18.7	18.0	14.7	14.0	13.7	12.3	11.7	9.0	5.7
勤務医	200	45.5	42.5	40.5	42.0	32.0	26.0	25.5	23.0	25.0	22.5	19.0	18.0	17.5	17.5	16.0	15.5	9.5	11.5	9.5	6.5
開業医	100	54.0	55.0	41.0	35.0	35.0	22.0	18.0	21.0	13.0	15.0	19.0	20.0	19.0	9.0	10.0	10.0	18.0	12.0	8.0	4.0
GE積極活用派	97	39.2	47.4	37.1	40.2	34.0	28.9	27.8	25.8	29.9	24.7	28.9	20.6	21.6	15.5	20.6	9.3	11.3	10.3	12.4	4.1
薬剤師・患者判断派	133	51.9	51.1	45.9	40.6	35.3	28.6	28.6	25.6	19.5	22.6	16.5	18.0	18.0	18.8	12.8	18.0	10.5	17.3	8.3	3.8
GE消極派・不採用派	70	54.3	37.1	35.7	37.1	27.1	11.4	5.7	11.4	11.4	8.6	10.0	17.1	12.9	5.7	7.1	11.4	17.1	2.9	5.7	11.4

2011年11月:「企業の健保組合や地域行政が積極的に使用促進に取り組む」= 13.3%



【ジェネリック医薬品 定点調査】  
薬剤師におけるジェネリック医薬品への意識  
2012年10月 調査

2012年12月11日

**沢井製薬株式会社**

ジェネリック医薬品に関する意識、採用・調剤状況などを時系列で分析する。  
また、2012年4月の制度改正から、ジェネリック医薬品についての説明有無、  
処方・調剤状況がどのように変化したかを検証する。

### 薬剤師調査

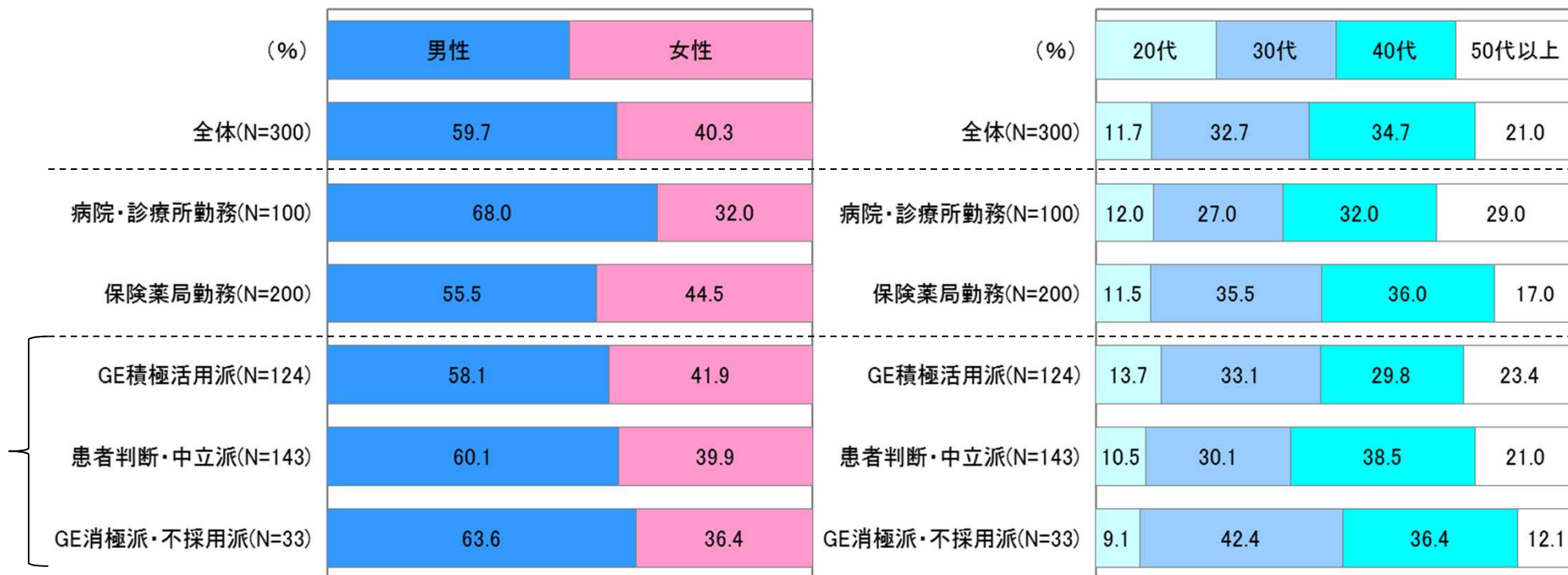
調査対象： 20～60代男女の薬剤師 300名

調査項目： ・「ジェネリック医薬品」の認知  
・制度改正前後の「変更不可」処方せん / 医薬品割合  
・制度改正前後での患者さんからの処方依頼、患者さんへの説明機会の増減 など

調査手法： インターネット調査(実査機関: 楽天リサーチ)

調査期間： 2012年10月26日(金)～30日(火)

調査回答者のプロフィールは以下のとおり。



Q2 「ジェネリック医薬品の使用方針」より分類

積極活用派・・・「積極的に活用している」と回答した方

薬剤師・患者判断派・・・「医師 / 患者さんの判断に委ねている」と回答した方

消極派・不採用派・・・「積極的には活用していない」 / 「活用していない」と回答した方

- Q1. 「ジェネリック医薬品」についてご存知の事柄をすべてお選びください。(MA)
- Q2. あなたのお勤め先では、ジェネリック医薬品の積極的活用を進められていますか。(SA)
- Q3. (Q2で「積極的には活用していない」「活用していない」とお答えの方へ)  
ジェネリック医薬品を「積極的には活用していない」、あるいは「活用していない」理由をすべてお選びください。(MA)
- Q4. (「保険薬局」勤務の方へ)  
2012年4月以降の「後発医薬品調剤体制加算」(22%以上:5点、30%以上:15点、35%以上:19点)において、  
あなたのお勤め先の薬局が、現時点で取得している「後発医薬品調剤体制加算」は何点ですか。(SA)
- Q5. あなたのお勤め先の薬局では、ジェネリック医薬品の数量を、今後さらに増やす方針はありますか。(SA)
- Q6. 2012年の制度改正により、処方せんに医師のサインがあっても「変更不可」欄にチェックがなければ、患者は薬剤師と相談の上、  
ジェネリック医薬品に変更することができるようになりました。最近1か月以内に応需した処方せんに記載されていた医薬品のうち、  
ジェネリック医薬品への変更が「不可」となっていない医薬品はどの程度ですか。(SA)
- Q7. 最近1か月以内にに、応需した処方せんのうち、「一般名処方」での処方せんの割合は、枚数ベースでどの程度ですか。(SA)
- Q8. 2012年4月の制度改正以降、「一般名処方」の普及が進んでいますが、薬局における「一般名処方」のメリットやデメリットは何ですか？(FA)
- Q9. 最近1か月以内にに、応需した処方せんのうち、実際にジェネリック医薬品を調剤した医薬品の割合はどの程度ですか。
- Q10. (Q9で「すべて」「わからない」以外とお答えの方へ)  
ジェネリック医薬品への変更が可能な処方薬で、ジェネリック医薬品を調剤されなかった理由は何でしょうか。(MA)
- Q11. 患者さんにジェネリック医薬品について説明する際の状況として、2012年3月以前と最近について、最もあてはまるものをそれぞれお答えください。(SA)
- Q12. ジェネリック医薬品について、自ら説明しなかった理由は何ですか？(SA)
- Q13. 今後、ジェネリック医薬品への変更が「不可」となっていない処方薬の場合、ジェネリック医薬品に変更しますか？(SA)
- Q14. ジェネリック医薬品の使用を進める上で、医師に何を望みますか？(FA)
- Q15. ジェネリック医薬品が、国民医療費の節減や患者負担の軽減に寄与することを踏まえ、あなたご自身のお考えとしてお答えください。  
今後ジェネリック医薬品はよりいっそう世の中に広まっていくべきだと思いますか。(SA)
- Q16. Q17でジェネリック医薬品の普及についてお答えになった理由を自由にお答えください。(FA)
- Q17. 今後、ジェネリック医薬品が普及していくためには、どのようなことが必要だとお考えですか？(MA)

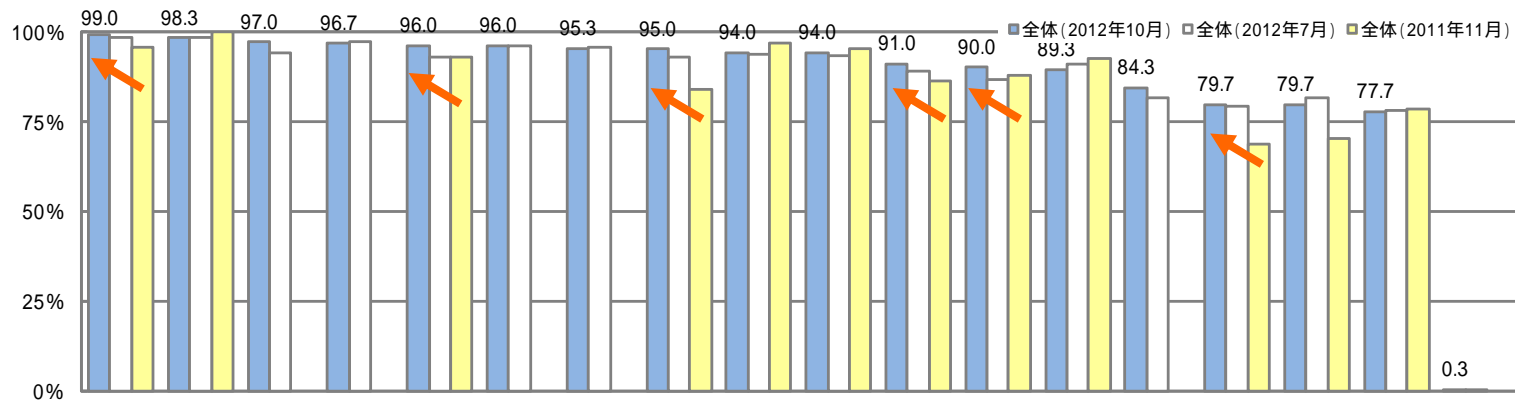
SA: 単一回答  
MA: 複数回答  
FA: 自由回答



# ジェネリック医薬品の特徴認知

Q1. 「ジェネリック医薬品」についてご存知の事柄をすべてお選び下さい。(MA)

17項目中12項目で、90%以上の認知があった。「医療用医薬品である」「薬価は新薬の2～7割」「製剤工夫がされている」「生物学的同等性試験及び溶出試験により」「様々な薬効で展開」は、11年11月及び12年7月のスコアを上回っている。



(%)	N	医療用医薬品である	新薬の特許期間満了後に発売される薬	錠剤、注射剤、点眼剤、貼付剤など様々な剤形で展開	一般名で処方することが可能である	薬価は新薬の2～7割	「変更不可」患者は薬剤師と相談し、G E に変更可能なものは、患者は医師や薬剤師が変更しているためである	薬価が安いのは、研究費がためである	製剤工夫がされているものもある( )	患者個人の自己負担額の軽減につながる	国全体の医療費削減につながる	生物学的同等性試験及び溶出試験により、有効性安全性を確認	生活習慣病治療剤・抗がん剤など様々な薬効で展開されている( )	新薬と同じ主成分・品質・同等の効き目・品質	健康保険組合の財政健全化につながる	医療用医薬品の約50%のシェア	30%を目標とする	国の方針として2012年までに数量ベースでシエア	使用されている割合は約25%程度ではないか( )	日本ではまだ約5%程度しかない( )	ひとつも知らない
全体 (2011年11月)	300	95.7	99.7			93.0			83.7	96.7	95.3	86.0	87.7	92.3		68.7	70.3	78.3	0.0		
全体 (2012年7月)	300	98.3	98.3	94.0	97.0	92.7	96.0	95.7	92.7	93.7	93.3	89.0	86.7	91.0	81.7	79.0	81.7	78.0	0.3		
全体 (2012年10月)	300	99.0	98.3	97.0	96.7	96.0	96.0	95.3	95.0	94.0	94.0	91.0	90.0	89.3	84.3	79.7	79.7	77.7	0.3		
病院 診療所	100	99.0	97.0	96.0	96.0	97.0	95.0	92.0	93.0	90.0	88.0	89.0	90.0	88.0	74.0	75.0	68.0	73.0	1.0		
保険薬局	200	99.0	99.0	97.5	97.0	95.5	96.5	97.0	96.0	96.0	97.0	92.0	90.0	90.0	89.5	82.0	85.5	80.0	0.0		
GE積極活用派	124	99.2	99.2	98.4	97.6	96.8	96.8	97.6	96.0	95.2	96.8	94.4	92.7	96.0	88.7	81.5	81.5	79.0	0.0		
医師・患者判断派	143	98.6	97.9	95.8	95.8	95.8	94.4	95.1	95.1	94.4	93.7	88.8	87.4	86.0	83.2	78.3	81.1	77.6	0.7		
GE消極派・不採用派	33	100.0	97.0	97.0	97.0	93.9	100.0	87.9	90.9	87.9	84.8	87.9	90.9	78.8	72.7	78.8	66.7	72.7	0.0		

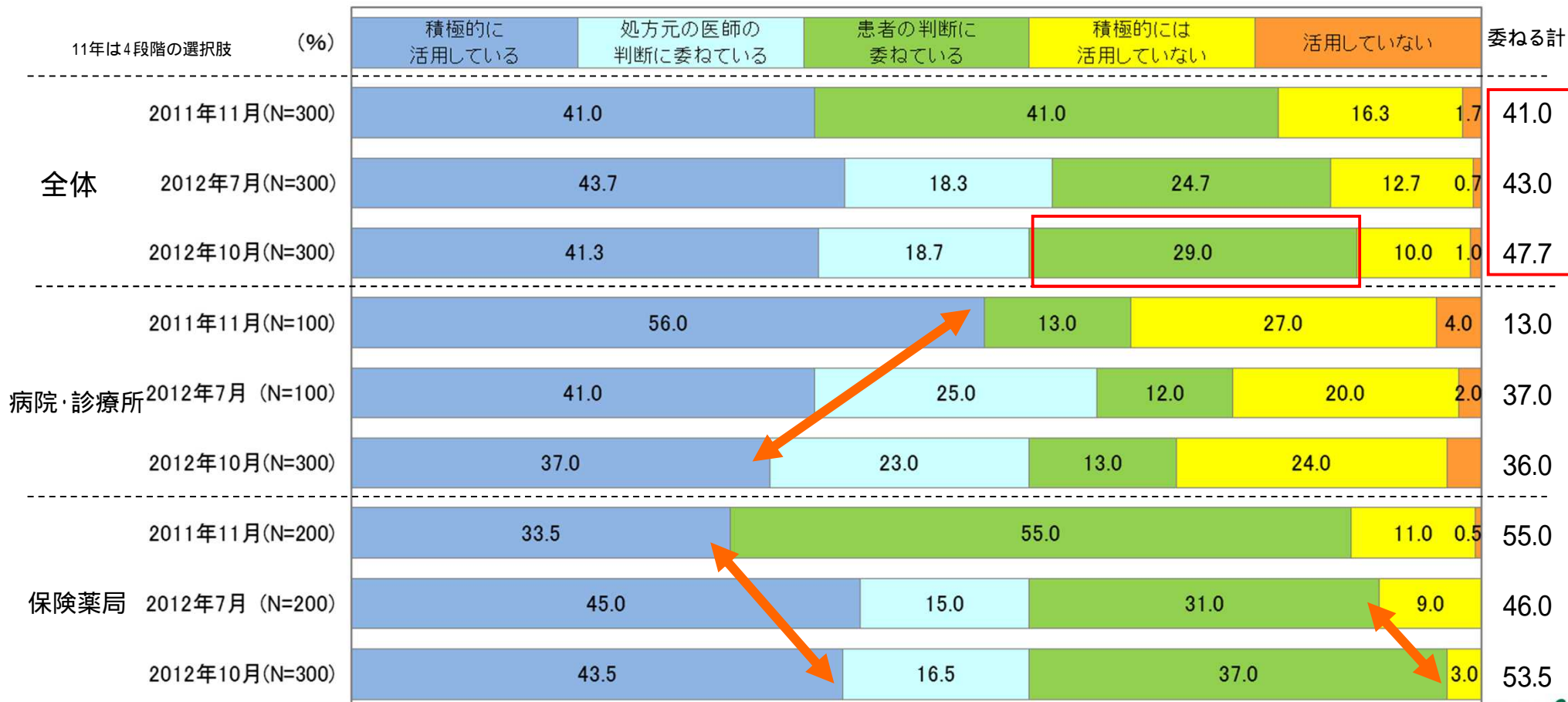


## Q2. あなたのお勤め先では、ジェネリック医薬品の積極的活用を進められていますか。(SA)

「積極的に活用している」は全体の41.0%。

「患者の判断に委ねる」は、29.0%で、12年7月より4.3pt増加し、「委ねる」計が増加傾向。

勤務形態では、保険薬局勤務で「積極的に活用」が11年11月 33.5% 12年10月 43.5%と大幅増加し、12年7月からは、「患者の判断に委ねる」が6.0pt増加。病院・診療所勤務で「積極的に活用」は37.0%だった。

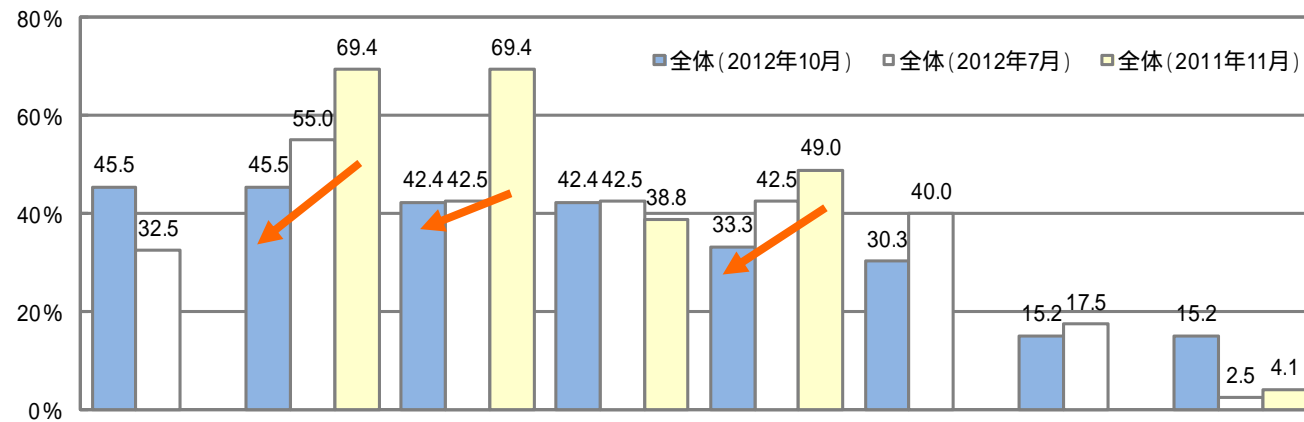


# ジェネリック医薬品を積極的に活用しない理由

Q2で「積極的に活用していない」「活用していない」とお答えの方へ

Q3. ジェネリック医薬品を「積極的に活用していない」、あるいは「活用していない」理由をすべてお選びください。(MA)

積極的でない理由は、「有効性・安全性に対して疑問・不安」「安定供給体制に不安」が45.5%でトップ。「安定供給体制」「品質に対して疑問・不安」「情報提供体制に不安」は、11年11月調査よりスコアが大幅に減少しているが、「有効性・安全性に対して疑問・不安」は12年7月調査よりスコアが上昇している。



(%)	N	有効性・安全性に対して疑問・不安を感じるから	安定供給体制に不安を感じるから	品質に対して疑問・不安を感じるから	医師から積極的に処方しない	情報提供体制に不安を感じるから	在庫負担が増えるから	ジェネリック医薬品から不安を感じる	その他
全体 (2011年11月)	49		69.4	69.4	38.8	49.0			4.1
全体 (2012年7月)	40	32.5	55.0	42.5	42.5	42.5	40.0	17.5	2.5
全体 (2012年10月)	33	45.5	45.5	42.4	42.4	33.3	30.3	15.2	15.2
病院・診療所勤務	27	48.1	48.1	48.1	48.1	40.7	29.6	18.5	11.1
保険薬局勤務	6	33.3	33.3	16.7	16.7	0.0	33.3	0.0	33.3

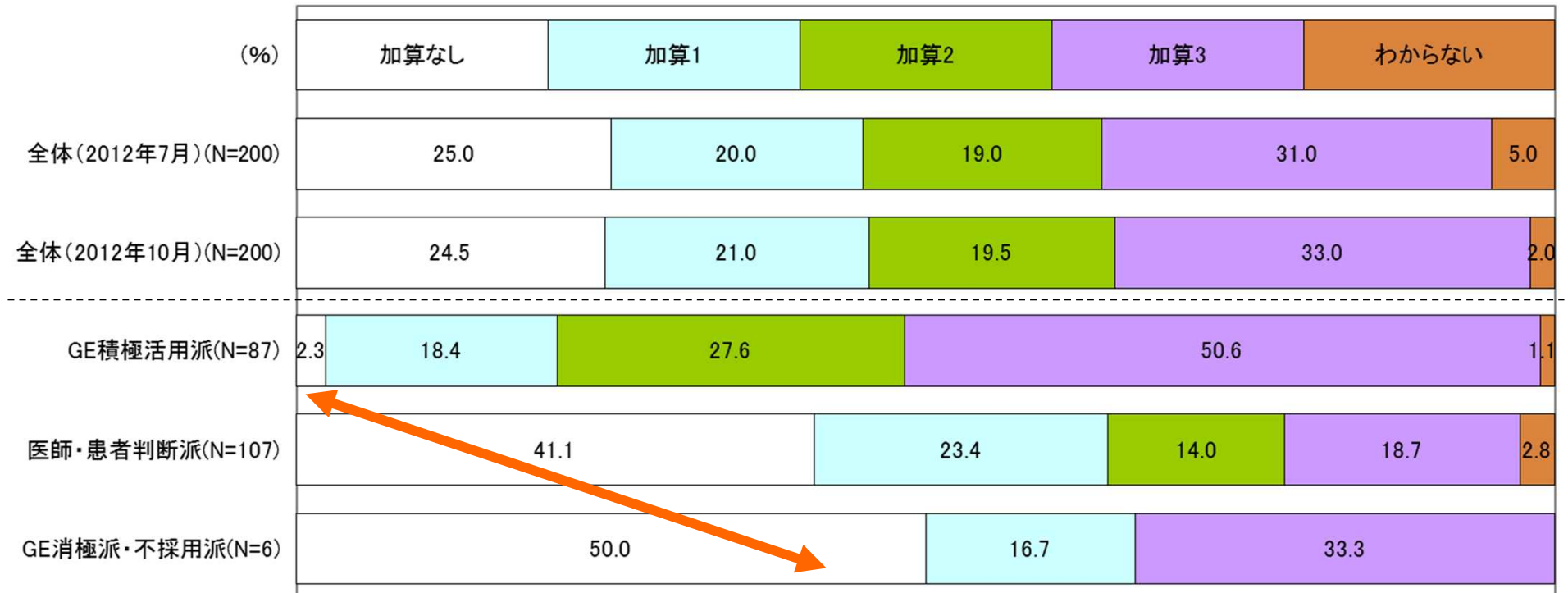
2011年: 「ジェネリック医薬品の効果に対して疑問・不安を感じるから」= 44.9%

# 後発医薬品調剤体制加算点数

「保険薬局」勤務者の方へ

Q4. 2012年4月以降の「後発医薬品調剤体制加算」(22%以上:5点、30%以上:15点、35%以上:19点)において、あなたのお勤め先の薬局が、現時点で取得している「後発医薬品調剤体制加算」は何点ですか。(SA)

「後発医薬品調剤体制加算」は、保険薬局の33.0%が「加算3 = 19点加算」で最も多く、次いで「加算なし」が24.5%。「加算2 = 15点加算」「加算1 = 5点加算」はそれぞれ2割ずつであった。積極活用派では「19点加算」が50.6%だが、消極派は「加算なし」が50.0%を占めている。



(ジェネリック医薬品消極派・不採用派は、サンプル数が少なく参考値)

「加算1」とは…当該薬局において調剤した薬剤の規格単位数量に占める後発医薬品の規格単位数量の割合が22%以上であること

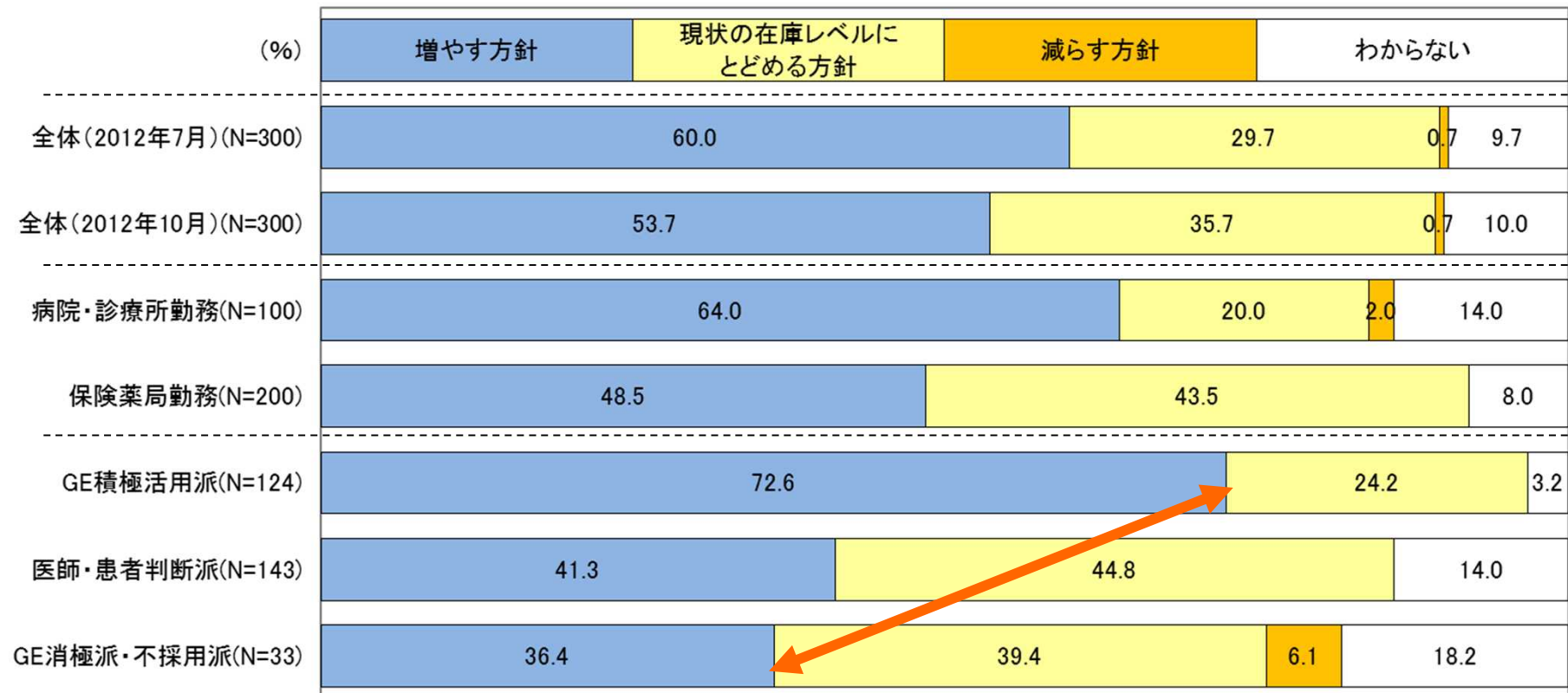
「加算2」とは…当該薬局において調剤した薬剤の規格単位数量に占める後発医薬品の規格単位数量の割合が30%以上であること

「加算3」とは…当該薬局において調剤した薬剤の規格単位数量に占める後発医薬品の規格単位数量の割合が35%以上であること

## ジェネリック医薬品の数量の方針

Q5. あなたのお勤め先の薬局では、ジェネリック医薬品の数量を、今後さらに増やす方針はありますか。(SA)

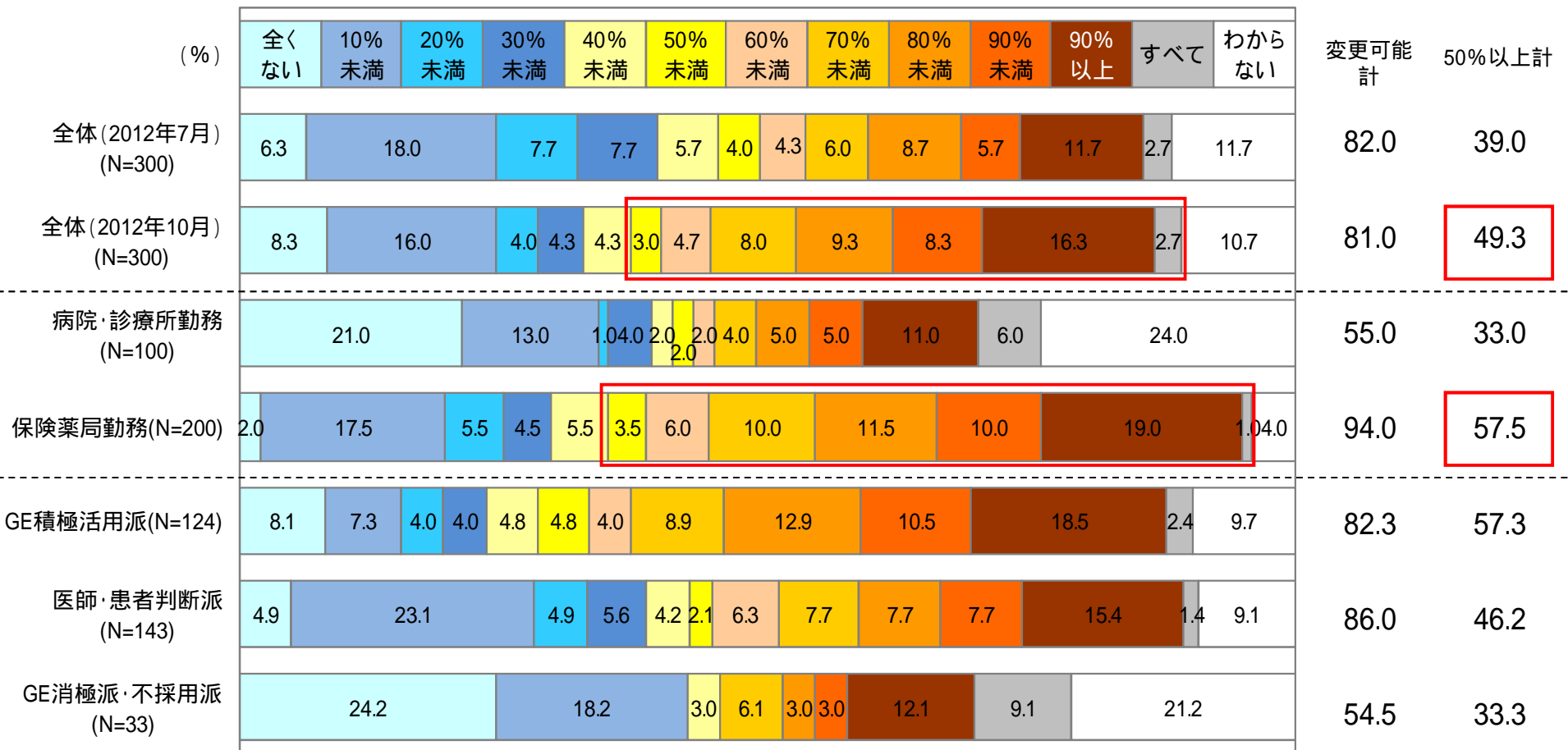
ジェネリック医薬品に対する数量の方針は、「増やす方針」が53.7%と過半数を占めた。  
 (12年7月から6.3pt減少し、「現状の在庫レベルにとどめる」が6pt増加した。)  
 積極活用派では72.6%、医師・患者判断派では41.3%が、増やす方針をとっている。



# ジェネリック「変更可能」処方薬の割合(最近1カ月以内)

Q6. 2012年の制度改正により、処方せんに医師のサインがあっても「変更不可」欄にチェックがなければ、患者は薬剤師と相談の上、ジェネリック医薬品に変更することができるようになりました。最近1カ月以内に応需した処方せんに記載されていた医薬品のうち、ジェネリック医薬品への変更が「不可」となっていない医薬品はどの程度ですか。(SA)

全体の81.0%が、最近1カ月で「不可」となっていない変更可能医薬品があったと答えた。  
 「50%以上計」は、全体の49.3%、保険薬局では57.5%だった。

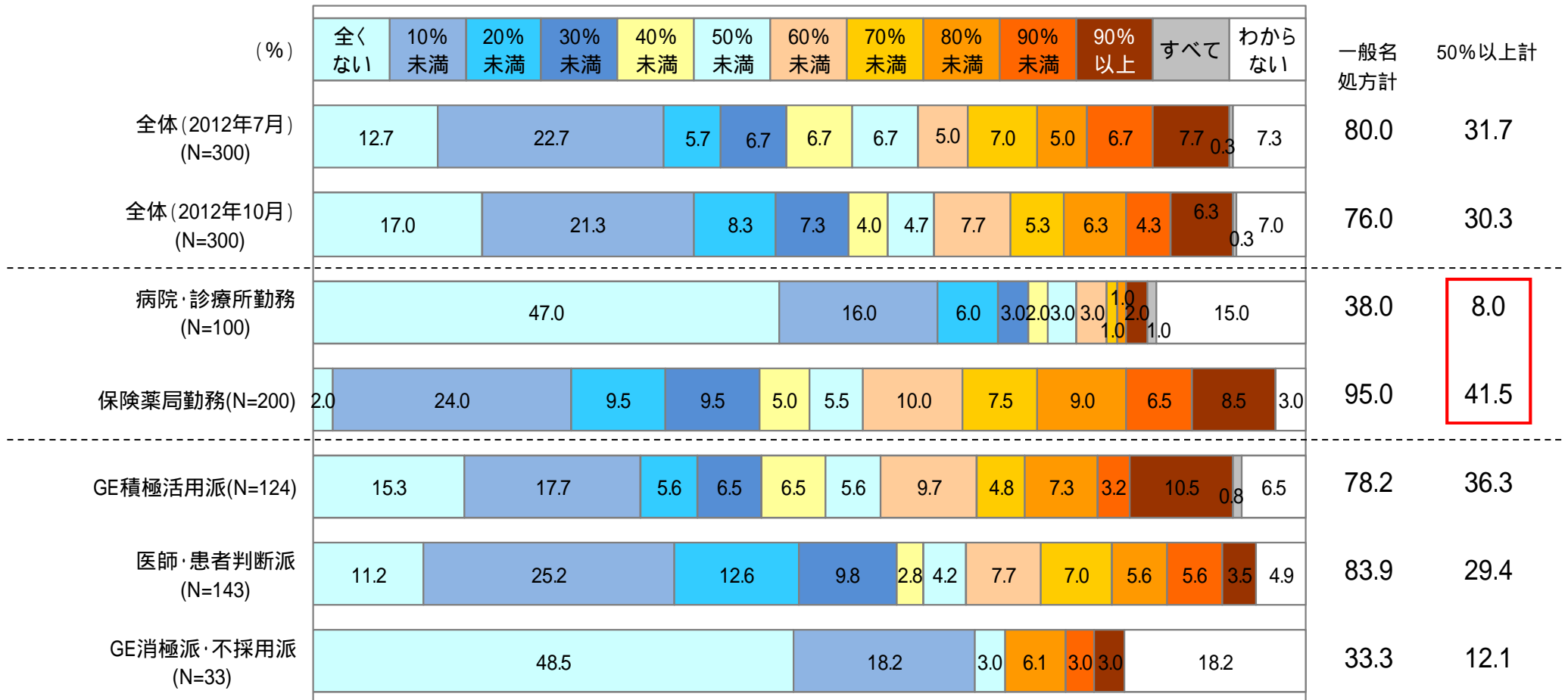


2012年7月:「Q. 2012年4月以降に応需した処方せん」

# 「一般名処方」での処方せんの割合 (最近1カ月以内)

Q7. 最近1ヶ月以内に応需した処方せんのうち、「一般名処方」での処方せんの割合は、枚数ベースでどの程度ですか。(SA)

一般名処方での処方せん応需経験者は、全体の76.0%だった。  
 「50%以上」あったのは、全体の30.3%で、保険薬局では41.5%だが、  
 病院・診療所では「全くない」が47.0%と高く、「50%以上」は8.0%に留まった。

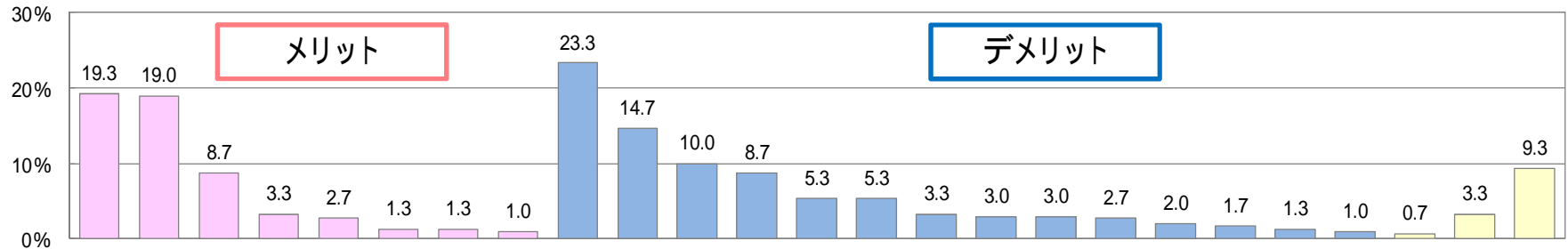


2012年7月: 「Q. 2012年4月以降に応需した処方せん」

# 「一般名処方」のメリット・デメリット(FAアフターコーディング集計)

Q8. 2012年4月の制度改正以降、「一般名処方」の普及が進んでいますが、薬局における「一般名処方」のメリットやデメリットは何ですか？(FA)

メリットは「薬剤を選択できる」(19.3%)と「在庫管理の簡易化」(19.0%)が高い。  
 デメリットは「面倒/手間がかかる」(23.3%)、「名前が長い・わかりにくい」(14.7%)が高い。



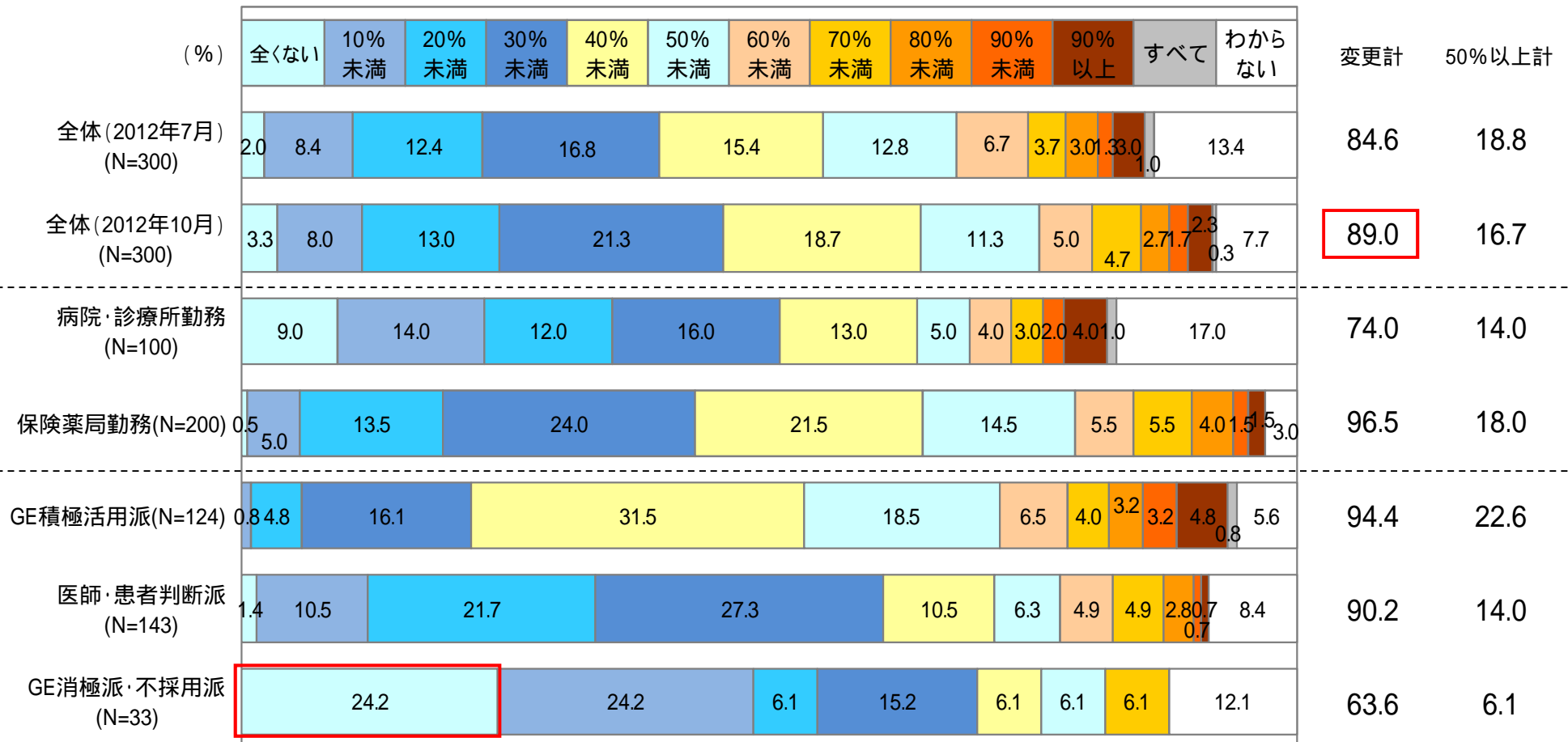
(%)	N	薬剤を選択できる	在庫管理の簡易化	ジェネリックに変更しやすい	患者に選択権がある	処方・調剤しやすい	患者の負担軽減/価格が安価	薬剤師の負担軽減	わかりやすい	面倒/手間がかかる	名前が長い/名前がわかりにくい	間違いを起す恐れがある	調剤ミス・処方ミスが起こる/多くなる	薬剤の選択に悩む	在庫が増える/在庫管理の煩雑化	一般名を覚えていない	処方箋が読みにくい	混乱する/区別しにくい	患者が使用している薬剤を把握しにくい	医師が処方薬を把握できない	覚えにくい/覚えきれない	患者自身が薬名を把握できない	効果に懐疑的/効果に不安がある	わからない	特になし	その他
全体	300	19.3	19.0	8.7	3.3	2.7	1.3	1.3	1.0	23.3	14.7	10.0	8.7	5.3	5.3	3.3	3.0	3.0	2.7	2.0	1.7	1.3	1.0	0.7	3.3	9.3
病院・診療所勤務	100	18.0	10.0	5.0	4.0	3.0	3.0	3.0	2.0	10.0	11.0	12.0	7.0	4.0	3.0	6.0	1.0	4.0	3.0	2.0	2.0	0.0	2.0	1.0	5.0	17.0
保険薬局勤務	200	20.0	23.5	10.5	3.0	2.5	0.5	0.5	0.5	30.0	16.5	9.0	9.5	6.0	6.5	2.0	4.0	2.5	2.5	2.0	1.5	2.0	0.5	0.5	2.5	5.5
GE積極活用派	124	16.9	22.6	12.9	3.2	4.0	0.8	1.6	1.6	25.0	15.3	9.7	6.5	4.0	8.9	4.0	3.2	2.4	4.0	3.2	0.8	0.8	0.8	0.8	2.4	3.2
医師・患者判断派	143	22.4	18.2	7.0	4.2	1.4	1.4	0.0	0.7	25.9	13.3	11.2	9.8	6.3	3.5	1.4	2.8	2.8	2.1	1.4	2.1	2.1	1.4	0.0	2.8	12.6
GE消極派・不採用派	33	15.2	9.1	0.0	0.0	3.0	3.0	6.1	0.0	6.1	18.2	6.1	12.1	6.1	0.0	9.1	3.0	6.1	0.0	0.0	3.0	0.0	0.0	3.0	9.1	18.2



# 「変更可能」処方せんにおけるジェネリック医薬品への変更割合 (最近1カ月以内)

Q9. 最近1カ月以内に応需した処方せんのうち、実際にジェネリック医薬品を調剤した医薬品の割合はどの程度ですか？  
正確でなくても構いませんので、最もあてはまると思われるものをお答えください。(SA)

全体の89.0%が、「実際にジェネリック医薬品を調剤した医薬品」があったと答えた。  
ジェネリック医薬品積極派では「全くない」スコアが0%だが、消極派・不採用派では24.2%と高い。



2012年7月: 「Q. 2012年4月以降に応需した処方せん」

ジェネリック医薬品への変更が可能な医薬品を全体の100%とする

## 全体に対するジェネリック医薬品への変更割合

Q6. 最近1か月以内に応需した処方せんに記載されていた医薬品のうち、ジェネリック医薬品への変更が「不可」となっていない医薬品はどの程度ですか？(SA)  
 Q9. 最近1か月以内に応需した処方せんのうち、実際にジェネリック医薬品を調剤した医薬品の割合はどの程度ですか？(SA)

実際にジェネリック医薬品に変更した割合は、17.3%で11年11月から1.5pt増加。  
 積極活用派では、25.2%が実際に変更している。

	Q6. 変更可能な 処方薬の 割合平均		Q9. 変更可能な処方 せんにジェネリック 医薬品に変更した割合		実際に ジェネリック医薬品に 変更した割合
全体	50.8%	×	34.0%	=	17.3%
病院・診療所勤務	41.5%	×	29.9%	=	12.4%
保険薬局勤務	54.5%	×	35.7%	=	19.4%
GE積極活用派	58.1%	×	43.3%	=	25.2%
医師・患者判断派	46.7%	×	28.7%	=	13.4%
GE消極派・不採用派	39.8%	×	18.7%	=	7.4%
* 参考：2012年7月調査	44.3%	×	35.8%	=	15.8%
参考：2011年11月調査	52.3%	×	30.3%	=	15.8%
参考：2010年10月調査	52.8%	×	27.2%	=	14.4%
参考：2009年10月調査	52.5%	×	21.3%	=	11.2%
参考：2008年10月調査	48.1%	×	20.6%	=	10.5%

2011年11月調査までは  
処方せんベース

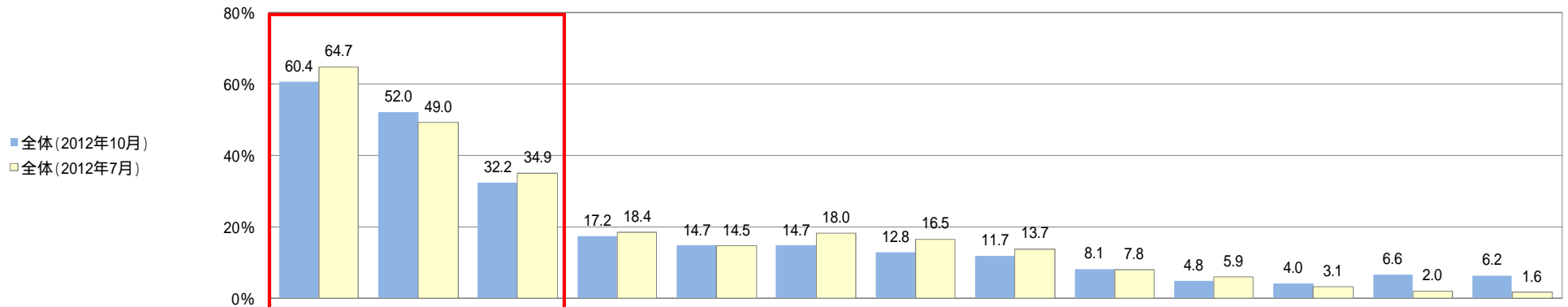
\* 2012年7月：「Q. 2012年4月以降に応需した処方せん」

# ジェネリック医薬品を調剤しなかった理由

Q9で「すべて」「わからない」以外とお答えの方へ

## Q10. ジェネリック医薬品への変更が可能な処方薬で、ジェネリック医薬品を調剤されなかった理由は何でしょうか。(MA)

「患者が変更を希望しなかったから」が60.4%でトップ(12年7月から4.3pt減)、次いで「在庫していなかったから」が49.0%(同3.0pt増)、「患者の負担額があまり変わらなかったから」が32.2%(同2.7pt減)。



(%)	N	患者が変更を希望しなかったから	在庫していなかったから	患者の負担額があまり変わらなかったから	施設として使用するから	ジェネリック医薬品の品質に対して疑問・不安を感じるから	ジェネリック医薬品に適應がないから	安定供給体制に不安を感じるから	有効性・安全性に疑問・不安を感じるから	情報提供体制に不安を感じるから	ジェネリック医薬品への変更を説明したから	新薬の方が使い慣れているから	その他	特に理由はない
全体 (2012年7月)	255	64.7	49.0	34.9	18.4	14.5	18.0	16.5	13.7	7.8	5.9	3.1	2.0	1.6
全体 (2012年10月)	273	60.4	52.0	32.2	17.2	14.7	14.7	12.8	11.7	8.1	4.8	4.0	6.6	6.2
病院・診療所勤務	79	15.2	41.8	2.5	32.9	11.4	5.1	6.3	8.9	7.6	0.0	1.3	7.6	19.0
保険薬局勤務	194	78.9	56.2	44.3	10.8	16.0	18.6	15.5	12.9	8.2	6.7	5.2	6.2	1.0
GE積極活用派	116	64.7	55.2	29.3	15.5	7.8	19.8	8.6	6.0	5.2	1.7	0.9	4.3	3.4
医師・患者判断派	131	63.4	50.4	38.9	14.5	19.1	12.2	17.6	15.3	9.9	7.6	5.3	8.4	7.6
GE消極派・不採用派	26	26.9	46.2	11.5	38.5	23.1	3.8	7.7	19.2	11.5	3.8	11.5	7.7	11.5

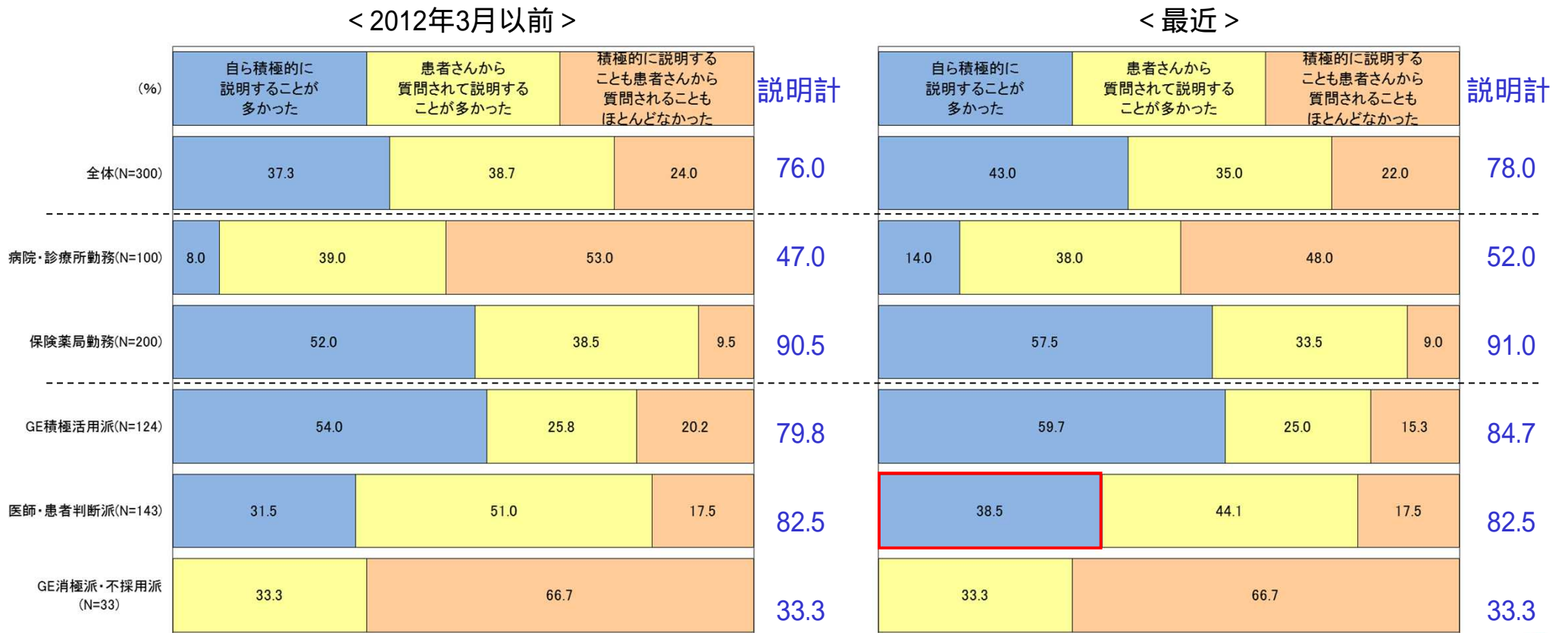
は全体より10pt以上。

は全体より10pt以下。

# ジェネリック医薬品の患者さんへの説明状況

Q11. 患者さんにジェネリック医薬品について説明する際の状況として、2012年3月以前と最近について、最もあてはまるものをそれぞれお答えください。(SA)

12年3月以前に「自ら積極的に説明することが多かった」のは全体の37.3%で、4月以降は43.0%と5.7pt増加。  
 医師・患者判断派で「自ら積極的に説明」が7.0pt増加している。

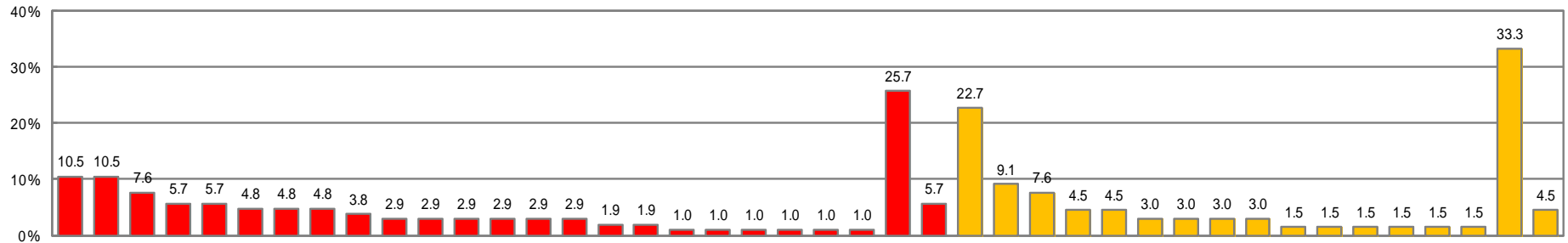


# ジェネリック医薬品について自ら積極的に説明していない理由

Q11で「患者さんから質問されて説明することが多かった」「説明することも質問されることもなかった」とお答えの方へ

## Q12. ジェネリック医薬品について、自ら説明しなかった理由は何ですか？(FA)

患者から質問されて説明する層では「患者に質問された」「価格について質問された」が10.5%でトップ、患者から質問されることもなかった層では、「院内処方のため/院外処方を行っていない」が22.7%でトップ。

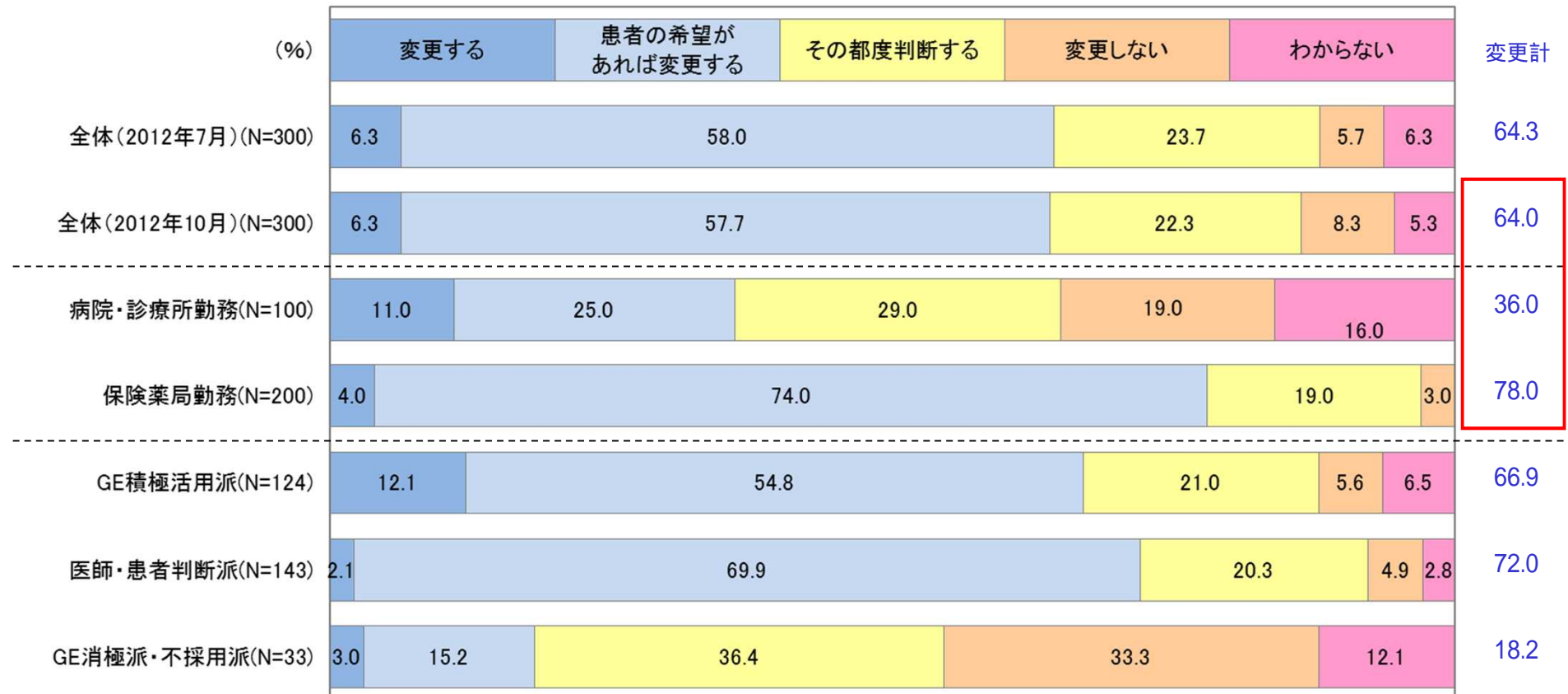


理由	N	患者さんから質問されて説明することが多かった (105名)															積極的に説明することも患者さんから質問されることもほとんどなかった (66名)																													
		患者に質問された	価格について質問された	認知度が高い/知名度が上がってきている	時間に余裕がない/説明している時間がない	ジェネリック医薬品の処方に積極的でない	院内処方のため/院外処方を行っていない	自分からは説明しない/患者に質問されない限り説明しない	保険組合・社会保険からのジェネリック医薬品の通知を見たため	患者がジェネリック医薬品を希望する割合が増えた	患者の希望を聞いている	事前に問診票・アンケート記入でジェネリック医薬品に興味を持っている	患者がテレビCMでジェネリック医薬品を見たため	ジェネリック医薬品を扱っているかと質問された	ジェネリック医薬品の意味を質問された	指示してあるものを見て質問された	ジェネリック医薬品の在庫がない	効果について質問される	普段からジェネリック医薬品を採用している	基本的に先発薬を処方する	処方箋の多くが変更不可のため	一通り説明はした	認知していない	ジェネリック医薬品を処方する	患者の希望次第/患者が希望するならジェネリック医薬品を処方する	その他	特になし																			
全体	171	10.5	10.5	7.6	5.7	5.7	4.8	4.8	4.8	3.8	2.9	2.9	2.9	2.9	2.9	1.9	1.9	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	25.7	5.7	22.7	9.1	7.6	4.5	4.5	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	33.3	4.5
病院・診療所勤務	86	13.2	18.4	7.9	0.0	5.3	13.2	5.3	2.6	2.6	0.0	7.9	2.6	5.3	0.0	5.3	0.0	2.6	0.0	2.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	21.1	2.6	31.3	6.3	10.4	2.1	4.2	0.0	2.1	4.2	4.2	0.0	0.0	0.0	0.0	2.1	0.0	33.3	6.3		
保険薬局勤務	85	9.0	6.0	7.5	9.0	6.0	0.0	4.5	6.0	4.5	4.5	0.0	3.0	1.5	4.5	1.5	3.0	1.5	1.5	0.0	1.5	1.5	1.5	1.5	28.4	7.5	0.0	16.7	0.0	11.1	5.6	11.1	5.6	0.0	0.0	5.6	5.6	5.6	0.0	0.0	5.6	33.3	0.0			
GE積極活用派	50	9.7	9.7	12.9	3.2	0.0	9.7	6.5	9.0	0.0	6.5	6.5	3.2	6.5	3.2	6.5	0.0	3.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.8	3.2	31.6	5.3	10.5	5.3	0.0	0.0	5.3	0.0	5.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	42.1	0.0		
医師・患者判断派	88	9.5	9.5	6.3	7.9	9.5	1.6	4.8	1.6	4.8	1.6	0.0	3.2	0.0	3.2	1.6	3.2	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	25.4	7.9	20.0	20.0	4.0	8.0	4.0	4.0	4.0	0.0	4.0	4.0	4.0	0.0	4.0	4.0	0.0	4.0	16.0	4.0		
GE消極派・不採用派	33	18.2	18.2	0.0	0.0	0.0	9.1	0.0	9.1	9.1	0.0	9.1	0.0	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	27.3	0.0	18.2	0.0	9.1	0.0	9.1	4.5	0.0	9.1	0.0	0.0	4.5	0.0	0.0	4.5	0.0	4.5	0.0	45.5	9.1	

# 今後、「変更可能」な処方薬の場合、ジェネリック医薬品を調剤するか

Q13. 今後、ジェネリック医薬品への変更が「不可」となっていない処方薬の場合、ジェネリック医薬品に変更しますか？ (SA)

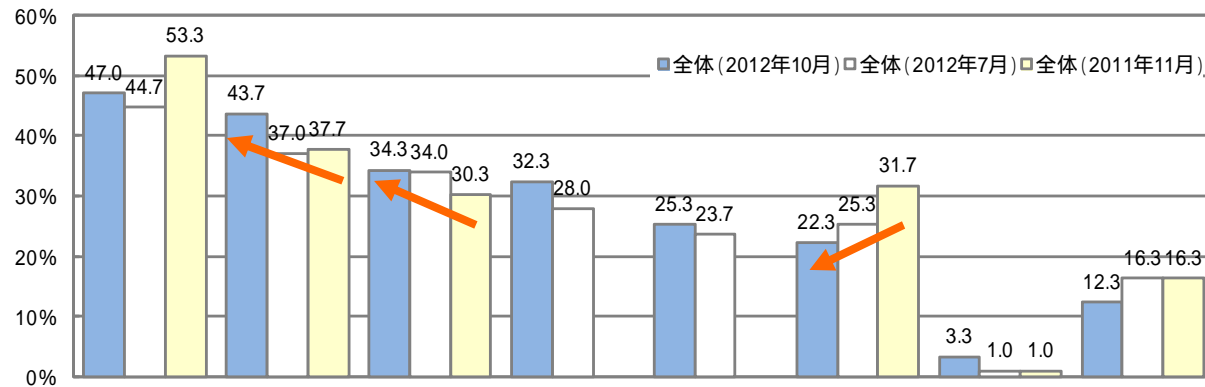
「変更する」は全体で6.3%。病院・診療所では11.0%、保険薬局では4.0%だった。  
 「患者の希望があれば変更する」を合わせた変更計は、全体で64.0%。  
 病院・診療所では36.0%、保険薬局では78.0%だった。



# ジェネリック医薬品促進のために医師に望むこと

## Q14. ジェネリック医薬品の使用を進める上で、医師に何を望みますか？ (MA)

医師に望むことは、「ジェネリック医薬品の銘柄指定をしないでほしい」が最も高く、47.0%だった。次いで「ジェネリックに対してもっと理解を深めてほしい」が43.7%、「薬剤師を信頼してほしい」が34.3%で高く、11年11月より上昇している。「一般名処方をしてほしい」のスコアは低下の傾向。

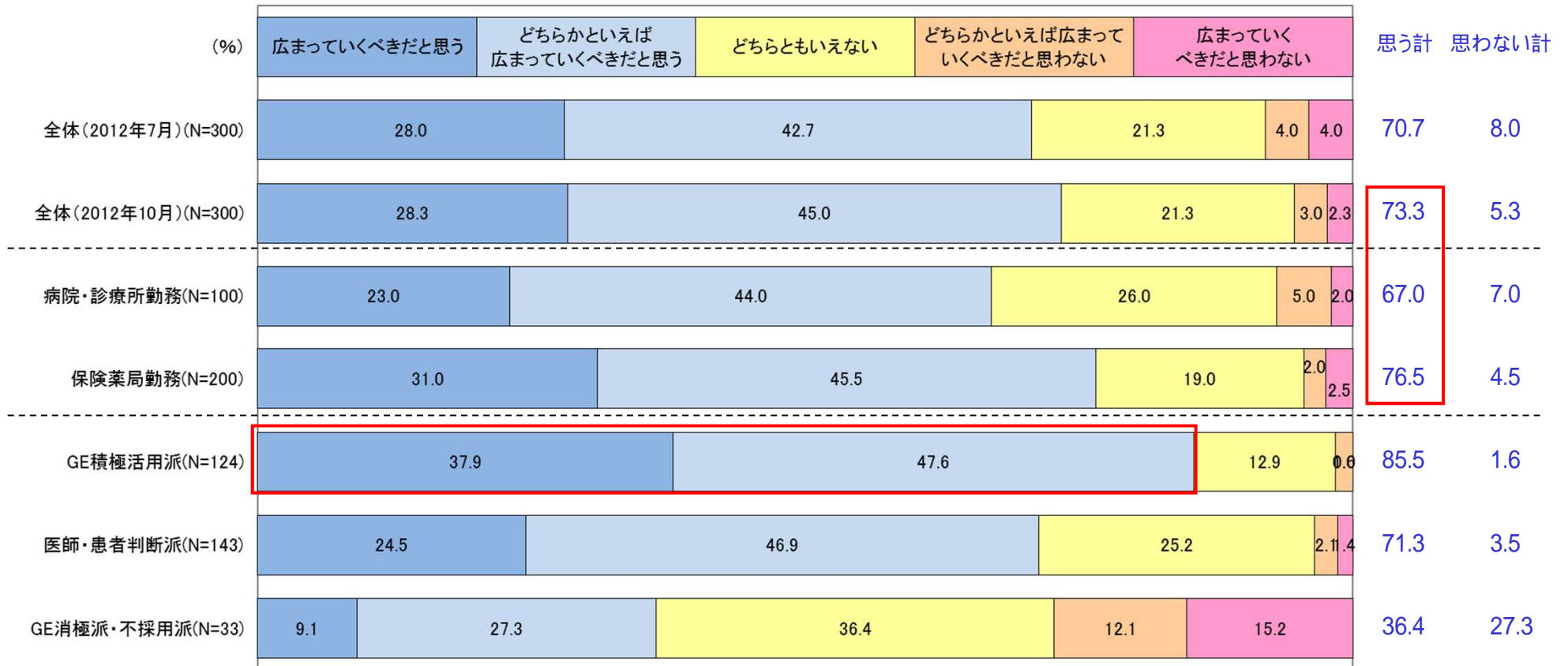


(%)	N	ジェネリック医薬品の銘柄指定をしないでほしい	ジェネリックに対してもっと理解を深めてほしい	ジェネリック医薬品への薬剤師を信頼してほしい	患者に十分説明してほしい	処方せんの「変更」欄で「変更」を希望する	一般名処方をしてほしい	その他	医師に望むことは
全体 (2011年11月)	300	53.3	37.7	30.3			31.7	1.0	16.3
全体 (2012年7月)	300	44.7	37.0	34.0	28.0	23.7	25.3	1.0	16.3
全体 (2012年10月)	300	47.0	43.7	34.3	32.3	25.3	22.3	3.3	12.3
病院・診療所勤務	100	17.0	47.0	26.0	21.0	11.0	21.0	2.0	22.0
保険薬局勤務	200	62.0	42.0	38.5	38.0	32.5	23.0	4.0	7.5
GE積極活用派	124	52.4	46.8	39.5	27.4	32.3	25.8	2.4	8.9
医師・患者判断派	143	48.3	46.9	35.7	41.3	23.8	21.0	4.9	7.7
GE消極派・不採用派	33	21.2	18.2	9.1	12.1	6.1	15.2	0.0	45.5

# 今後ジェネリック医薬品は世の中に広まっていくべきか

Q15. ジェネリック医薬品が、国民医療費の節減や患者負担の軽減に寄与することを踏まえ、あなたご自身のお考えとしてお答えください。  
 今後ジェネリック医薬品はよりいっそう世の中に広まっていくべきだと思いますか？(SA)

「広まっていくべき」としたのは、全体の計73.3%で、保険薬局の方が病院・診療所より高くなっている。積極活用派では85.5%と高いが、消極派・不採用派では、36.4%に留まった。

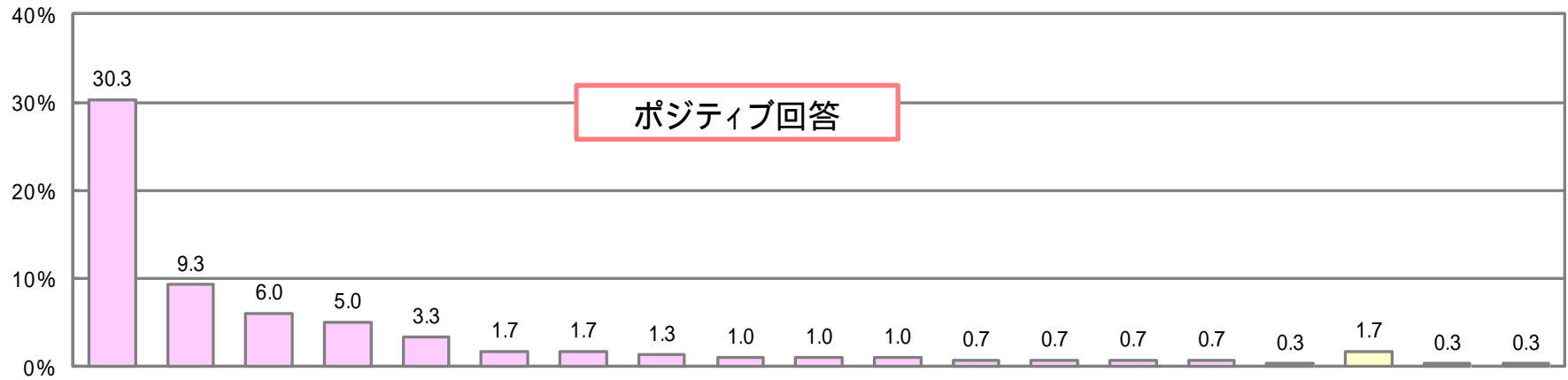




# 今後ジェネリック医薬品は世の中に広まっていくべきかの理由 (FAアフターコーディング集計)

Q16. Q15でジェネリック医薬品の普及についてお答えになった理由を自由にお答えください。(FA)

ポジティブな意見は、「価格が安くなる / 経済的 / 医療費が安くなる / 医療費の軽減・削減」が全体の30.3%で最も高く、次いで、「国の医療費削減 / 国の財政のため」が9.3%。

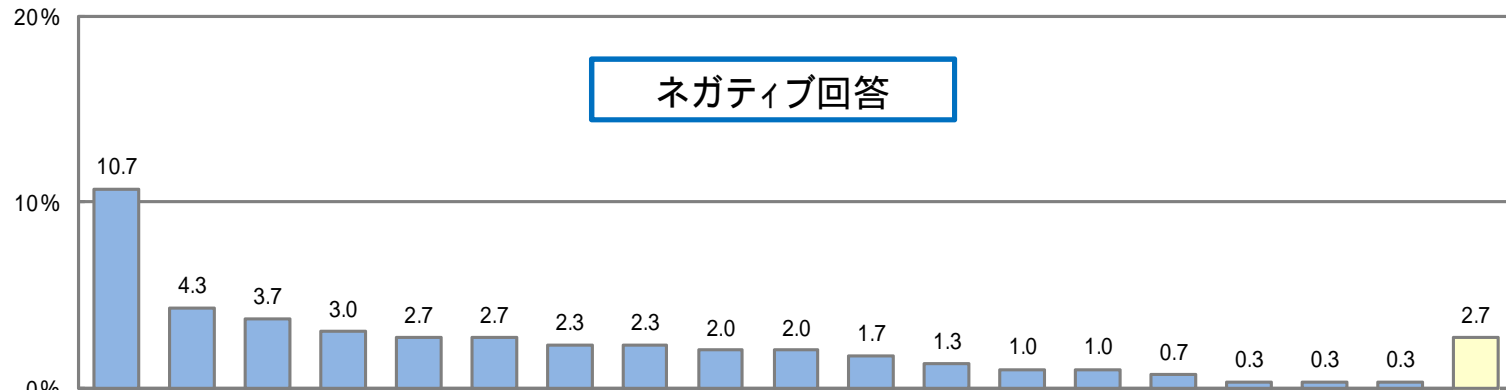


(%)	N	価格が安くなる / 経済的 / 医療費が安くなる / 削減	国の医療費削減 / 国の財政のため	患者の負担が減る	生活保護者はジェネリックを使用すべき	健康保険料が安くなる / 健康保険組合の財政健全化	薬代が安くなる	高齢者が増え医療費が増えるから	効果が同じならば安い方がよい	現在の薬代は高すぎる	安全性に問題がないならば	患者に選択権・選択肢が増えた	自分に合うのであれば	安くて良いものは広まるべき	安くなれば病院に来院しやすくなる人がいる	慢性的な病気の薬代軽減	粗悪なわけでは無い	品質が良いものもある / ジェネリックがすべて	患者の希望に従う	国策 / 国の方針であるから	利点欠点がある
全体	300	30.3	9.3	6.0	5.0	3.3	1.7	1.7	1.3	1.0	1.0	1.0	0.7	0.7	0.7	0.7	0.3	1.7	0.3	0.3	
病院・診療所	100	24.0	9.0	8.0	2.0	3.0	3.0	3.0	0.0	1.0	2.0	1.0	1.0	0.0	1.0	0.0	1.0	2.0	0.0	1.0	
保険薬局	200	33.5	9.5	5.0	6.5	3.5	1.0	1.0	2.0	1.0	0.5	1.0	0.5	1.0	0.5	1.0	0.0	1.5	0.5	0.0	
GE積極活用派	124	33.9	14.5	8.9	6.5	5.6	0.0	3.2	2.4	0.8	2.4	0.8	1.6	0.8	0.0	1.6	0.0	0.8	0.0	0.0	
医師・患者判断派	143	30.8	5.6	4.9	4.2	1.4	2.8	0.7	0.7	1.4	0.0	1.4	0.0	0.7	1.4	0.0	0.7	2.8	0.7	0.7	
GE消極派・不採用派	33	15.2	6.1	0.0	3.0	3.0	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

# 今後ジェネリック医薬品は世の中に広まっていくべきかの理由 (FAアフターコーディング集計)

Q16. Q15でジェネリック医薬品の普及についてお答えになった理由を自由にお答えください。(FA)

ネガティブな意見は、「新薬開発・研究のため / 先発薬メーカーの衰退に繋がってしまう」が全体の10.7%で最も高く、次いで、「品質が良くない / 品質が信用できない」4.3%、「効果が分からない / 効果に不安がある」3.7%が続く。

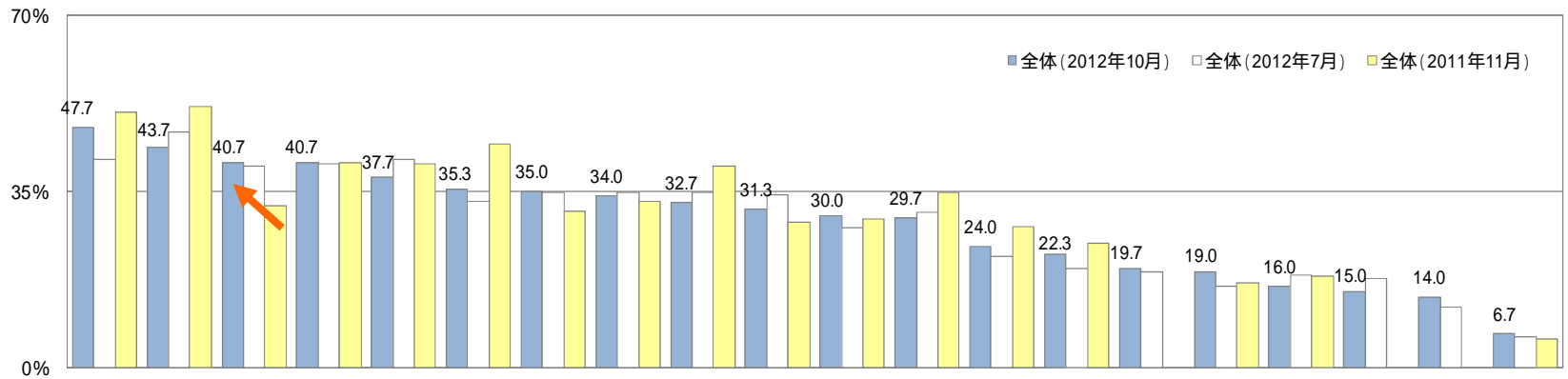


(%)	N	繋がってしまう	品質が良くない / 品質が信用できない	効果が分からない / 効果に不安がある	ジェネリックに関する情報不足	ジェネリックは先発品と同等ではないから	安全性に不安がある	信用・信頼できない	安定供給が出来ていない	自分に合わない場合がある	在庫が増えてしまう	先発薬の値段を下げるべき	種類が多い / メーカーが多い	疑問に医療費が安くなるのか	臨床試験が必要 / 第三者機関が必要	副作用がある / 副作用が不安	責任が不明	トラブルがあった場合の	医師・病院での説明が必要	なんとなく	特になし
全体	300	10.7	4.3	3.7	3.0	2.7	2.7	2.3	2.3	2.0	2.0	1.7	1.3	1.0	1.0	0.7	0.3	0.3	0.3	0.3	2.7
病院・診療所	100	9.0	6.0	3.0	3.0	1.0	4.0	4.0	5.0	1.0	0.0	2.0	2.0	2.0	0.0	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.0
保険薬局	200	11.5	3.5	4.0	3.0	3.5	2.0	1.5	1.0	2.5	3.0	1.5	1.0	0.5	1.5	0.0	0.5	0.5	0.5	0.5	2.0
GE積極活用派	124	8.9	2.4	2.4	0.8	1.6	2.4	1.6	3.2	2.4	1.6	1.6	2.4	0.0	0.0	0.8	0.0	0.8	0.8	0.8	1.6
医師・患者判断派	143	11.2	4.2	4.9	4.9	3.5	2.1	2.1	1.4	2.1	1.4	0.7	0.7	1.4	2.1	0.7	0.7	0.0	0.0	0.0	2.8
GE消極派・不採用派	33	15.2	12.1	3.0	3.0	3.0	6.1	6.1	3.0	0.0	6.1	6.1	0.0	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.1

# ジェネリック医薬品が普及するために必要なこと

Q17. 今後、ジェネリック医薬品が普及していくためには、どのようなことが必要だとお考えですか？ (MA)

「医師がジェネリック医薬品に対する理解を深める」が47.7%トップだが、11年11月調査よりスコアは3.0pt減少。  
 また「安定供給できる体制をジェネリック医薬品企業が整える」も11年11月よりスコアは8.0pt減少。  
 逆に「国が使用を促進する制度に取り組む」は昨年調査より8.7pt上昇。



(%)	N	医師がジェネリック医薬品に対する理解を深める	安定供給できる体制をジェネリック医薬品企業が整える	国が使用を促進する制度に取り組む	ジェネリック医薬品メーカーが開発・製造に取組む	品質を保証する	ジェネリック医薬品に切り替えても利益を確保できる制度を導入する	患者がジェネリック医薬品のことを知るようになる	ジェネリック医薬品メーカーからの情報提供を充実させる	ジェネリック医薬品メーカーに対する信頼感が上がる	啓発活動に取り組む	国が国民に対する啓発活動に取り組む	大学病院など大病院が採用する	在庫問題などを解決する	ため薬局の地域連携体制を整える	薬剤師がジェネリック医薬品に対する理解を深める	大幅に改定する	ジェネリック医薬品の薬価を	自治体や国保が積極的に使用促進に取り組む	医薬品メーカーがジェネリック	新薬メーカーがジェネリック	医師や薬剤師が患者に説明しやすい体制（パンフレットやツール等）が充実する	企業や薬剤師が積極的に使用促進に取り組む	新薬（長期収載品）とジェネリック（医薬品の薬価を同一にする）	その他	
全体 (2011年11月)	300	50.7	51.7	32.0	40.7	40.3	44.3	31.0	33.0	40.0	28.7	29.3	29.3	34.7	28.0	24.7	16.7	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	5.7
全体 (2012年7月)	300	41.3	46.7	40.0	40.3	41.3	33.0	34.7	34.7	34.7	34.3	27.7	27.7	30.7	22.0	19.7	19.0	16.0	18.3	17.7	17.7	17.7	17.7	17.7	12.0	6.0
全体 (2012年10月)	300	47.7	43.7	40.7	40.7	37.7	35.3	35.0	34.0	32.7	31.3	30.0	30.0	29.7	24.0	22.3	19.7	19.0	16.0	16.0	16.0	16.0	15.0	14.0	14.0	6.7
病院・診療所	100	35.0	43.0	51.0	44.0	33.0	29.0	19.0	42.0	32.0	36.0	32.0	32.0	20.0	18.0	17.0	17.0	22.0	12.0	12.0	12.0	12.0	12.0	11.0	5.0	
保険薬局	200	54.0	44.0	35.5	39.0	40.0	38.5	43.0	30.0	33.0	29.0	29.0	29.0	34.5	27.0	25.0	21.0	17.5	18.0	16.5	15.5	15.5	15.5	15.5	7.5	
GE積極活用派	124	54.0	44.4	49.2	41.1	43.5	40.3	39.5	33.1	33.1	37.9	37.9	37.9	29.0	28.2	25.8	19.4	17.7	12.9	17.7	16.1	16.1	16.1	16.1	2.4	
医師・患者判断派	143	49.0	46.2	37.1	41.3	37.1	35.7	36.4	35.7	35.0	29.4	25.2	25.2	34.3	22.4	20.3	21.7	23.1	20.3	15.4	13.3	13.3	13.3	13.3	7.7	
GE消極派・不採用派	33	18.2	30.3	24.2	36.4	18.2	15.2	12.1	30.3	21.2	15.2	21.2	21.2	12.1	15.2	18.2	12.1	6.1	9.1	3.0	9.1	9.1	9.1	9.1	18.2	